

文書番号	標題	年代	形態	数量	内容	備考
1-1	[小谷生治宛一元徳書状]	3年11月11日	横継紙	1通(2枚)	資本がないので眼前に金山があるのを傍観するのは遺憾の至りである しかしこれも、神意なので断念し、資本家を求めている	1-1~310までは箱1の①の分 封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷生治殿 従大阪 平安 親展」(封筒裏書)「一元徳拜 十一月十一日 四時投函」
1-2	[小谷清七郎宛一元徳書状]	年未詳10月16日	横継紙	1通(2枚)	定口売買の調査が済み真理を得た 西山氏の資金が少ない等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安無事 貴下」(封筒裏書)「一元徳拜 十月十六日 前十一時投函」 尚々書あり
1-3	[小谷文三郎宛一元徳書状]	23年10月22日	横継紙	1通	浜石が上坂するので生治殿の上坂は誓く見合せて欲しい 米売買の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安 貴下」(封筒裏書)「一元徳拜 十月廿三日 后二時投函」
1-4	[小谷生治宛柚木石造書状]	23年12月9日	横継紙	1通(2枚)	生治の算術の事 米相庭の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷生治様 従大阪 平安 親展」(封筒裏書)「柚木石造様 十二月九日 后二時投函」
1-5	[小谷清七郎宛一元徳書状]	明治24年4月25日	横切紙	1通(3枚)	送状 阿賀崎村長三宅最平宛阿賀崎村一元徳の大阪市松本房宅への 寄留状	封筒あり(封筒上書)「小谷清七郎様 ひともと徳拜 寄留届書在中」
1-6	[小谷宛一元徳書状外書類一括]	明治20年力		1袋(2通1纏め)		1-6-1~3一袋 封筒あり(封筒上書)「備中国玉島南町 小谷清七郎様 貴下」(封筒裏書)「中ノ島二丁目 松本房 六月二日投函」
1-6-1	[土地関係書類]	明治20年7月2日	横切紙	1通	阿賀崎村壹百八拾番の宅地面積と地価等	部分的に切りこみが入り、ちぎれかけているのでSILティッシュで包む
1-6-2	[小谷宛一元徳書状]	年未詳6月2日	横継紙	1通	財政困難、予知の義は検査中等	
1-6-3	[白紙外一括]	年月日未詳	堅切紙	1纏め(6枚)		印を押した白紙4枚、罫紙2枚
1-7	[小谷清七郎宛一元徳書状]	23年9月23日	横切紙	1通	相庭の調査を充分にしてからでないと売買はしないつもりだ外	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安 貴下」(封筒裏書)「一元徳拜 九月廿八日 后七時投函 三十朝」
1-8	[小谷清七郎宛一元徳書状]	年未詳10月12日	横継紙	1通	病気になったが調査は休んでいないので安心して下さい外	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 無事平安 貴下」(封筒裏書)「一元徳拜 十月十二日 后四時投函」
1-9	[小谷文三郎宛一元徳書状]	23年8月16日	横継紙	1通(2枚)	売買の為の金の用立て依頼外	封筒あり(封筒上書)「備中玉島南町 小谷文三郎様 平安 至恙用」(封筒裏書)「大阪市北区常島中巻丁目 川上久兵衛方ニテ 八月十六日 后三時投函 一元徳拜」
1-10	[一元徳宛小谷文三郎書状]	24年6月8日	横切紙	1通(2枚)	登記が済み次第、前証を返してもらいたい 大津事件について詠んだ歌一首	封筒あり(封筒上書)「大阪市北区中ノ島二丁目五拾七番屋敷 松本房殿宅ニテ 一元徳様行 自備中玉島港 平安要用書」(封筒裏書)「小谷文三郎書 六月八日出 九日 后二時着」
1-11	[一元徳委任状外書類一括]	24年9月5日		1袋(7通)		1-11-1~7一袋 封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治殿 従銀花 親展 啄口在中」(封筒裏書)「ひともと徳 九月十五日投函」
1-11-1	[一元徳部理代人委任状]	明治24年	堅切紙	1通		委任相手は未記載
1-11-2	[一元徳部理代人委任状]	明治24年	堅切紙	1通	阿賀崎村地所抵当二書入の件	委任相手は未記載
1-11-3	[一元徳部理代人委任状]	明治24年	堅切紙	1通		委任相手は未記載
1-11-4	地所売渡証券	明治24年	堅紙	1通	一元徳→(宛名なし) 阿賀崎村字仲買町の土地	印紙あり
1-11-5	[一元徳地価売渡証券ひな型]	明治24年	堅切紙	1通	浅口郡阿賀崎村字仲買町の土地	印紙なし
1-11-6	地所変更願	明治24年	堅切紙	1通(2枚)	一元徳→登記掛 仲買町の土地の地番変更について	地番を書いたメモあり
1-11-7	返済証	明治24年	堅切紙	1通	負債主一元徳	債主の欄無記名
1-12	[一元徳宛小谷文三郎書状]	25年7月28日	横折紙	1通	大十月廿二日、廿三日の大風雨之状況について(玉島、岡山)	封筒あり(封筒上書)「大阪市北区中ノ島二丁目六拾五番地 渡辺松茂様宅ニテ 一元徳様行 無事要用書 備中玉島港 七月廿八日 小谷文三郎」
1-13	[一元徳宛酒井外次郎書状]	22年4月28日		23.2×32.0	自分が考えた染色法を無謝金で独習しませんか	罫紙 封筒あり(封筒上書)「備中国玉島南町 小谷清七郎様方 一元徳様 御親展 キ口」(封筒裏書)「明治廿二年四月廿六日投函 京都市下京区 仏具屋町魚之棚下ル廿九番戸 酒井外次郎」
1-14	[小谷清七郎宛一元徳書状]	22年8月18日	横継紙	1通	4、5日中には証控が訴人の手許へ着くはずだ 十中八九は答弁に困却すると察している	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 より大阪 平安至急用」(封筒裏書)「北区堂島中巻丁目 川上久兵衛方ニテ一元徳拜 八月十八日 前八時投函」
1-15	[小谷生治宛一元徳書状]	年未詳8月20日	横継紙	1通	食塩買付の義、近況報告等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷生治殿 梧下」(封筒裏書)「大阪市堂島中巻丁目 川上久兵衛方 一元徳 八月廿日 午五時投函」
1-16	[小谷清七郎宛一元徳書状外]	23年8月22日		1袋(2通)		1-16-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 無事平安用」(封筒裏書)「大阪市堂島中巻丁目 川上久兵衛方 一元徳 八月廿二日 后三時投函」
1-16-1	[小谷清七郎宛一元徳書状]	23年8月22日	横継紙	1通	本日百石丈買い始めた事外	
1-16-2	[津々井一雄宛一元徳書状]	23年力8月22日	横継紙	1通	玉島治安才判所へ控訴の件外	
1-17	[小谷生治宛一元徳書状]	23年8月15日	横継紙	1通	訴状の事、資金調達の依頼等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷生治殿 梧下 平安用」(封筒裏書)「大阪市堂島中一丁目 川上久兵衛方 一元徳拜」 封筒破れあり
1-18	[小谷文三郎宛一元徳書状]	23年8月23日	横継紙	1通	西山氏がお金を受け取らなかったの、資金調達は今の所不要となった外	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 平安無事用」(封筒裏書)「大阪市堂島中一丁目 川上久兵衛方 一元徳 八月廿三日 后六時 認投函 前八時入」
1-19	[小谷清七郎宛一元徳書状]	23年8月30日	横継紙	1通(2枚)	食事の内容、米売買の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島南町 小谷清七郎様 一元徳 机下平安」(封筒裏書)「従大阪 八月三十日投函」
1-20	[小谷生治宛一元徳書状]	23年8月26日	横継紙	1通	米売買の事等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治殿 親展」(封筒裏書)「大阪市堂島中巻丁目 川上久兵衛方 一元徳 八月廿六日投函」 封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷生治殿 一元徳 平安机下」(封筒裏書)「従大阪 九月二日投函 四日朝」
1-21	[小谷生治宛一元徳書状]	23年9月2日	横継紙	1通	月毎に一度互日に通知してきた事を申入れて置く 米相庭の事等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 無事貴下」(封筒裏書)「一元徳 九月八日朝投函 十日」
1-22	[小谷清七郎宛一元徳書状]	23年9月8日	横継紙	1通	米買入れの事、明治22年1月~本年7月までの朝日新聞付録物価表を至急送ってもらいたい等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 無事貴下」(封筒裏書)「一元徳 九月八日朝投函 十日」
1-23	[小谷生治宛一元徳書状外一括]	23年9月15日		1袋(2通)		1-23-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治様 一元徳 平安机下」(封筒裏書)「従大阪市 九月十五日 口山認投函」

1-23-1	[小谷生治宛一元徳書状]	23年9月15日	横継紙	1通	附録物価表が着いたので調査を始めた事等	
1-23-2	[津々井一雄宛一元徳書状]	23年9月15日	横継紙	1通	見本品がなくては相談にかかれぬ 見本品は能品を運び送るよう外	
1-24	[小谷清七郎宛一元徳書状]	23年9月4日	竖紙	1通	為替金、為替相庭の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 一元徳 平安用」(封筒裏書)「九月四日投函 六日朝」
1-25	[小谷清七郎宛一元徳書状]	23年9月13日	横継紙	1通	売買の状況、近況等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安要用」(封筒裏書)「一元徳様 九月十三日前八時投函」 罫紙
1-26	[小谷文三郎宛一元徳書状]	23年9月24日	横継紙	1通	米売買の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安 梧下」(封筒裏書)「一元徳様 九月十三日前八時投函」
1-27	[小谷清七郎宛一元徳書状]	23年10月6日	横継紙	1通	訴訟に必要な布告の送付依頼、米売買の状況等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安 貴報」(封筒裏書)「一元徳様 拾月六日後七時投函」
1-28	[小谷生治宛一元徳書状]	23年10月18日	横継紙	1通	濱石の事、汽船積入相庭の事、コレラ撲滅の趣に付き安堵している事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷生治殿 従大阪 平安 梧下」(封筒裏書)「一元徳様 十月十八日正午投函候」
1-29	[小谷清七郎宛一元徳書状]	23年10月27日	横継紙	1通	小幡・原田の訴訟の件、米相庭の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安 貴報」(封筒裏書)「一元徳様 十月廿七日後一時投函」 破損あり
1-30	[小谷生治宛一元徳書状]	23年11月2日	横継紙	1通	人相書の古本を借用し写したので貴家にも抜き書きを送る 米相庭は当今下落の極だ 羽黒神社の祭礼の日に詠んだ歌外	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷生治殿 従大阪 平安 玉机下」(封筒裏書)「一元徳様 十一月二日後七時投函」
1-31	[小谷文三郎宛一元徳書状]	23年11月7日	横継紙	1通	大阪見物の事、全快喜びの事、難波二郎三郎氏の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安 貴報」(封筒裏書)「一元徳様 十一月十七日後八時投函」
1-32	[小谷文三郎宛一元徳書状]	23年11月18日	横継紙	1通	新築された堂島の当品陳烈所の見学、明年辛棒してくれば数十万の金になる等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安 机下」(封筒裏書)「一元徳様 十一月十八日後二時投函」
1-33	[小谷宛一元徳書状外一括]	明治23年11月		1袋(2通)		1-33-1~2一袋 (封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治殿 従大阪 平安 梧下」(封筒裏書)「一元徳様 十一月廿一日後四時投函」
1-33-1	[小谷宛一元徳書状]	明治23年11月21日	横継紙	1通	店方が木印で御心配は察するが、辛棒していれば大金を得て送るので、安心して暮らして下さい等	
1-33-2	[一元徳宛大阪広盛館下山氏書状]	23年11月15日	24.4×33.0	1通	無煙炭の事に付き依頼	広盛館用紙(罫紙)
1-34	[小谷清七郎宛柚木石造書状]	23年11月28日	横継紙	1通	宛先変更の連絡、当今は困却の極だ等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安 要用」(封筒裏書)「大阪市真砂町百四十三番屋敷 松田奈於方 柚木石造 十一月廿八日夕投函」
1-35	[小谷清七郎宛柚木石造書状]	23年12月1日	横継紙	1通	米売買の事、不都合が出来ても心配しくない等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安 要用書」(封筒裏書)「北区真砂町百四十三番屋敷 柚木石造様 十二月一日前十一時投函」
1-36	[小谷宛一元徳書状外一括]	24年3月		1袋(2通)		1-36-1~2一袋 (封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安 平安要用報」(封筒裏書)「大阪市北区真砂町 小谷生治様」
1-36-1	[小谷宛一元徳書状]	24年3月5日	横継紙	1通	体調不良の事、米相場の事等	
1-36-2	[小谷清七郎宛小谷生治書状]	24年3月6日	竖紙	1通	米売買の事、松本膳料の事等	
1-37	[小谷父上宛小谷生治書状外一括]	24年3月		1袋(2通)		1-37-1~3一袋 (封筒上書)「備中浅口郡玉島港南町 小谷清七郎様 平安 貴報」(封筒裏書)「大阪市北区中島二丁目五十七番屋敷 松本フサ方 三月十五日認十六日九時投函 小谷生治様」
1-37-1	[小谷父上宛小谷生治書状]	24年3月15日	横継紙	1通	本日道頓堀、千日前、心斎橋等、市中を見物したとの報告	
1-37-2	[小谷宛一元徳書状]	24年3月15日	横継紙	1通	土地の件で松尾氏へ通知してほしい、柚木石造の事等	
1-38	[小谷文三郎宛一元徳書状]	24年4月24日	横継紙	1通(2枚)	柚木氏関係の金銭の事外	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安 要用書」(封筒裏書)「ひとと徳様 四月廿四日十二時投函」 二白あり
1-39	[小谷宛一元徳書状]	24年5月5日	竖切紙	1通(3枚)	訴訟院へ出廷した時の陳述の様子等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安 要用書」(封筒裏書)「小谷生治様 五月五日前九時投函ス」
1-40	[小谷文三郎宛一元徳書状外一括]	24年5月	竖切紙	1通(3枚)	貴家を助ける決心である 上告する積りだ等 小谷生治宛竹前又次郎、小谷生治宛小堀敬之助の葉書の写し	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 尊下」(封筒裏書)「松本内徳より 五月廿一日後七時投函」 二白あり
1-41	[小谷文三郎宛一元徳書状]	24年6月26日	竖切紙	1通	相手が無事帰宅した事の喜び、黒山氏の事、米売買日の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 貴報」(封筒裏書)「ひとと徳様 六月廿六日前八時半発ス」
1-42	[小谷清七郎宛小谷文三郎書状外一括]			1袋(2通)		1-42-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 行自大阪 平安 平安要用書」(封筒裏書)「小谷文三郎 七月十六日午前十一時
1-42-1	[小谷清七郎宛小谷文三郎書状]	24年7月16日	竖切紙	1通	先生に困っている事等	
1-42-2	[御姉さま宛文三郎書状]	明治24年力	横切紙	1通	窮乏の有様と野生より金を受け取った事	(異筆)「明治廿五、四年二月」と末尾にあり
1-43	[小谷清七郎宛一元徳書状]	24年7月23日	竖切紙	1通	文三郎の近況の代筆、自分の近況等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 無事要用」(封筒裏書)「松本房方ニテ文三郎 七月三日」
1-44	[一元徳宛小谷文三郎書状]	24年8月17日	竖切紙	1通	病氣見舞と平癒の事、井上家の地子料の事等	封筒あり(封筒上書)「大阪市北区中島二丁目五拾七番屋敷 松本房様宅ニテ 一元徳様行 備中玉島港」(封筒裏書)「八月十五日出ス 小谷文三郎」
1-45	[小谷生治宛一元徳書状]	24年8月17日	竖切紙	1通	昨年より起居を共にした生治が帰国するつらさ等を認めたもの	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治殿 従大阪 貴報」(封筒裏書)「ひとと徳様 八月十七日後六時半投函」
1-46	[一元徳宛川上鶴太郎書状外一括]	24年11月2日		1袋(2通)		1-46-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「大阪市北区中島二丁目五十七番屋敷 松本房ニテ 一元徳様 大至急」(封筒裏書)「岡山市西中山下百四十一番地 川上鶴太郎 十一月二日発」
1-46-1	[一元徳宛川上鶴太郎書状外一括]	24年11月2日	竖切紙	1通(3枚)	別紙委任状に調印の上、早々送ってほしい 不要になった委任状を同封	
1-46-2	[委任状]	24年11月2日	竖切紙	1通	井上家との事件について訴訟行為を総て一元徳が川上鶴太郎に委任す	後が破られている
1-47	[小谷清七郎宛一元徳書状]	23年12月12日	横継紙	1通(2枚)	近況報告と上阪依頼 柚木石造氏の帰国上阪予定等 いさを(一元徳)→小谷	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安 貴報」(封筒裏書)「北区真砂町百四十七番屋敷 松田ナヲ方 柚木石造様 十二月十二日後五時投函」

1-48	[小谷清七郎宛雅太郎書状]	23年12月14日	23.8×32.3	1通(2枚)	井上の本宅外屋敷の事について	封筒あり(封筒上書)「備中浅口郡阿賀崎南町 小谷清七郎様 煩口口」(封筒裏書)「十二月十三日 笠岡ニテ 川上雅太郎」
1-49	[小谷文三郎宛一元徳書状]	23年12月4日	横継紙	1通	売買の状況、ふとん送付依頼等 ひともといさを(一元徳)→小谷	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安玉机下」(封筒裏書)「大阪市北区真砂町百四十三番屋敷 松田ナヲ方十二月四日午後七時投函 柚木石造」
1-50	[小谷文三郎宛一元徳書状]	24年4月20日	横継紙	1通	相庭調査の事等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安貴下」(封筒裏書)「ひともと徳拝 四月廿日前十一時半投函」
1-51	[小谷文三郎宛一元徳書状]	24年4月28日	横継紙	1通	東盛の買入に関する件について外	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安 至急用」(封筒裏書)「ひともと徳拝 四月廿八日投函」
1-52	[小谷文三郎宛一元徳書状外一括]	明治24年3月12日		1袋(2通)		1-52-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安 貴報」(封筒裏書)「一元徳拝 三月十二日夕投函」
1-52-1	[小谷文三郎宛一元徳書状]	24年3月12日	横継紙	1通	昨日、中の島二丁目の松本房方へ転居した事等	
1-52-2	[父上宛小谷生治書状]	明治24年3月12日	横継紙	1通	市立大阪商業学校予科第一年第二期は9月なので夫まで塾に入学するつもりである事等	
1-53	[小谷清七郎宛小谷生治書状外一括]	24年		1袋(3通)		1-53-1~3一袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安 貴報」(封筒裏書)「中島二丁目 松本房宅 小谷生治拝 三月廿五日前十時認 投函」
1-53-1	[皆々様宛小谷生治書状]	年末詳3月24日	横継紙	1通	難波村眺望閣、堂島の商品陳列所、本町の博物館等の見物の概況	
1-53-2	[小谷清七郎宛口口書状]	年末詳3月25日	横継紙	1通	二白 生治の学校の事、控訴院の事等	
1-53-3	[書状]	年末詳8月26日	堅切紙	1通	米売買の事、地子料訴訟について等	宛名・差出人なし
1-54	[小谷清七郎宛小谷生治書状]	24年3月30日	横継紙	1通(2枚)	商法会議所落成式の様子、梅田の私立商法学校に入学する事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安 尊報」(封筒裏書)「中ノ島二丁目 松本房ニテ 小谷生治拝 三月三十日午後七時投函」二白あり
1-55	[小谷清七郎宛一元徳書状]	24年4月28日	横継紙	1通	東盛氏、柚木氏の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安用」(封筒裏書)「西区土佐堀裏町七十八番邸 家主和田口口ノ水川武助拝 四月廿八日投函 中ノ島二丁目五十七番邸 明治廿四年四月廿五日 松本
1-56	[小谷文三郎宛一元徳書状]	24年4月29日	横継紙	1通	貴家に存在する小子の書類を残らず封じてどこかに預けてもらいたい外	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 貴報」(封筒裏書)「ひともと徳拝 四月廿九日午後二時投函」
1-57	[小谷清七郎宛小谷生治書状]	24年3月20日	横継紙	1通	福栄丸の喜三郎が来て荷物を受け取った事、豊公神社に参詣した事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安 貴報」(封筒裏書)「中島二丁目五十七番屋敷 松本房方 小谷生治拝 三月廿一日前七時投函」
1-58	[小谷清七郎宛一元徳書状外一括]			1袋(3通)		1-58-1~3一袋 (封筒上書)「備中玉島港町 小谷清七郎様 従大阪 平安用」(封筒裏書)「ひともと徳拝 五月十一日」
1-58-1	[小谷清七郎宛一元徳書状]	24年5月12日	横継紙	1通	控訴院で判決が出て敗訴した事	
1-58-2	[二白]	年末詳9月4日	横継紙	1通	売買をして利益が出たので喜んで下さい	宛名・差出人なし
1-58-3	[二白]	年月日未詳	横継紙	1通	上告の事、上告の費用について	
1-59	[書状]	年末詳8月28日	堅切紙	1通	売買の事等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治殿 川原儀六口 玉机下」(封筒裏書)「ひともと徳拝ニテ 五月十六日午後六時投函」封筒と中身の日付が異っている
1-60	[書状一括]			1袋(2通)		1-60-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷清七郎様 玉机下」(封筒裏書)「水川武介 六月十日朝出ス」中身と日付が違う
1-60-1	[書状]	年末詳9月2日	堅切紙	1通	相庭書印刷の事、生治の事等	宛名・差出人なし
1-60-2	[書状]	年末詳9月14日	堅切紙	1通(2枚)	売買の事、鉾山事件の事等	宛名・差出人なし
1-61	[書状]	年月日未詳	堅切紙	1通	売買の利益の事等	宛名・差出人なし 封筒あり(封筒上書)「備中玉島南町 小谷生治様 従難波 梧下」(封筒裏書)「黒川善造拝 六月廿九日午後四時発ス」文面に黒川氏とあるので封筒の黒川氏とは別の人物の手紙と思われる。
1-62	[小谷清七郎宛小谷文三郎書状外一括]			1袋(1纏め1通)		1-62-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 より大阪 平安要用書」(封筒裏書)「七月五日 小谷拝」
1-62-1	[小谷清七郎宛小谷文三郎書状]	24年7月5日	堅切紙	1通(2枚)	染粉買入の件について	
1-62-2	[記一括]			1纏め(2通)		1-62-2-1~2一纏め
1-62-2-1	記(染粉代金)	年月日未詳	横切紙	1通		「玉島回春堂」の印あり
1-62-2-2	記(染粉代金)	年月日未詳	横継紙	1通		
1-63	[小谷清七郎宛松本書状]	24年7月9日	堅切紙	1通(2枚)	米売買の事、先生の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様行 従大阪 要用無事書」(封筒裏書)「七月九日午後十一時 松本」
1-64	[小谷清七郎宛小谷文三郎書状]	24年7月15日	堅切紙	1通(2枚)	先生と野生の事等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷清七郎様口 貴下」(封筒裏書)「七月十五日 大阪 小谷文三郎出」
1-65	[小谷宛一元徳書状外一括]			1袋(2通)		1-65-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 貴報」「小谷文三郎 七月十三日認」
1-65-1	[小谷宛一元徳書状]	24年7月13日	堅切紙	1通	売買の事、委任状押捺依頼等	
1-65-2	[委任状]	24年7月16日	堅切紙	1通	津久井一雄の代理の件、予約金受取の件 (差出)一元徳	
1-66	[小谷清七郎宛一元徳書状]	24年5月3日	横継紙	1通	依頼承諾の御礼と裁判の事等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷清七郎様 従大阪 平安要用書」(封筒裏書)「ひともと徳拝 五月三日午後四時投函」
1-67	[小谷文三郎宛一元徳書状]	24年5月14日	堅切紙	1通	近況、大津事件の事、相庭の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 従大阪 平安至急用」(封筒裏書)「ひともと徳拝 五月十四日」
1-68	[一元徳委任状外一括]	24年6月8日		1袋(1纏め2通)		1-68-1~3一袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷文三郎様 要用」(封筒裏書)「松井氏郷 六月七日午後二時投函」

1-68-1	〔委任状一括〕			1纏め(2通)		1-68-1-1~2-纏め
1-68-1-1	委任状	明治24年	堅切紙	1通	一元徳が川上鶴太郎へ地子料請求の件について出頭請答の権を委任したも	
1-68-1-2	〔一元徳委任状〕	年月日未詳	堅切紙	1通		委任内容は書いていない
1-68-2	委任状事	明治23年8月8日	堅切紙	1通	一元徳が仲買町の宅地の件につき小谷清七郎に委任	
1-68-3	〔返済証ひな型〕	24年	堅切紙	1通	明治20年7月2日に登記した阿賀崎村の宅地の件(差出人なし)→一元	
1-69	〔小谷清七郎宛一元徳書状〕	24年7月28日	堅切紙	1通	売買の事、鞍馬氏の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 平安用」(封筒裏書)「ひとと徳拝 七月廿八日投入ス」
1-70	〔里井文蔵宛一元徳書状〕	年未詳11月17日	堅切紙	1通	所持品の山水画について外	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治殿 貴下」(封筒裏書)「ひとと徳拝 八月四日投函」
1-71	〔書状一括〕	年未詳6月7日		1袋(2通)		1-71-1~2-袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島南町 小谷清七郎様 貴下」(封筒裏書)「ひとと徳拝 八月八日投函」
1-71-1	〔書状〕	年未詳6月7日	堅切紙	1通	判決書の事、別件の訴訟について等	
1-71-2	〔書状〕	年未詳6月10日	横切紙	1通	被訴訟人より届くはずの判決正本についての依頼外	郵便
1-72	〔一元徳代理小谷文三郎宛川上雅太郎預り証〕	明治24年9月16日	堅切紙	1通	宅地借受証外預り	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷生治様 親展」(封筒裏書)「一元徳 八月十四日前十時投函」
1-73	〔人相書〕	24年8月28日力	堅切紙	1通(2枚)		封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷生治様 一元徳 貴報」(封筒裏書)「八月廿八日午後一時投函」
1-74	〔書状〕	年未詳8月8日	堅切紙	1通	近況、売買で利益を得た事等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治様 小堀敬之助 貴報」(封筒裏書)「従大阪 九月二日午後七時出ス」
1-75	〔小谷宛一元徳書状〕	年未詳3月20日	横継紙	1通	近況、売買の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷生治殿 従浪花 梧下咏草在中」(封筒裏書)「ひとと徳 八月廿七日朝投函」
1-76	〔書状〕	明治24年8月4日	堅切紙	1通	相庭の事、相庭一覧表の事等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 貴報」(封筒裏書)「ひとと徳拝 九月十四日投函」
1-77	〔封筒〕	23年4月3日	19.3×7.3	1枚		中身なし(封筒上書)「備中玉島南町 一元徳様 口口添」(封筒裏書)「東京本郷区森川町仲通一番地 佐久間 一郎方 佐久間種次郎」
1-78	〔小谷おせい宛東森書状外一括〕			1袋(7通)		1-78-1~7-袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島南町 小谷清七様行 御返事」(封筒裏書)「東京府下元北品川町小泉長屋九十六番地 月徳教会所 東森より 旧八月九日」封筒の底が破れている為SILティッシュで包(上書)「旧正月廿三日 岡山県備中国玉島南町 小谷おせい殿 東京府下元北品川町 東森より」
1-78-1	〔小谷おせい宛東森はがき〕	明治33年旧正月23日	はがき	1通	米・油の事等	
1-78-2	〔武縄友七宛東森はがき〕	33年旧3月29日	はがき	1通	油の事等	
1-78-3	〔贖ものの時の歌・祝詞外〕	年月日未詳	横切紙	1通	和歌九首、祝詞	
1-78-4	〔小谷おせい宛東森書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	三月中にはぜひ東京に来るよとの依頼	
1-78-5	〔小谷おせい宛東森書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	大病になった「山地頭や小供さん」に対する御見舞と転居の報せ	
1-78-6	〔小谷御あね宛よね書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	御礼と近況報告、三月に里帰りするつもりである事等	(上書)「小谷御あね様 さいきよねより」
1-78-7	〔おのぶ・おせい宛書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	おのぶを連れて大神宮へ参る予定であるので承知してほしい外	
1-79	〔小谷・武縄宛書状外一括〕			1袋(1通2枚)		1-79-1~3-袋(封筒上書)「備中玉島南町 小谷清七様 よふじ」(封筒裏書)「東京登国舎より 旧四月三日」明治32年5月13日の消印あり 差出人なし
1-79-1	〔小谷・武縄宛書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	病気を治す方法、登国舎の事等	
1-79-2	〔まじないの札力〕	年月日未詳	横切紙	1枚	3.8cm×4.2cmの長方形を黒くぬりつぶし、中央にニカ所針穴があいている	
1-79-3	〔まじないの札の説明書力〕	年月日未詳	7.9×6.0	1枚	女は右よりはりをさしーツのぼちー一本さし男は左よりはりをさし(後略)	
1-80	〔小谷おせい宛東森書状〕	33年2月22日	堅切紙	1通	米の上ケ下ケがわかる御法と幾次の病気について	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島南町 小谷おせい殿 御返事」(封筒裏書)「旧正月廿二日出 東京府下元北品川町 東森より」
1-81	〔小谷御一同宛大阪市小谷文三郎書状外一括〕			1袋(5通)		1-81-1~5-袋 封筒あり(封筒上書)「岡山県備中国玉島南町 小谷文三郎様行 大阪市小谷」(封筒裏書)「三月十二日」
1-81-1	〔小谷御一同宛小谷文三郎書状〕	年未詳3月12日	横継紙	1通	生治が帰宅しないと張り張っている事等	
1-81-2	〔小谷文三郎宛小谷清七郎書状〕	年未詳3月14日	横継紙	1通	福栄丸が本月出舟する事等 頭に尚々書あり	
1-81-3	〔文三郎・生治宛小谷母書状〕	年未詳3月15日	堅切紙	1通	生治をひとまづ連れて下るよとの依頼	
1-81-4	口上	年月日未詳	横切紙	1通	神に対する思い	
1-81-5	記(ふとん代外代金書上)	年月日未詳	横折紙	1通		主に朱書き
1-82	〔芳造家橋本品書状〕	年未詳旧9月27日	23.5×30.5	1通(2枚)	近況、金子借用依頼外	封筒あり(封筒上書)「備中浅口郡玉島南町寺前屋内二而 市元様 より 岡山 口急用書」(封筒裏書)「岡山市大字口町 三島邸(中略)橋本品 旧九月廿七日 口口」郵便
1-83	〔毎日新聞宛一元徳書状外一括〕			1袋(5通)		1-83-1~5-袋 封筒あり(封筒上書)「大阪市北区中ノ島二丁目五拾七番 屋地 松本フサ様方ニテ 一元徳様行」(封筒裏書)「玉島港南町 小谷文三郎 九月十三日」明治24年9月14日の消印あり
1-83-1	〔お礼〕	年月日未詳	横切紙	1通	如意 五九九 亥 六十 丑(後略)	
1-83-2	記(地球図外借用依頼)	年月日未詳	横切紙	1通	嘉平→一元君	
1-83-3	〔毎日新聞宛一元徳書状〕	年未詳12月26日	横切紙	1通	病気に付、帰国するので配達をやめてほしい	
1-83-4	〔書状下書〕	年月日未詳	堅切紙	1通	明治22年2月の朝日新聞に載った文の作者に対する賛辞外	
1-83-5	〔一元徳宛小谷文三郎書状力〕	24年9月13日	堅切紙	1通	天候について 農家の喜悅此上ない事等	宛名・差出人なし 封筒と書状の日付より小谷の書状と推測
1-84	〔小谷清七郎宛一元徳書状〕	24年9月19日	堅切紙	1通	14日の風害の見舞、地子料の件等	封筒あり(封筒上書)「備中玉島港南町 小谷清七郎様 一元徳 暴風御見舞書」(封筒裏書)「従浪花 九月十九日十一時投函」
1-85	〔小谷宛一元徳書状〕	25年6月15日	横継紙	1通(2枚)	鉱石分析の周施について	二白あり 封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治様 平安 玉机下」日出山哲夫 六月十六日投函

1-86	[小谷文三郎宛小谷清七郎書状外一括]			1袋(2重ね2通)		1-86-1~4一袋(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷文三郎様 より大阪 玉机下」(封筒裏書)「十一月廿九日 日出山哲夫 明治25年11月30日の消印あり
1-86-1	[和歌添削]	年月日未詳	横継紙	1通		
1-86-2	[和歌添削一括]			1重ね(4通)		1-86-2-1~4一重ね
1-86-2-1	[和歌添削]	年月日未詳	横切紙	1通		
1-86-2-2	[和歌添削]	年月日未詳	横切紙	1通		前半部分がちぎれている
1-86-2-3	[和歌添削]	年月日未詳	横切紙	1通		
1-86-2-4	[和歌添削]	年月日未詳	横切紙	1通		
1-86-3	[小谷文三郎宛書状外一括]			1重ね(2通)		1-86-3-1~2一重ね
1-86-3-1	[小谷文三郎宛小谷清七郎書状]	酉年7月	横切紙	1通	桜橋取扱所で封券受取依頼	
1-86-3-2	[小谷伯父上宛小谷生治書状]	年未詳7月17日	横継紙	1通	送金するので安心して下さい	
1-86-4	[安吉宛生次書状]	年未詳9月24日	堅切紙	1通	カバンとカギを持参して頂きたい	
1-87	[小谷皆々様宛一元徳書状]	25年7月6日	堅紙	1通	近況報告、生活費の事等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治様 従大阪 平安親展」(封筒裏書)「日出山哲夫 七月六日十時投函」
1-88	[一元徳委任状・同人書状外一括]			1袋(2纏め6通)		1-88-1~8一袋 封筒あり(封筒上書)「備中国浅口郡玉島港南町 小谷文三郎様 平安 貴酬」(封筒裏書)「大阪市老松町 小谷生治拜 十月十四日午後二時投函」 証券印紙添付
1-88-1	[一元徳委任状]	年月日未詳	堅切紙	1通	「一拙者義」とのみあり 一元徳→(宛名なし)	
1-88-2	[一元徳委任状]	年月日未詳	堅切紙	1通	「一拙者義」とのみあり	
1-88-3	[一元徳地所売渡証下書]	明治25年10月	堅切紙	1通	浅口郡阿賀崎の土地の売渡について	
1-88-4	[和歌添削]	年月日未詳	横継紙	1通		
1-88-5	特約証控	明治20年	26.1×37.4	1通	貸主一元徳→井上栄三郎 所有地の賃借について	郵便紙
1-88-6	[和歌添削一括]			1纏め(2通)		1-88-6-1~2一纏め
1-88-6-1	[和歌添削]	年月日未詳	横継紙	1通		
1-88-6-2	[和歌添削]	年月日未詳	横切紙	1通	「とこしへにこかねの花のさかえなば世の民草はいかになりゆく」など和歌6首に添削を加えたもの	1-88-6-2に巻込
1-88-7	[一元徳宛小谷生治書状外一括]			1纏め(4通)		1-88-7-1~4一纏め
1-88-7-1	[一元徳宛水川栄火書状]	年未詳3月8日	横切紙	1通	東京先月27日の大火の件、修験者強訴の件など、東京の出来事を報知したもの	
1-88-7-2	[一元徳宛小谷生治書状]	年未詳7月17日	横切紙	1通	生治→一元先生 旧七月中には入学する決心なので、それまでに沢山儲けて小生の微志達成に力を貸してほしいと伝える	
1-88-7-3	[伯父上宛小谷生治書状]	年月未詳9日	横切紙	1通	こちらは無事なのでそちらの模様をお知らせ下さい、と伝えたもの	
1-88-7-4	[一元徳宛小谷生次書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	小谷生次→一元先生 幸い健康で商業・勉強・家事・儉約に励んでいるので安心してほしいと伝え、共益社の件で度々手数をかけていることを佐米相場や船荷の積入・積下に関する情報を知らせ、久助船の到着などについて回報を求める	
1-88-8	[小谷宛一元徳書状]	年未詳2月3日	横継紙	1通		
1-89	[柚木春野宛一元徳書状]	(明治力)25年10月16日	堅紙	1通	病気にて入用多分につき、金5円の借用を依頼する 過日上販した春野が逗留せず早々に帰国したことを残念がる	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 柚木春野様 至急用」(封筒裏書)「大阪市北区老松町三丁目四十番屋敷 一元徳 十月十六日前十時投
1-90	[一元徳宛石谷松太郎書状外一括]			1袋(2通)		1-90-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷清七郎方 一元徳殿 親展」(封筒裏書)「大阪府西成郡木津村 石谷松太郎 三月
1-90-1	[一元徳宛石谷松太郎書状]	明治26年12月20日	横継紙	1通	自らが発明・開発した形付糊・糊料品の製造方法を伝授するので、当本店の支店ないしは出張所として備中国または一ヶ国での販売を引き受けてくれないかどうか要診する	
1-90-2	広告(形附糊・糊料品)	明治26年3月	25.4×32.9	1通	発明人石谷松太郎、製造販売元大阪府西成郡木津村八拾六番邸石谷松太郎、大販売所同西成郡木津村松野孝一 専売特許品の糊製品の宣	洋紙印刷物 (刊行)西成郡木津道木活版所
1-91	[小谷清七郎宛仙崎屋吉兵衛書状外一括]			1袋(2通)		1-91-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中国玉島湊ニテ 小谷清七郎様 参ル人々御中」(封筒裏書)「正月五日 従赤間閣 仙崎屋吉兵衛」
1-91-1	[小谷清七郎宛仙崎屋吉兵衛書状]	年未詳1月5日	横切紙	1通	年賀のあいさつと諸物品・素麺の相場情報について	
1-91-2	相場	年未詳1月5日	横切紙	1通	仙崎屋吉兵衛→(宛名なし) 豊前米・筑前米・肥後大豆・同小豆・白砂糖・黒砂糖などの相場一覧表	木版刷物
1-92	[小谷清七郎宛仙崎屋吉兵衛書状]	年未詳8月20日	横継紙	1通	送られてきた素麺38箱のうち4箱のみ売りさばいたこと、残りの分は品質が悪く売りさばくことが難しいが、何とか努力して販売するつもりである旨	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島湊 小谷清七郎様 従馬華 大至急用」(封筒裏書)「八月廿日 仙崎屋吉兵衛」
1-93	[先生宛小谷生次書状外一括]			1袋(2通)		1-93-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「大阪市北区中島二丁目六十五番屋敷 渡辺松茂様方にて 一元徳様」(封筒裏書)「四月五日投函 玉島湊 小谷生治拜」
1-93-1	[先生宛小谷生次書状]	(明治)25年4月5日	横継紙	1通	先生に対し内務省より許可状が下り次第上販する予定なので、その折は至急報知してくれるよう伝える 高木源八は要注意人物なので、一度に多くの商品販売を委任しない方がよいと忠告する	
1-93-2	[書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	金を儲ける最良の方法について面談を望む 一紙に同内容の文章を2、3度書き直し、推敲してある	
1-94	[小谷生治宛一元徳書状]	(明治)25年8月9日	堅折紙	1通	ひともと徳(一元徳)→小谷 月々売買仕舞までの十日間で大利を得る妙法について 四、五年で毎月百万円の利を得ることが可能になること、高梁川治水工事・玉島港浚渫・山陽鉄道の玉島誘致を考案していること等	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島港南町 小谷生治様 平安 返報 従浪花」(封筒裏書)「八月九日午後三時投函 日出山樵夫」

1-95	[小谷生治宛一元徳書状]	(明治)25年8月17日	縦折紙	1通	一元徳→小谷 本月、定約米売買法の極意を神の教えによって体得したこと、この神法を用いれば四百万円以上の費用を得て日本国中至るところで造営事業を起すことも可能であること等を伝える	封筒あり(封筒上書)「備中国玉島湊南町 小谷生治様 拜口 従浪花」(封筒裏書)「八月十七日投函 日出山樵夫拜」
1-96	[仮処分命令御下附願外一括]			1袋(2通)		1-96-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「津久井一雄様」
1-96-1	仮処分命令御下附願	明治23年6月25日	縦紙(旧状)	1通(2枚)	備中国浅口郡阿賀崎村六百九十九番邸一元徳→玉島治安裁判所判事森岡為継 原田亀二が契約書に違背して建物の売却・取崩しを行おうとしている件につき訴訟着落までの間売買及び取崩の仮停止処分を命じてくれるよう依頼する	もと罫紙1枚 本文の記された箇所が切り抜かれ、現状は2枚1組となっている
1-96-2	判決書	明治24年5月11日	縦紙	1通	大阪扣訴院民事第三部裁判長判事井上操外4名 建物の売却取崩に関する一元徳の訴えを棄却する	写し
1-97	[小谷清七郎宛仙崎屋吉兵衛書状外一括]			1袋(2通)		1-97-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島湊ニテ 小谷清七郎様 より馬華 大至急用」(封筒裏書)「第八月十日 仙崎屋吉兵衛」
1-97-1	[小谷清七郎宛仙崎屋吉兵衛書状]	年未詳8月10日	横継紙	1通	素麺の販売について電報を打ったこと、極上等品ほかの売捌き金額を伝え、素麺を送ってくれるよう依頼する。その他、塩さば等の相場について	
1-97-2	相場	年未詳8月10日	横継紙	1通	仙崎屋吉兵衛 豊前米・肥後大豆・筒にしん・油かす・小豆島素麺・瀧素麺などの相場一覧表	木版刷物
1-98	[一元徳ほか宛佐久間果園書状外一括]			1纏め(3通)		1-98-1~3一纏め
1-98-1	[福田郁彦・一元徳宛佐久間果園書状]	年月日未詳	横継紙	1通	たね→郁彦・徳 不気分のため大延引していた句の添削が漸く出来たので送り返す旨伝える	
1-98-2	[福田郁彦・一元徳宛佐久間果園書状]	年未詳3月31日	横継紙	1通	たね→福田・一元 米寿祝いの肴料に対する礼状 祝詠を摺巻に製本して1冊づつ配る心算だったが実現に至らず困っている旨を伝える	
1-98-3	[一元徳宛佐久間果園書状]	年未詳8月7日	横継紙	1通	たね→徳 御述懐1冊を近日拝見する旨伝える	罫紙
1-99	[一元徳宛佐久間果園書状]	年未詳11月30日	横継紙	1通	八十六翁たね→一元徳雅口「歌」になるように詠む和歌のつくり方について、二条後の歌などを引用しつつ理屈・口上に流れない作歌を心がけるよう教示する 長文	
1-100	[小谷宛西森書状外一括]			1袋(2通)		1-100-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「小谷様」(封筒裏書)「西森」
1-100-1	[小谷宛西森書状]	年未詳10月12日	縦折紙	1通	某氏の周旋で常盤町阪本屋奥座敷が署長の下宿に定まったこと、表二階の分は未だ確定していないことを報じる	罫紙
1-100-2	[小谷宛猷太郎書状]	年未詳10月12日	縦折紙	1通	猷太郎カ→小谷 署長のために速やかに取り決めたいので、協議の次第を承知しておきたい、この使いに返書を渡してほしい、と伝える	罫紙
1-101	[小谷清七郎・同文三郎宛仙崎屋吉兵衛書状]	(明治)17年7月5日	横継紙	1通	金比羅丸・新八幡丸など入港してくる船が荷物満載の状態で、塩鯖の積入が出来ず、送品が遅延していることを詫げる 今日午後4時入津の運賃丸に何とか塩鯖を積み込んで送る予定である旨を報じる	封筒あり(封筒上書)「備中玉島湊ニテ小谷清七郎様 同文三郎様 従馬関至急商用」(封筒裏書)「第七月五日 仙崎屋吉兵衛」
1-102	[小谷清七郎宛書状]	(明治)32年1月25日	横切紙	1通	「米の上ヶ下ヶ」(米価の変動力)に関する占いの結果報告力「大せつな世界のいき死する目との事相ひらけ」たので、その間(私が帰るまで)は行動しないよう忠告する	封筒あり(封筒上書)「岡山県備中玉島南町 小谷清七郎殿行 至急口旨」(封筒裏書)「一月廿五日 大坂南本町二丁目 大坂金子合資会社 御代筆」
1-103	[佐久間果園書状]	年月日未詳	横切紙	1通	たねいふ 作歌の指南書 三百首を拝見したが歌としての風韻あるものは一点もない、趣向・声調・言撰に気をつけ、「三十一字の口上」にならぬよう注意すべしと厳しく指導する	
1-104	[小谷清七郎宛仙崎屋吉兵衛書状外一括]			1袋(2通)		1-104-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「備中玉島港ニテ小谷清七郎様 より馬華 至急用」(封筒裏書)「口月廿七日 仙崎屋吉兵衛」
1-104-1	[小谷清七郎宛仙崎屋吉兵衛書状]	(明治)17年9月26日	横継紙	1通	素麺の売り捌き状況について報告する	
1-104-2	売仕切	(明治)17年9月26日	横継紙	1通	仙崎屋吉兵衛→小谷清七郎 ○(○の中にさ)印素麺・○(○の中にみ)印素麺・豆の販売数内訳と売捌き代金総計、諸費用を差し引いた渡し分の金額を記載した仕切書	
1-105	[金子預り証外一括]			1纏め(7枚)		1-105-1~7まで折り込み一纏め
1-105-1	金子預り証	年月日未詳	縦切紙	1枚	金21円の預り証	断簡(後半部分欠損)
1-105-2	預り証	年月日未詳	縦切紙	1枚	金200円の預り証	断簡(後半部分欠損) 墨引抹消あり
1-105-3	金子借用証券	年月日未詳	縦切紙	1枚	金400円の借用証	断簡(後半部分欠損) 墨引抹消あり
1-105-4	金子預り証	年月日未詳	縦切紙	1枚	金100円の預り証	断簡(後半部分欠損) 墨引抹消あり
1-105-5	金子借用証	年月日未詳	縦切紙	1枚	金300円の借用証	断簡(後半部分欠損) 墨引抹消あり
1-105-6	金子預り証	明治15年2月7日	縦切紙	1枚	預り主小谷清七郎・証人原福蔵→(宛名なし) 400円の預り証	文書奥部分欠損 墨引抹消あり
1-105-7	金子預り証	年月日未詳	縦切紙	1枚	金200円の預り証	断簡(後半部分欠損) 墨引抹消あり
1-106	[金受領証一括]			1纏め(2通)		1-106-1~2まで折り込み一纏め
1-106-1	証(金受領証)	明治25年旧3月20日	縦紙	1通	小幡耕介→東盛愚一 明治25年3~4月分月給の受領証	綴じ跡あり
1-106-2	証(金受領証)	明治25年6月23日	縦紙	1通	浅尾政昭→東盛愚一 借入金金の領収書	綴じ跡あり
1-107	[南無阿弥陀仏名号書幅贈呈記]	大正10年11月25日	横切紙	1通	(印判)→(宛名なし) 亡夫十七回忌・亡兄七回忌にあたり増大僧正教如に揮毫してもらった南無阿弥陀仏名号軸を贈呈する	包紙あり(包紙上書)「清」
1-108	米商二付(和歌書付)	年月日未詳	横切紙	1枚	「しらすして行ひなれハ過ちをしへ玉ハる天津神かな」など和歌3首を記	料紙は短冊状
1-109	借用証券	明治14年3月16日	縦継紙	1通	借主小野幸蔵・証人田中正平・一元徳→小谷清七郎・江口嘉平 金670円の借用証文	
1-110	指入申金子之事	明治5壬申年12月20日	縦紙	1通	預り主小谷清七郎・証人東盛源三・同東盛齋吉→中原勤三郎 商事不当り、予期せぬ損亡により、預っている金180両の返却を8ヶ年切にしてもらい、期日までに遅怠なく払い込むことを約束する	
1-111	[金借用証外一括]			1括り(4纏め19通)		1-111-1~23一括り

1-111-1	〔金借用証券外一括〕			1纏め(5通)		1-111-1-1~5を重ね二ツ折りにして一纏め
1-111-1-1	金子借用証券	明治11年寅1月11日	縦継紙	1通	金借用主小谷清七郎・証人田中定右衛門→丸川新平 金250円の借用証文 本年3月30日までに元利とも遅延なく返済する旨を約束する	墨引抹消あり
1-111-1-2	金借用証券	明治10年丑5月20日	縦紙	1通	小谷清七郎→丸川新平 金100円の借用証文 来る6月30日までに元利とも遅延なく返済する旨約束する	墨引抹消あり
1-111-1-3	金子借用証券	明治10年丑8月2日	縦紙	1通	小谷清七郎・黒川幸太郎→丸川新平 金300円の借用証文 11月30日までに元利とも相違なく返済することを約束する	墨引抹消あり
1-111-1-4	金子借用証券	明治10年丑3月1日	縦紙	1通	借用主小谷清七郎・証人黒川幸太郎→丸川新平 金200円の借用証文 7月31日までに元利とも相違なく返済する旨を約束する	墨引抹消あり
1-111-1-5	金子借用証券	明治10年丑10月3日	縦紙	1通	借主丸野勘太郎・引受証人小谷清七郎→永読講年番岩田富三郎 金50円の借用証文 12月31日までに元利とも返済することを約束する	(奥書)右引受証人小谷清七郎 墨引抹消・切抜あり
1-111-2	定約為取換之事	明治14年12月1日	縦継紙	1通	借受人江口嘉平治・証人小谷清七郎→小林小平 操綿・肥し物旧仲買中申合株を小林氏の休業中(明治19年11月まで)借り受け、営業代行する契約を結ぶ	包紙あり(包紙上書)「約定書巻通」
1-111-3	金子借用証	明治16年未1月1日	堅切紙	1通	借用主小谷清七郎・証人江口嘉平次→共益社武繩元七 金500円の借用証文 4月30日までに利子を加え延滞なく返済する旨約束する	(奥書)江口嘉平次→(宛名なし) 付箋1枚貼付 墨引抹消あり
1-111-4	金子借用証	明治15年午12月18日	堅切紙	1通	借用主小谷清七郎・証人黒川幸太郎→共益社武繩元七 金200円の借用証文 本月31日までに元利とも延滞なく返済することを約束する	付箋1枚貼付 墨引抹消あり
1-111-5	金預り証券	明治15年午11月18日	縦紙	1通	小谷清七郎→原田察次郎 金120円の預り証 12月24日までに元利とも返済する旨記す	(奥書)小谷清七郎→(宛名なし) 墨引抹消あり
1-111-6	添証書之事	明治15年12月1日	堅切紙	1通	小谷清七郎→小田近一郎 借入金返済期限の延期について	墨引抹消あり
1-111-7	金子借用証	明治16年未1月1日	堅切紙	1通	借用主小谷清七郎・証人柚木仙次郎→共益社武繩元七 金400円の借用証文 4月30日までに利子を加え延滞なく返済することを約束する	(奥書)柚木仙次郎→(宛名なし) 付箋貼付 墨引抹消あり
1-111-8	金子預り証	明治15年午3月1日	堅切紙	1通	小谷清七郎→浅原利平 金100円の預り証 本年10月30日までに元利とも滞りなく返済する旨約束する	(奥書)小谷清七郎→(宛名なし) 墨引抹消あり
1-111-9	金子借用証	明治15年午11月1日	堅切紙	1通	小谷清七郎・柚木仙次郎→(宛名なし) 金400円の借用証文 本年12月31日までに元利とも相違なく返済すべきことを約束する	墨引抹消あり
1-111-10	金子預り証	明治15年午1月1日	縦紙	1通	小谷清七郎→仁科弥曾七 金200円の預り証 来る12月31日までに満1ヶ年分の利子を加え返済することを約束する	墨引抹消あり
1-111-11	金袋講証書巻通	年月日未詳	堅切紙	1通	小谷清七郎	包紙(内容物なし)
1-111-12	預り証券	明治9年子5月21日	堅切紙	1通	小谷清七郎→能登富吉 金300円の預り証	墨引抹消あり
1-111-13	蔵預り証	明治15年1月13日	堅切紙	1通	預り主小谷清七郎→仁科弥曾七 極上白砂糖40挺の預り証	(奥書)小谷清七郎・証人柚木仙次郎→(宛名なし) 墨引抹消あり
1-111-14	記(金引替証)	明治15年午12月27日	堅切紙	1通	小谷清[破損 七郎力]→年番渡辺金二郎 金1円1銭の引替証	
1-111-15	〔借用金抵当関係証文写〕	年月日未詳	横継紙	1通	柚木仙次郎が借金の抵当として蘆江銀行に差し入れていた緋粕(にしんかす)の数量を、物価下落に対応して増量した際の証書写 柚木氏から銀行への差入証文、抵当を収納・保管した小谷清七郎が銀行に提出した預り証、柚木氏が借入金する際に提出した抵当差入証(抄出)の3通より成	文書の奥が切断され、現状2枚1組となっている
1-111-16	金子借用証	明治15年午12月5日	堅切紙	1通	借用主小谷清七郎・証人黒川幸太郎→共益社武繩元七 金500円の借用証文 本月中に元利とも延滞なく返済することを約束する	付箋1枚貼付 墨引抹消あり
1-111-17	金子預り証	明治15年午3月1日	堅切紙	1通	小谷清七郎→浅原利平 金60円の預り証 本年10月30日までに元利とも滞りなく返済することを約束する	(奥書)小谷清七郎→(宛名なし) 墨引抹消あり
1-111-18	記(代金預り証)	明治15年午5月8日	横切紙	1通	玉しま小谷清七郎→六条院村高橋伴治 白砂糖代の預り証	墨引抹消あり
1-111-19	証(金預り証)	明治15年午12月8日	横切紙	1通	小谷清七郎→下[]藤沢綱太郎 金100円の預り証	墨引抹消あり
1-111-20	金子預り証	明治15年午3月17日	縦紙	1通	小谷清七郎→西勇太郎 金100円の預り証 5月30日までに元利とも延滞なく返済する旨約束する	墨引抹消あり
1-111-21	〔借用証文一括〕			1纏め(3通)		1-111-21-1~3を重ね二ツ折りにして一纏め
1-111-21-1	書添証券	明治10年丑4月1日	縦紙	1通	借用主小谷清七郎・引受小野幸造・同江口嘉平治・証人小谷源七郎→小田近一郎 金400円の返済期限を1ヶ月猶予してもらい、4月30日までに元利とも返済することを改めて約束する	墨引抹消あり
1-111-21-2	借入金延定期約書事	明治9年子7月30日	縦紙	1通	小谷清七郎・証人黒川幸蔵→丸川新平 金210円の返済期限を2ヶ月延期してもらった上で、改めて9月30日午後3時まで利息と共に返済する旨を約束する	墨引抹消あり
1-111-21-3	金子預り手形之事	明治8年亥7月1日	縦紙	1通	地頭屋清七郎→福知屋磯右衛門 金200円の預り証	墨引抹消あり
1-111-22	〔借用証文一括〕			1纏め(2通)		1-111-22-1~2を重ねて二ツ折りにして一纏め
1-111-22-1	金子借用証券	明治10年丑8月1日	縦紙	1通	小谷清七郎→黒川幸太郎 金100円の借用証文 来る11月30日までに元利とも相違なく返済することを約束する	墨引抹消あり
1-111-22-2	金子借用証券	明治10年丑8月15日	堅切紙	1通	小谷清七郎→黒川孝太郎 金100円の借用証文 来る10月30日までに元利とも相違なく返済することを約束する	墨引抹消あり
1-111-23	〔借用証文一括〕			1纏め(2通)		1-111-23-1~2を重ね二ツ折りにして一纏め
1-111-23-1	金子預り証証	明治10年丑12月7日	縦紙	1通	小谷清七郎→黒川孝太郎 金300円の預り証 本月31日までに元利とも遅延なく返済する旨を約束する	墨引抹消あり
1-111-23-2	借入金証券	明治10年丑6月1日	堅切紙	1通	浅口郡阿賀崎村借用主小谷清七郎・証人田中元助→窪屋郡酒津村梶谷伊平治 金400円の借用証文 11月30日までに遅延なく返済する旨を	墨引抹消あり

1-112	〔金銭書付外一括〕			1括り(3通5枚1袋2丁)		1-112-1～11で巻込一括
1-112-1	〔金銭書付〕	年月日未詳	横折紙	1枚	新地町安原代吉九十七銭ほか 資料の性格未詳	
1-112-2	〔諸入用書付〕	年月日未詳	横折紙	1枚	大豆代、住吉様セイセン(賽銭)、酒代、電信料、三田尻・下関まで汽船賃など代金の書付	
1-112-3	〔商品売買書付〕	明治37年		1枚	拾円三十石買、三円拾石買など	断簡 横折紙を中央で切断したもの
1-112-4	〔金銭書付〕	年月日未詳		1枚	相場の変動を記したもののカ 詳細未詳	断簡 横折紙を半分に切断したもの
1-112-5	証	明治18年2月6日	横継紙	1通	大阪平口→小谷清七 ざこ代57円の引渡証	
1-112-6	宣誓	明治	竖切紙	1通	阿賀崎村八百九十四番邸小野善平五十九才・妻くら三十九才外6名→神道月徳教会 教会への入信に際して提出された宣誓書	文面に重ねて「シ日」の2文字が大書してある
1-112-7	宣誓	明治24年5月1日	竖切紙	1通	岡山県備中国浅口郡矢柄村六百拾六番邸三宅代次郎六十六才外6名→神道月徳教会 教会への入信にあたって提出された宣誓書	
1-112-8	稀〇	年月日未詳	36.0×26.0	1袋	何らかの商品(キセルカ)の封入袋	紙袋(内容物なし)「大極上請合」の朱印あり
1-112-9	〔収益金差引計算記〕	年末詳8月20日～21日	横折紙	1丁	8月20～21日の売高から柚木・仁科・玉屋・和田や・福武・金盛舎への渡し分、弁当代などの経費を引き、残高を求めたもの	綴じ穴あり もと横長帳、1-112-10と一連資料と思われる
1-112-10	〔収益金差引計算記〕	年末詳8月20日～27日	横折紙	1丁	8月20～27日の売上金から茶屋などへの渡し分、弁当代などを差引計算したものの	綴じ穴あり もと横長帳、1-112-9と一連資料と思われる
1-112-11	〔買物通〕	年月日未詳	横折紙	1通	トダナ(戸棚)・ガラス・水がめ・ふすま・ゴフク箱(呉服箱カ)・茶ダンス・長火鉢などの支払代金を取扱店ごとにまとめたもの	
1-113	売仕切	年末詳2月6日	竖継紙	1通	藤田□□(印:播州飾磨港入船仕切判)→吉松屋嘉兵衛外1名 撰練緋3本の仕切書	「写」との注記あり
1-114	〔居宅年季出入証書類・年貢受領証外一括〕			1包(32通1纏め1丁)		1-114-1～34まで一括包紙入り 包紙は8月23日付地頭屋清蔵宛大坂小山屋清五郎仕切書を再利用したもの
1-114-1	日々記帳	年月日未詳	横折紙	1丁	亀屋の内1間分を借宅すること、家賃の額、敷地内の井戸のことなどにつ	綴じ穴あり もと横長帳の一部カ
1-114-2	差上申内済証文之事	天保12丑年6月	竖継紙	1通	浅口郡阿賀崎新田村訴訟人重助・同村相手清蔵・年寄良助→倉敷御役所 重助宅を間借りしたまま契約年限を過ぎても部屋を返さない清蔵を重助が訴え出した事件について	
1-114-3	乍恐以書付御訴訟奉申上候	丑年3月	竖継紙	1通	浅口郡赤崎新田村百姓訴訟人重助→倉敷御役所 居宅年季出入 重助居宅の一部を10年契約で間借りしたまま、期限を過ぎても部屋を明け渡さない地頭屋清蔵を訴えたもの	(奥書)右村年寄良助・町惣代善右衛門 (裏書写)「高又蔵」
1-114-4	相渡申質地証文之事	天保13年寅10月	竖継紙	1通	阿賀崎新田村南町質主誰・同村証人誰→地頭屋清蔵 当暮の年貢支払に指し詰まった際、屋敷・建物等を質入して銀子を借用するための証文	
1-114-5	乍恐以書付再御歎願奉申上候	丑年6月	竖継紙	1通	竹治郎(浅口郡阿賀崎新田村百姓清蔵代理)→倉敷御役所 居宅年季出入の件 訴訟人の重助の言い分に偽りがあること、「よみかるた」を行うなど素行に問題があることを指摘し、訴訟の内済による決着を願い出る	
1-114-6	乍恐以書付御歎願奉申上候	丑年6月	竖継紙	1通	竹次郎(浅口郡阿賀崎新田村百姓清蔵代理)→倉敷御役所 同村百姓重助との居宅年季出入について 柏島村寛兵衛らの仲裁も不調に終わったこと、馴れた場所を商売を続けるために重助が熱談内済に応じるよう説得してほしいと歎願したもの	
1-114-7	差入申一札之事	天保12丑年6月	横継紙	1通	居家借主清蔵・親類喜介→重助 居宅年季出入の件 倉敷村代次郎の仲裁により、借家の明け戻しを3年間猶予してもらい、期限内に他の借家をみつけて移転する旨を約束する	(奥書)取保人倉敷村代次郎
1-114-8	覚(金納付書)	年末詳11月10日	横切紙	1通	西喜屋吉次カ→元地頭屋 講の加入金16両の納付書	
1-114-9	為取替条約書之事	明治8年9月2日	竖紙	1通	阿賀崎村石井喜助・同兼松・安江村原繁太郎・同おたみ外2名→(宛名なし) 夫婦離別にともなう、長女なをの相互養育期限・養育諸経費の負担者・死亡時の埋葬責任者などを定めたもの	罫紙(「証券界紙」とある)
1-114-10	議定書之事	嘉永5年子5月	横切紙	1通	榎屋藤八・証人小七郎→地頭屋清蔵・山本屋与平 居宅借請けの件につき、約束の銀子支払が済み次第いつでも借家を明け渡す旨を誓約す	
1-114-11	覚(受領証)	弘化4年未6月29日	横切紙	1通	庄屋伊十郎→(宛名なし) 当未御年貢の受領証	
1-114-12	〔租税受領証一括〕			1纏め(11)		1-114-12-1～11まで折り重ね一括
1-114-12-1	明治貳己御租税金請取	(明治2年)	横切紙	1通	庄屋安八郎外1名→南清蔵 税金の受領証	
1-114-12-2	覚(金受領証)	嘉永2年酉4月11日	横切紙	1通	庄屋伊十郎→南清蔵	
1-114-12-3	覚(金受領証)	安政5年午3月5日	横切紙	1通	庄屋安八郎→地頭屋清蔵 上納金5両の受領証	
1-114-12-4	覚(銀受領証)	弘化2年巳12月29日	横切紙	1通	庄屋伊十郎→南清蔵 当己御年貢皆済銀の受領証	
1-114-12-5	卯御年貢銀引当中繫請取	慶応2年卯6月	横切紙	1通	庄屋三宅安八郎・鷹吉→南清蔵 年貢銀の受領証	
1-114-12-6	寅舟石代引当銀受取	慶応3年卯7月	横切紙	1通	庄屋三宅安八郎・同見習鷹吉→南清蔵 租税の受領証	
1-114-12-7	覚(銀受領証)	年末詳卯7月5日	横切紙	1通	庄屋最平→(宛名なし) 年貢米代銀の受領証	
1-114-12-8	覚(銀受領証)	年末詳卯7月5日	横切紙	1通	庄屋最平→文右衛門 寅御年貢銀の受領証	

1-114-12-9	覚(銀受領証)	慶応元年丑12月25日	横切紙	1通	庄屋安八朗・同見習鷹吉→南清蔵 当丑御年貢銀の受領証	
1-114-12-10	覚(銀受領証)	安政5年午12月25日	横切紙	1通	庄屋安八朗→南清蔵 当午御年貢銀の受領証	
1-114-12-11	[金納入覚]	年未詳10月3日	横切紙	1通	南清蔵 金5両ほかの納付について	
1-114-13	[租税等受領証一括]			1纏め(12)		1-114-13-1~12まで折り重ね一括
1-114-13-1	覚(銀受領証)	万延元年申12月24日	横切紙	1通	庄屋安八郎→南清蔵 当申御年貢銀の受領証	
1-114-13-2	庚午御租税金請取	年月日未詳	横切紙	1通	庄屋三宅安八朗・同見習鷹吉→小谷清蔵 税金の受領証	
1-114-13-3	覚(銀受領証)	慶応4年辰正月17日	横切紙	1通	庄屋最平→宮地文右衛門 卯御年貢銀の受領証	
1-114-13-4	覚(税金受領証)	明治3年午12月27日	横切紙	1通	庄屋三宅最平→宮地文右衛門 当年御租税金の受領証	
1-114-13-5	覚(銀受領証)	安政4年巳2月22日	横切紙	1通	庄屋良助→南清蔵 去辰冥加米代銀の受領証	
1-114-13-6	覚(銀受領証)	安政3年辰3月26日	横切紙	1通	真鍋島庄屋伝右衛門→玉島地頭屋清蔵 岩坪波戸勸化銀の受領証	
1-114-13-7	[受領証]	年未詳12月11日	横切紙	1通	勇崎村庄屋→(宛名なし) 8升3合12タの受取 品目不明	
1-114-13-8	覚(銀受領証)	文久3年亥12月28日	横切紙	1通	庄屋安八郎→南清蔵 当亥御年貢銀の受領証	
1-114-13-9	覚(税金受領証)	辛未年9月25日	横切紙	1通	庄屋三宅安八郎・同見習同鷹吉→小谷清七郎 当未御租税金の受領証	
1-114-13-10	覚(税金受領証)	明治2年巳12月29日	横切紙	1通	庄屋藤右衛門・同代勤藤介→宮本屋文右衛門 当巳御租税金の受領証	
1-114-13-11	明治元辰御年貢金請取	明治元年	横切紙	1通	庄屋三宅安八朗・同見習鷹吉→南清蔵	
1-114-13-12	覚(銀受領証)	文久2年戌12月29日	横切紙	1通	庄屋安八郎→南清蔵 当戌御年貢銀の受領証	
1-115	[一元徳宛佐久間果園書状]	年未詳8月28日	横切紙	1通	干魚を沢山もらったことに対する礼状 たね一徳	
1-116	[生鮑ほか料理の調理法書付]	年月日未詳	横切紙	1通	生鮑(アワビ)・ふる吹・たこもち・竹ノ子などの調理について記載	包紙あり
1-117	出世払借用証	年月日未詳	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村小谷清七郎→石川県下加賀国久保彦三郎 明治15年11月上旬に久保氏の「御手船」寿保丸入港の際買い受けた荷物代1250円の未払分につき、「身代持直シ候節」に必ず返済する旨、約	
1-118	壹ヶ年切實地証文之事	嘉永4年亥9月	縦継紙	1通	西町質主忠蔵・久々井証人忠左衛門・西町倉吉・同治兵衛・年寄六郎右衛門→阿賀崎新田村西町源吉 当暮御年貢その他要用に差し詰ったため、畑を質入して銀1貫目を借用したもの	(奥書)庄屋源右衛門
1-119	相渡申質地証文之事	安政5年午12月	縦紙	1通	質主西尾屋要蔵・証人善見屋熊蔵→地頭屋清蔵・中屋要蔵 年貢支払に差し詰ったため、屋敷・建屋を質入して銀1貫360目を借用したもの	
1-120	記(株券代受領証)	明治13年10月15日	横切紙	1通	壺江銀行担当者姓尾三郎→小谷清七郎 株券20枚の代金受領証	
1-121	免証	明治18年12月3日	19.0×25.4	1通	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村平民小谷文三郎→小谷清七郎 自分が発明した紺色紅色染液法および染め方の伝授代理人として九州地方へ出かけることを許可したもの	
1-122	目録覚	18年10月29日	横切紙	1通	長州下ノ関仙崎屋吉兵衛→小谷清七郎 大坂・博多行電信料などの受取分・差引残高を記した仕切書	
1-123	規定一札之事	明治6年酉4月	縦紙	1通	鴨方村親ひな・同村証人弥吉・玉島証人武介→玉島地頭屋清蔵 娘の病気について見舞金提供に応じてくれたことを謝し、今後娘の身体に何事か生じてもあれこれ申し立てないことを約束する	
1-124	口上書	年未詳10月23日	横切紙	1通	(差出人なし)→小谷清七郎 5万円口の証券を改めて提供してくれるよう依頼する	
1-125	覚(銀預り証)	丑年10月17日	縦継紙	1通	吉井屋源蔵→口口清蔵 銀500目の預り証	
1-126	証(株券取替証)	(明治力)15年5月22日	横切紙	1通	壺江銀行担当者姓尾三郎→小谷清七郎 小野幸造名義の持株10枚と200円の引換証	
1-127	[和歌書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「白銀や口口の花の枝ハしも手をのなけれハ切るすへそなき」	短冊状の料紙
1-128	鯉の粕預り証	明治14年10月28日	縦紙	1通	預主柚木仙次郎・証人小谷清七郎→壺江銀行 鯉粕(にしんかす)110本の預り・引替証	(奥書)柚木仙次郎
1-129	証	明治11年9月8日	縦切紙	1通	浅口郡玉島村小谷清七郎代人藤沢住之丞→川上郡成羽村仁口繁吉 繁吉の返済延滞が原因で訴訟になっていた金6円31銭を無事領収する	
1-130	記(神具等預り証)	明治25年4月26日	縦紙	1通	永井半左衛門カ→小幡耕介 板御守・剣先・御洗米・御鏡餅・宣誓書などの預り証	
1-131	金子借用証文之事	明治8年9月1日	縦紙	1通	借用主白神七右衛門→小谷清七郎 金6円40銭を借用し来る11月30日までに元利とも延滞なく返済することを約束する	
1-132	金子借用証券	明治8年亥10月13日	縦紙	1通	金子借用主甲谷利右衛門→小谷清七郎 金17円を借用し、来る11月15日までに元利とも滞りなく返済する旨約束する	

1-133	記(代金預り証)	巳年3月31日	横切紙	1通	備中倉敷宝来屋光三郎→地頭屋 いりこ代6円5銭の預り・引替証	
1-134	差入申別紙之事	文久3年亥正月	縦紙	1通	預り主新見大塚屋伊助・受人かわら屋力芳之助→地頭屋清蔵 買い物代銀120目の預り証	
1-135	相渡申質地証文之事	安政2年卯12月	縦継紙	1通	質主茶屋重兵衛・証人観音院・同辰之助→笹屋重助 当暮年貢その外の支払いに差し詰ったため、屋敷を質入して銀5貫目を借用したもの	(奥書)庄屋良助
1-136	預り手形之事	安政4年巳12月	堅切紙	1通	預り主乙島浜屋正五郎・証人武吉→南町地頭屋清蔵 金2両2歩の預り・引替証(引替有効期限は来る5月まで)	
1-137	金子借用証	明治36年7月26日	堅切紙	1通	玉島町南町借用主小谷文三郎・同袖木正男・証人田中定右衛門→玉島町新町大田愛太郎 金30円を借用し、来る8月30日までに相違なく元利とも返済することを約束する	墨線抹消 印影部分切抜
1-138	[和歌詠草]	年月日未詳	横継紙	1通	「口神のミいつをとハにあら玉のひかりをなしてうつす諸人」外	
1-139	[地所借用関係証文写]	天保11年丑12月 嘉永5年子7月	縦継紙	1通	天保11年丑12月「堺石垣借用一札之事」、嘉永5年子7月「差入申地所借受規定之事」の2通を貼り継いだもの 竹口屋役次郎が「私勝手」「手水場振替」のため横溝家の堺石垣・幅2尺の屋敷地を借用する	
1-140	差入申預り規定之事	文久3年亥正月	縦紙	1通	預主大塚屋伊助・受人かわらや高蔵カ→地頭屋清蔵 預り銀を4・6・7月の三度に分割し、清蔵出会の際に渡すことを約束した手形	
1-141	相渡申質地証文之事	嘉永5年子12月	縦継紙	1通	質主茂兵衛・証人倉吉→丸屋治平 当暮年貢の支払いに差し詰ったため、1年季で土地を質入し銀525匁を借用する	(奥書)年寄敬蔵
1-142	目録(結納品受領書)	明治29年3月10日	縦紙	1通	佐藤松蔵→小谷清七郎 鮑伸・扇子・小袖などの受取状	
1-143	[散らし書消息]	年月日未詳	縦紙	1通	新春の慶びを寿ぐ挨拶文 消息文例などを参考に書かれたものカ	紙質劣化
1-144	記(神社修繕費受取書)	明治13年1月	縦紙	1通	羽黒神社社務所→小谷清七郎 神社永蔵修繕費として積立された法構社有志金の受取書	
1-145	目録(結納品目録)	年月日未詳	縦紙	1通	家内貴多留(柳橙)・さかな・扇子など	包紙入り
1-146	金子借用証	明治14年巳11月1日	縦紙	1通	借用主阿賀崎村小谷清七郎・右同断袖木仙次郎・右同断江口嘉平治・証人小谷源七郎→本莊村小田近一郎 金900円を借用し、来る午4月31日までに元利とも返済することを約束する	墨引抹消あり
1-147	家屋舗売渡規定証書	明治6年癸酉7月12日	縦紙	1通	売主小谷清七郎・証人東盛源蔵・同片沼重米→虫明豊一郎 家屋敷を代価110円にて売却し、地券名義の書換・売渡証文の渡付について定め	(奥書)副戸長三宅最平・同三宅馬雄
1-148	[平面図一括]			1纏め(13)		1-148-1~13まで巻込一括
1-148-1	[四等社建物・敷地平面図]	年月日未詳	29.0×37.4	1枚	間取り・畳数の記載あり	
1-148-2	[三等社建物・敷地平面図]	年月日未詳	28.4×42.5	1枚	1-148-1と同じ屋敷 間取りに変更点あり	
1-148-3	[五等社建物・敷地平面図]	年月日未詳	29.0×37.2	1枚	1-148-1と同じ屋敷地 敷地面積に変更あり	
1-148-4	[建物平面図]	年月日未詳	24.7×34.7	1枚	1-148-1とは異なる建物 間取・畳数・部屋の用途(ゼントダナ・女へや・フゾクへや・ラシ込・トコ・祖先など)に関する記入あり	
1-148-5	[建物・敷地平面図]	年月日未詳	28.5×40.0	1枚	「拜登」(拜殿)、「祭政官」などの記入あり 祭祀施設の図面カ	
1-148-6	[代々社建物・敷地平面図]	年月日未詳	28.3×50.0	1枚	1-148-1と同じ建物 廊下部分などの改変、炭・薪・漬物小屋の追加がみられる	
1-148-7	[十等社建物・敷地平面図]	年月日未詳	18.7×29.1	1枚	1-148-1と同じ建物 間取などに相違あり	
1-148-8	[八等社建物・敷地平面図]	年月日未詳	22.0×30.7	1枚	1-148-1と同じ建物 間取などに相違あり	
1-148-9	[六等社建物・敷地平面図]	年月日未詳	21.7×29.0	1枚	1-148-1と同じ建物 間取などに相違あり	
1-148-10	[五等屋敷建物・敷地平面図]	年月日未詳	21.6×28.4	1枚	建物・部屋に用途(ナガヤ・三間モン・使者ノ間・惣板場・ケシノマなど)の記入あり	
1-148-11	[二等社建物・敷地平面図]	年月日未詳	28.5×48.0	1枚	間取り部分に畳数の記載あり	
1-148-12	[一等社建物・敷地平面図]	年月日未詳	29.0×57.7	1枚	拜殿・井戸手洗などの記載、間取り部分に畳数の記入あり	
1-148-13	[建物平面図]	年月日未詳	61.5×63.0	1枚	建物の用途など未詳	
1-149	[助成物産会社創立資金受領証一括]			1纏め(2通)		1-149-1~2まで折り込み一括
1-149-1	証(金受領証)	明治11年11月5日	横切紙	1通	助成物産会社発起代理神戸本店創立人森谷記一→中川久平 創立入費金75円の受領証 開業後、株券を渡すことを約束する	
1-149-2	証(金受領証)	明治11年11月5日	横切紙	1通	助成物産会社発起代理神戸本店創立人森谷記一→一元徳 創立入費金250円の受領証 開業後、株券を渡すことを約束する	
1-150	受取書巻通	年月日未詳		1包	中川久平	包紙のみ 1-149-1と関連するカ
1-151	金子借用証	明治15年午8月1日	縦紙	1通	借用主小谷清七郎・証人袖木仙次郎・田中定右衛門→大西嘉蔵 金400円を借用し本年10月31日までに元利とも相違なく返済することを約束する	墨引抹消あり
1-152	[消息文]	年月日未詳	縦紙	1通	迎春を寿ぐ祝儀文	髪質劣化
1-153	売渡申証文之事	嘉永5年	縦紙	1通	売主林兵衛・証人亀吉・同幸八→地頭屋清蔵 借屋替にともない、同屋敷地内に私的に建造していた座敷・湯殿・雪隠などを売却し、代銀1貫400目を受け取る	
1-154	相渡申一札之事	安政6年未12月	縦継紙	1通	売主要蔵・証人熊蔵・取喰人西喜屋吉蔵→地頭屋清蔵・中屋要蔵 期日までに質銀を返済することが難しいため、質銀増額と引き替えに質物屋敷・建物を売却する	
1-155	相渡申質地証文之事	天保14年卯12月	横切紙	1通	質主中屋紋吉・証人八蔵→地頭屋清蔵 当暮年貢差し詰りのため、屋敷・建物・畑を質入し1ヶ年季で銀4貫100目を借用する	(奥書)庄屋安兵衛
1-156	小作証文之事	安政3年辰4月	縦継紙	1通	小作人笹尾村久太郎・同所受人文七・五人組頭繁蔵・肝煎美津宣→井村上市三山屋喜蔵 笹尾の中田5畝など総計4反6畝の田地についての小作契約書	(奥書)右村庄屋羽場仙右衛門・同見習武一郎

1-157	一札之事	文政13年寅12月	縦紙	1通	借家主地頭屋清蔵・引請人竹島屋喜助・証人杉屋亀八郎→笹屋重助 当時入用につき、家賃250目にて10ヶ年の間、笹屋居宅の内を借用する 年限を過ぎたら速やかに借家を明け渡し、建物なども撤去する旨、約束	
1-158	売買地券御書換願	明治18年1月	縦紙	1通	売渡人小谷清七郎・買受人一元徳→浅口郡長窪津義忠 備中国浅口郡 阿賀崎村字南町の宅地1畝23歩について、売買契約が定結されたので、 地券の名義変更を願う出る	
1-159	〔庭瀬藩新邸落成祝詩〕	天保13年壬寅12月	横切紙	1通	森廷探力 庭瀬藩主板倉勝貞の弟勝虎が江戸から庭瀬に移住し、庭瀬 城大手門内に新宅を造営した際、その完成を祝して家臣の森氏が賦した	原文書 伝来経緯など不明
1-160	無地	年月日未詳		1包		包紙のみ
1-161	売買地券御書換願	明治18年1月	縦紙	1通	売渡人小谷清七郎・買受人小谷文三郎→浅口郡長窪津義忠 備中国浅 口郡阿賀崎村字南町の宅地売買契約締結にともない地券名義の書き換 えを申請したもの	
1-162	〔金銭送り状一式〕			1纏め(2通)		1-162-1～2まで一括(1-162-1の中に1-162-2を巻込)
1-162-1	送り手形	亥年1月13日	横切紙	1通	相生浦浜本弥七郎・片島陸運会社→備中玉島港地頭屋事小谷清七郎 金30円を陸運会社に託して送付した際の送り状	
1-162-2	金三拾	年月日未詳	横切紙	1通	播州片島陸運会社の朱印あり 金30円の送り札力	1-162-1の中に巻込
1-163	預り証	明治23年2月19日	横切紙	1通	玉島今井千代吉→津久井一雄 大谷元金光様直筆掛物1幅(庭瀬保田 氏所有)の預り証	
1-164	証	年未詳9月3日	縦継紙	1通	網屋半二郎→金集丸久吉 預っていた素麺97箱の売却代金引替証	
1-165	差入申一札之事	天保13年寅12月	縦切紙	1通	質主中屋重兵衛・証人八蔵・同竹蔵・同口口七左衛門→地頭屋清蔵 銀 4貫100目を受け取ったので証文記載の期限(借入金などの返済期日) を書き改めて渡す旨を伝える	
1-166	〔売仕切書〕	年月日未詳	横折紙	1丁	長州下ノ関綿屋久治郎→金集丸久吉 素麺・うどんなどの売払代金から 諸費を差し引いて渡したものの	綴じ穴あり もと横長帳の一部力
1-167	目録・記	年未詳9月4日	横折紙	1丁	長州下ノ関綿屋久治郎 備中素麺などの売払代金渡し記録	綴じ穴あり もと横長帳、1-166と関連する力
1-168	〔各種証文・商売関係書類外一括〕			1纏め(3包 20通15丁11 枚2纏め)		1-168-1～51まで折り重ね一括
1-168-1	〔船舶売渡証一括〕			1纏め(2通)		1-168-1-1～2まで折り重ね一括
1-168-1-1	〔船舶売渡証〕	明治19年	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡黒崎村売渡主原田権六→浅口郡口島村森谷幸吉 日本形三間部船の売渡証 朱筆にて船の平面図を書入れ	
1-168-1-2	〔船舶売渡証〕	明治19年	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡黒崎村売渡主原田権六→浅口郡口島村森谷幸吉 日本形三間部船の売渡証 朱筆にて船の平面図書入れあり	
1-168-2	建物誤謬変更願	年月日未詳	縦紙	1通	浅口郡阿賀崎村字南町所在の木造瓦葺建物について	書きさし 墨線にて抹消されている
1-168-3	敷地番変更願	年月日未詳	縦紙	1通	浅口郡阿賀崎村字南町所在の木造建物敷地について	書きさしの草稿 墨引抹消 罫紙
1-168-4	御年玉	年月日未詳		1包	小谷文三郎→高運寺 御年玉袋	包紙のみ
1-168-5	御年玉	年月日未詳		1包	小谷文三郎→海長院 御年玉袋	包紙のみ
1-168-6	御年玉	年月日未詳		1包	小谷文三郎→山本庵 御年玉袋	包紙のみ
1-168-7	〔白紙〕	年月日未詳	縦切紙	1枚		
1-168-8	売仕切	年未詳旧8月13日	縦紙	1通	明珍屋徳口→備中玉島弥吉 いりこの販売数・代価などを記した仕切書	
1-168-9	仕切	明治11年12月12日	縦継紙	1通	岡本幸八郎→小谷清七郎・中塚弥之助 数の子販売代金の仕切書	
1-168-10	〔白紙〕	年月日未詳	縦切紙	1枚		
1-168-11	〔白紙〕	年月日未詳	縦切紙	1枚		
1-168-12	〔白紙〕	年月日未詳	縦紙	1枚		
1-168-13	販売計算記	明治18年11月22日	縦紙	1通	大坂長堀橋北詰白水利兵衛→小谷清七郎 エゴの販売代金から手数 料・仲買料・運賃など諸経費を差し引いた金額を記した仕切書	罫紙
1-168-14	販売計算証	明治18年11月21日	縦紙	1通	大坂長堀橋北詰白水利兵衛→小谷清七郎 エゴ83個などの販売代金 から手数料・運賃ほかを差引計算した仕切書	罫紙2枚1組 綴じ穴あり
1-168-15	〔塩鯖取引記録〕	年月日未詳	横折紙	1通	塩鯖販売代金から諸経費を差引計算した記録	
1-168-16	〔講金貸付記録〕	年月日未詳	横折紙	1通	貸付金額・貸付日・利息を記載	綴じ穴あり もと横半帳の一部力
1-168-17	〔金銭貸付記録〕	明治15年	横折紙	1枚	江口嘉平治に対する金貸付記録 貸付金額・貸付日・利息など	綴じ穴あり もと横半帳の一部力
1-168-18	〔金銭出納記録〕	午年	横折紙	1枚	金の貸付・電信料の支払などについて	綴じ穴あり もと横半帳の一部力
1-168-19	〔金銭記録〕	年月日未詳	横折紙	1枚	日付ごとに当日の天気と金銭の数量、「東」「神」「馬」などの略号が記入 されている 用途未詳	綴じ穴あり もと横長帳の一部力
1-168-20	〔金銭記録〕	年月日未詳	横折紙	1枚	日付ごとに当日の天気と金銭の数量、「東」「神」「馬」などの略号が記入 されている 用途未詳	綴じ穴あり もと横長帳の一部力 1-168-19と一連のもの
1-168-21	〔塩鯖取引記録〕	年月日未詳	横折紙	1通	塩鯖の販売代金から諸経費を差引いた実収益を記録したもの	
1-168-22	〔金銭記録〕	年月日未詳	横折紙	1枚	金銭の出入を記録したもの 詳細未詳	綴じ穴あり もと横長帳の一部力
1-168-23	〔金銭支払記録〕	年月日未詳	横折紙	1枚		綴じ穴あり もと横長帳の一部力
1-168-24	〔訴訟関係書類一括〕			1纏め(2通1 枚)		1-168-24-1～3まで折込一括
1-168-24-1	委任状	明治24年10月	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村本籍当時大阪市北区中島二丁目松本房 へ寄留平民一元徳 井上定に対する訴訟行為を代言人川上鶴太郎に委 任したもの	罫紙
1-168-24-2	〔白紙〕	年月日未詳	縦継紙	1枚		罫紙

1-168-24-3	〔裁判願い下げについて〕	年未詳7月14日	縦紙	1通	願人代原田亀二・上願人一元徳 井上栄三郎との裁判をひとまず願い下げにすることについて	罫紙
1-168-25	〔白紙〕	年月日未詳	縦紙	1枚		罫線のみ引かれている
1-168-26	寛	明治15年	横折紙	1通	金銭支払の記録 詳細未詳	綴じ穴あり もと横長帳の一部
1-168-27	〔金貸借記録〕	申年4月7日	横折紙	1通	甕江銀行関係の金貸借記録	
1-168-28	〔借入金明細書〕	明治17年申4月7日	横折紙	1通	小野幸蔵が甕江銀行から借り入れた借金について、33ヶ月分の利子などを含めた返済総額を算出したもの	
1-168-29	現金御通	明治28年	横折紙	1通	玉島港南町モト小谷肆→平松要五郎力 す(酢力)・塩・たる(樽)などの買箱・フタ・魚船・火鉢・かばん・常吉ばかりなどの代金を記し、取引が完了した項目に印を入れたもの	綴じ穴あり もと横長帳の一部
1-168-30	〔物品売買帳面断簡〕	年月日未詳	横折紙	1丁	箱・なべ・ぜん(膳力)・ツボ・かめ・ランプ台・煙草盆などの代金授受記録 取引完了分には印を付す	綴じ穴あり もと横長帳の一部、1-168-30と一連資料力
1-168-31	〔物品売買帳面断簡〕	年月日未詳	横折紙	1丁	箱・なべ・ぜん(膳力)・ツボ・かめ・ランプ台・煙草盆などの代金授受記録 取引完了分には印を付す	綴じ穴あり もと横長帳の一部、1-168-30と一連資料力
1-168-32	〔物品売買帳面断簡〕	年月日未詳	横折紙	1丁	箱・なべ・ぜん(膳力)・ツボ・かめ・ランプ台・煙草盆などの代金授受記録 取引完了分には印を付す	綴じ穴あり もと横長帳の一部、1-168-30と一連資料力
1-168-33	〔物品売買帳面断簡〕	年月日未詳	横折紙	1丁	箱・なべ・ぜん(膳力)・ツボ・かめ・ランプ台・煙草盆などの代金授受記録 取引完了分には印を付す	綴じ穴あり もと横長帳の一部、1-168-30と一連資料力
1-168-34	〔物品売買帳面断簡〕	年月日未詳	横折紙	1丁	箱・なべ・ぜん(膳力)・ツボ・かめ・ランプ台・煙草盆などの代金授受記録 取引完了分には印を付す	綴じ穴あり もと横長帳の一部、1-168-30と一連資料力
1-168-35	〔物品売買帳面断簡〕	年月日未詳	横折紙	1丁	箱・なべ・ぜん(膳力)・ツボ・かめ・ランプ台・煙草盆などの代金授受記録 取引完了分には印を付す	綴じ穴あり もと横長帳の一部、1-168-30と一連資料力
1-168-36	〔売買物品帳面断簡〕	年月日未詳	横折紙	1丁	箱・なべ・ぜん(膳力)・ツボ・かめ・ランプ台・煙草盆などの代金授受記録 取引完了分には印を付す	綴じ穴あり もと横長帳の一部、1-168-30と一連資料力
1-168-37	証	(明治)26年5月14	縦紙	1通	丸亀宗古町松代伊三郎→小谷清七郎 勢州若布の送り状	
1-168-38	〔小谷大人宛香西八百十郎書状〕	年月日未詳	縦紙	1通	無抵当取替金をひとまず返金してくれるようお願いしたもの	
1-168-39	売記	明治18年8月31日	縦紙	1通	長州下ノ関仙崎屋吉兵衛→小谷清七郎 委託された素麺26箱を44円20銭で売りさばいたことを伝えた仕切書	罫紙
1-168-40	金子預手形之事	慶応2年寅4月2日	縦紙	1通	地頭屋清蔵→簗屋新助 金80両の預り証	墨引抹消あり
1-168-41	十ヶ年季質地証文之事	弘化3年午11月	横切紙	1通	質地地頭屋清蔵・証人山本屋与兵衛外1名→今津屋[抹消] 当暮年貢差し詰りのため、屋敷・建物を賃入して銀4貫目を借用する	(奥書)庄屋[抹消] 本文・人名部分墨引抹消あり
1-168-42	〔通帳断簡〕	明治19年	横折紙	1丁	酢・樽・素麺などの代金付込み	綴じ穴あり もと横長帳の一部
1-168-43	〔通帳断簡〕	明治18年	横折紙	1丁	かつお・焚込・樽・酢などの代金付込み	綴じ穴あり もと横長帳の一部、1-168-42と一連資料力
1-168-44	建物売渡之証書	年月日未詳	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村字南町宅地の木造瓦葺建物について	罫紙 草案の反故
1-168-45	診断書	年月日未詳	縦紙	1通	浅口郡阿賀崎村イシ坂田雅夫→浅口郡阿賀崎村小谷文三郎 腸カタルの診断書	
1-168-46	記(素麺代金書上)	年月日未詳	横折紙	1丁	長州下ノ関綿屋久治郎(印) 委託販売した備中素麺の代金仕切書力	綴じ穴あり もと横長帳の一部
1-168-47	〔代金書付〕	年月日未詳	横折紙	1丁	長州下ノ関綿屋久治郎(印) 委託販売物品の代金仕切書力	綴じ穴あり もと横長帳、1-168-46と一連資料力
1-168-48	〔商品代金仕切書〕	寅年9月5日	横折紙	1丁	わた久(綿屋久治郎) 商品の売払代金から口銭・港塘上納など諸経費を差し引いた金額を示したもの	綴じ穴あり もと横長帳、1-168-46と一連資料力
1-168-49	売記	年未詳8月25日	横折紙	1丁	長州下ノ関綿屋久治郎(印) 本山小麦の売払代金を示したもの	綴じ穴あり もと横長帳の一部
1-168-50	目録覚	寅年9月5日	横折紙	1丁	長州下ノ関綿屋久治郎→小谷清七・金集丸久吉 備中素麺・うどん・鉄・本山小麦の取引関連	綴じ穴あり もと横長帳の一部
1-168-51	記(代金受取)	寅年9月4日	横折紙	1丁	長州下ノ関綿屋久治郎(印) 商品売渡代金の受取証	綴じ穴あり もと横長帳の一部
1-169	〔葬列次第〕	年月日未詳	横継紙	1巻	「杉田老翁書之 今茲七十有六」とある 位牌・棺を中心とした葬列の編成表 各配役ごとに葬列に参加した玉島町人の名が多数記入されている 葬儀の主体は未詳	
1-170	〔書状・願・届・証書類一括〕			1纏め(4通2纏め)		1-170-1~6まで紙箱入り一括
1-170-1	寿	年月日未詳		1包	包紙の内側に「すめらおふみ神」「すめらおふさき」の神名を記す 御守	包紙のみ
1-170-2	〔書状・証書外一括〕			1纏め(2通2纏め)		1-170-2-1~4まで折込一括
1-170-2-1	〔書状草案〕	年月日未詳	横継紙	1通	挨拶文と商品買入に関する書状の下書 同じ文章を推敲しながら何度も書き連ねている	
1-170-2-1	〔届・願・書状一括〕			1纏め(3通)		1-170-2-2-1~3まで折込一括
1-170-2-2-1	転居御届	明治21年12月3日	縦紙	1通	小谷清七郎→戸長三宅最平 浅口郡阿賀崎村七百貳番邸への転居届	
1-170-2-2-2	〔中西市口郎宛吉田熊次郎書状〕	年未詳7月5日	縦紙	1通	来る8日の見合について	
1-170-2-2-3	日延御願	明治21年12月20日	縦紙	1通	小谷文三郎→玉島治安才判所判事村上尚志 借金をめぐると大田イワとの訴訟事件について出頭を命じられた小谷清七郎が不在なので、30日まで出頭を猶予してくれるようお願いしたもの	
1-170-2-3	勸解不調証	明治18年9月22日		1通	玉島治安裁判所 家屋の所有権をめぐると小谷文三郎と堀木口との係争につき、和解勧告が不調に終わったことを伝達したもの	印刷様式紙を使用
1-170-2-4	〔金借用添書証券外一括〕			1纏め(4通)		1-170-2-4-1~4まで折込一括
1-170-2-4-1	金借用添書証券	明治15年5月1日	縦紙	1通	借用主江口嘉平治・証人小谷源七郎→本庄村小田近一郎 利息のみ支払うことで借金返済期限を先伸ばしにしてもらい、7月31日までに猶予期間分の利息を含めて滞りなく返済する旨、申し入れたもの	草案
1-170-2-4-2	委任状	明治25年10月15日	縦紙	1通	浅口郡阿賀崎村甕江銀行支配人妹尾富三郎 土地調査による地所変更請求の手続きを、双原徳次郎に委任したもの	
1-170-2-4-3	〔家屋譲り証〕	明治18年4月22日	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村建物譲り主小谷清七郎→小谷文三郎 藁葺本家・瓦葺二階造の家屋2棟を譲与したもの	

1-170-2-4-4	〔家屋譲り証〕	明治18年4月22日	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村建物譲り主小谷清七郎→小谷文三郎 本屋・台所の建物2棟を譲与したもの	
1-170-3	記(代金受領証)	未年1月31日	横切紙	1通	泉又平→中塚染吉	
1-170-4	〔小谷清七郎宛小幡弥十郎書状〕	明治11年2月1日	縦紙	1通	金4円を支払いの者に渡すよう依頼する	
1-170-5	勸解不調証	明治18年9月14日		1通	玉島治安裁判所 明け渡しに関する小谷文三郎と同源七郎との係争の調停がまとまらなかったことを報せたもの	印刷様式紙
1-170-6	〔通・受取書外一括〕			1纏め(4通)		1-170-6-1~4まで折込一括
1-170-6-	〔買物通〕	年月日未詳	縦紙	1通	待園薬堂→一元徳 散薬・丸薬などを購入したもの	罫紙
1-170-6-	〔買物通〕	年月日未詳	縦紙	1通	待園薬堂→小谷 散薬・膏薬・陶器瓶などを購入したもの	罫紙
1-170-6-3	記(金受領証)	明治18年3月8日	縦紙	1通	兵庫県武庫郡西新田村外八ヶ村戸長役場→(宛名なし) 行旅病人の石井喜代松の保護入費受領書	罫紙
1-170-6-4	〔訴訟願草案〕	年月日未詳	縦紙	1通	建屋相続をめぐる係争について、勸解不調の結果をうけ、小谷文三郎が某を訴えたもの	罫紙
1-171	〔名刺〕	年月日未詳		1枚	一元徳 中之島二丁目六十五番屋敷 渡辺松茂方寄留	墨引抹消
1-172	小谷氏遠祖御覚	年月日未詳	横切紙	2枚	文政4年没の小谷常忠より昭和22年没の小谷美智子まで歴代親類の氏名・没年月日・享年を記す	2枚1組
1-173	〔講関係書類他〕			1括り(仮1冊8通)		1-173-1~9一括り
1-173-1	〔講帳面・講通名前書替願文案〕	年月日未詳	縦紙	1通	講十六口分借金の為譲り渡しに付き講帳面・講通の名前書替願文案後に年号及び干支の書付けあり	
1-173-2	〔代金書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	ハカタ・気舟代・ふとん代・印紙代他	
1-173-3	〔金銭算用書〕	年月日未詳	横切紙	1通		
1-173-4	諸	明治13年11月23日	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村小谷清七郎→(宛名なし) 朝鮮国産大豆、同国産小麦等自分の土蔵への預かり証	
1-173-5	記(仕入元金・仕切金算用書)	年月日未詳	横継紙	1通		
1-173-6	記(融通金・加入金等書上)	年未詳4月22日	横折紙	1通	(差出人不詳)→元小谷	
1-173-7	記(融通分・有益分等金額書上)	年月日未詳	横折紙	1通		
1-173-8	〔融通金・有益金等書上〕	年月日未詳	横折紙	1通		
1-173-9	〔講名及び氏名書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	山世講 小林為三郎 原福造 融通講 仁科安吉 栄講 岩田吉蔵他 生華執心に付き永代帳に留置くこと 浩陽甫(力)堂 池坊専生→備中東盛茂助	
1-174	〔池坊免状〕	明治9年7月	横折紙	1通		
1-175	〔刺繍された紋〕	年月日未詳	5.0×5.0	1枚		包紙あり
1-176	〔約定書〕	明治18年12月20日	27.5×38.0	1通	紺色紅色染液製造方法に関する約定 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百六十番屋敷 平民一元徳→大阪広盛館主下山信利	印刷物 標題は「■定書」となっており一字目は破れの為判読できず
1-177	〔生立ちの述懐口上〕	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
1-178	〔書付〕			1纏め(3通)		1-178-1~3一纏め
1-178-1	小子述懐	年月日未詳	縦切紙	1通	「家も身もいのちも君のものなれハミ国のためにをしまさりけり」など和歌24首書付	
1-178-2	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	「弥高山ト阿部山養生山牧場ニ開拓ス」「柏島村海辺ニ紡績所設立ス」など太陽の絵が書かれている	
1-178-3	〔泰山之露穿石の解釈〕	年月日未詳	縦切紙	1通		
1-179	〔歌道関係資料一括〕			1纏め(5通9枚)		1-179-1~14まで折込一括
1-179-1	〔和歌添削〕	年月日未詳	縦折紙	1枚	若竹・蛙・五月雨・納涼などの主題で詠んだ和歌に添削を加えたもの	罫紙
1-179-2	〔作歌指南〕	年月日未詳	横切紙	1通	歌を詠む際に口上を尽すのではなく言外の意味・風韻・余響を大切にすよう指南したもの「とふ人ハあやなくまたれあとハなし いかにかせましにハの白雪」を例歌として挙げた切紙を添付	2枚1組(切紙巻込)
1-179-3	〔一元徳宛佐久間果園書状〕	年未詳1月29日	横切紙	1通	たね→徳大人 歳暮の御礼と作歌の指導(口上歌を廃して褒めた作品のようなものだけ詠むように注意)	
1-179-4	〔一元徳宛佐久間果園書状〕	年未詳4月29日	横切紙	1通	たね→徳 多忙混雑にて加筆の時間もないので詠草の拝見を断わる	
1-179-5	〔白紙〕	年月日未詳	縦折紙	1枚		罫紙
1-179-6	〔和歌抄〕	年月日未詳	縦折紙	1枚	勅撰和歌集(後拾遺・金葉・詞花・新古今など)・百人一首などから名歌を抜き書きしたもの	罫紙
1-179-7	〔和歌抄〕	年月日未詳	縦折紙	1枚	古今集・後撰集などから名歌を抜き書きしたもの	罫紙 1-179-6と本来一纏まりの資料と思われる
1-179-8	〔和歌抄〕	年月日未詳	縦折紙	1枚	萬葉集などから門部王の歌などを抄出したもの	罫紙 1-179-6と本来一纏まりの資料と思われる
1-179-9	〔和歌抄〕	年月日未詳	縦折紙	1枚	萬葉集から湯原王などの歌を抄出したもの	罫紙 1-179-6と本来一纏まりの資料と思われる
1-179-10	〔和歌抄〕	年月日未詳	縦折紙	1枚	萬葉集から弁基などの歌を抄出したもの	罫紙 1-179-6と本来一纏まりの資料と思われる
1-179-11	〔和歌抄〕	年月日未詳	縦折紙	1枚	萬葉集から吹黄刀自などの歌を抄出したもの	罫紙 1-179-6と本来一纏まりの資料と思われる
1-179-12	〔和歌抄〕	年月日未詳	縦折紙	1枚	続千載・古今集などから参考歌を抄出したもの	
1-179-13	〔一元徳宛佐久間果園書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	たね→徳大人 萬葉集や自作の歌を例歌として挙げ、歌道において言外にあふれる情況がいかにか大切かを説く	
1-179-14	〔一元徳宛佐久間果園書状〕	年未詳1月5日	横切紙	1通	注文を受けた「千五百御統」全3冊は売り切れてしまったので、代金を返送する旨伝える また、東京へ行った後すぐに増刷するので、それまで待つよう返答する	
1-180	〔和歌書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	咲にほふ黄金の花をひとえたも をらてなかむる心くるしき	
1-181	〔書付・覚書〕			1纏め(12)		1-181-1~12まで重ねて折りたたまれている

1-181-1	〔たべ物書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	「青大豆・もち米・竹の子・にわとり」など食物名書付 ちうや々々なのはにとまれ ちうがきたりてなのはへとまる とまるち う々々おさへてふせて……	
1-181-2	〔歌書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	一本のくるしむ事がみそしまる 此れ天地のつみとかわれり	裏は字の練習力 墨書抹消
1-181-3	〔書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	「うみのこのおかせるつみをしりつゝも しらぬかをするおやの心ろね」他	他に下書力 練習の書付あり
1-181-4	〔書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	「ふな・こい・かき・もろこ・たい」等魚の名前書付	
1-181-5	くうぶん	年月日未詳	横折紙	1通	「正月廿三日 第一問ハズ語りノ十問題 生治磐若経ヲ書ク 三千人ノ僧 侶ノ姓名ヲ 生治答フ」他	
1-181-6	〔日記覚〕	年月日未詳	横折紙	1通	旧正月十八日十時過キ 一足裏 七寸七分 一手平 六寸五分	
1-181-7	〔寸法書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	表は「あいうへお」などのひらかな書付 裏は「あさしよく ゆすけにせん」 など献立を食べた量の書付	
1-181-8	おほへ	年月日未詳	横折紙	1通	「水ハ飯マヌ若飯メバ「ミザマシ」ヲ一杯丈ケ「ニガリ」腹ヲ熱茶ヲ一杯カニ 杯飲ムベシ」他	
1-181-9	〔覚書〕	年月日未詳	横折紙	1通	「正月十九日 熱治るハ午前二時なり 蝶や々々なの葉へ蝶ハきたりて なの葉にとまる とまるちよ々々をおさへてふせてふせて置事三日なりけ り 三日目にハ死す チフテヤ病此やまいせきの中」	
1-181-10	〔書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	「仏道三世界過去現在未来只因果ト説」	
1-181-11	〔書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	「蝶ノ留ハ三月弥生 三月弥生ハ五月十日」「水ハ飯マヌ 若飯メバ「ミザ マシ」ヲ一杯丈ケ」他	
1-181-12	〔覚書〕	年月日未詳	横折紙	1通	「吾はゆく亦たづめるに及ぶまじ 只天地に照りわたる その身も吾も心 もすて天地のたゝ一つの誠ぞゆへ」他五十首など雑記	
1-182	〔雑記〕	年月日未詳	横継紙	1通	東京、兵庫、大坂、馬関などの長や取扱人氏名	
1-183	〔新年挨拶状案文及び各店取扱人氏名書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	「祖先の遺筆 時代の変化を残す」	罫紙
1-184	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1通		
1-185	〔講金譲渡シ証・歌添削など〕			1袋(1冊4通 1纏め)		1-185-1~6一袋 袋表に書付あり「四拾七円六拾銭壹厘貳毛 着印」
1-185-1	乍恐以返答書奉申上候	丑年5月27日	半・縦	1冊	阿賀崎新田村清蔵病氣二付代見竹治郎→倉敷役所 浅口郡阿賀崎新 田村百姓重助に懸る居宅年季出入一件について	(奥書)年寄良助
1-185-2	〔金額書付〕	年月日未詳	横継紙	1通	「開花 貳千四百七十七円四銭壹厘五十五 壱口四十四円四十九銭」な ど相続、融通、栄などの項目で金額が書かれている	
1-185-3	当西より来寅迄丸五ヶ年限売渡申田畑山林証文之事	万延2年3月	縦継紙	1通	売主油野村笹尾平十郎 証人親類久太郎 五人組頭庄之助 肝煮美津 借用金返済不仕に付き講金引渡し 講譲渡シ人阿賀崎村小野幸造・証 人撫川村吉田善吉→江口嘉平治・小谷清七郎	控の証文
1-185-4	有志積立講金譲渡シ証	明治16年7月21日	縦継紙	1通	原田良作貸家 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村四百四拾貳番屋敷小谷 清七郎他4名 明治十八年四月廿八日大阪府兵庫県下へ他行の届	罫紙
1-185-5	〔他行届〕	年月日未詳	縦紙	1通		
1-185-6	〔歌添削〕			1纏め(9通)		1-185-6-1~9までが重ねて巻かれている
1-185-6-	〔歌添削〕	年月日未詳	横継紙	1通	「生ものゝもとをたはねて霊のをの 人のいのちをむすふ大神」など46首	
1-185-6-	〔歌添削〕	年月日未詳	横継紙	1通	「あら玉の神代にうつる初春を などにか人のミるよしもかな」など12首	
1-185-6-	〔歌添削〕	年月日未詳	横継紙	1通	「大君の御代のさかえをたぬしめて いのちつきせぬ道をいそしめ」など56	
1-185-6-	〔初春の祝詞他雑書〕	年月日未詳	横継紙	1通		
1-185-6-	〔歌下書〕	年月日未詳	横切紙	1通		
1-185-6-	〔歌の下書・雑記〕	年月日未詳	横折紙	1通	「よろきひの清きころを得るうへハ 長しへとなる道をみかけや」など歌 の下書や雑記	
1-185-6-	〔歌下書〕	年月日未詳	横折紙	1通		
1-185-6-	〔歌及び書状下書〕	年月日未詳	横切紙	1通	娘おもと病気に付き養生料を見屋平吉に依頼する書状下書他	
1-185-6-	〔歌添削〕	年月日未詳	横継紙	1通		
1-186	確証	20年6月5日	縦紙	1通	「印判検査二付き通先取寄」に派出の者に間違いのない旨を確証	
1-187	証(金五円の預証)	明治12年旧5月15	横切紙	1通	北木島河田七三郎→玉島弥吉	
1-188	受取証(家附道具売渡代金受取)	12年5月28日	横切紙	1通	金拾貳円五拾銭の受取 小林小平→小谷清七郎	
1-189	証(塩鱒買入金受取)	明治12年11月29日	横切紙	1通	西栄丸佐助→小谷清七郎	
1-190	〔袋〕	文久2年	15.0×10.5	1枚		(袋上書)「通袋 玉島地頭屋清蔵殿 笹屋店」(袋裏書)「文久二戌年」
1-191	〔代銀書付〕	年月日未詳	横折紙	1丁	うとん・紙・児島へ参り・支度代他	綴じ穴あり もとは横長カ
1-192	〔定約〕	年月日未詳	横継紙	1通	「林莊平ト売買致間敷定約連印」に「返心」の者は相生講株金を連中へ 配当のこと 小谷清七郎・虫明豊一郎・井上清二郎・山本嘉七・渡辺金 平・近江惣右衛門	
1-193	〔年月日及び金銭書付〕	年月日未詳	横切紙	1通		
1-194	〔年月日及び金銭書付〕	年月日未詳	横切紙	1通		荷客数・運賃の集計表の裏に書付けられている
1-195	〔勸解関係書類〕			1袋(4通1纏 め)		1-195-1~5一袋 (袋上書)「勸解十五年七月廿四日朝 廿六日出頭 第千 七百二号 同廿七日出頭(朱筆)「引合人出頭村上■宗」廿八日出頭 高 田〇〇掛り 同廿九日出頭 同三十一日出頭 講通取戻シ方 八月一日出 頭(朱筆)「引合人出頭」 同二日出頭 同三日出頭 同四日出頭(朱筆)「両 人」 同五日出頭 定約書証受取一先 勸解調八月五日 原告人小谷文三 郎 被告人小野幸蔵」(袋裏書)「大坂日本橋壱丁目 岩井政吉」
1-195-1	催合増殖講附録売渡証	明治14年1月9日	横切紙	1通	催合増殖講附録 壱口 元利合金廿八円五拾九銭九厘の売渡証 売主 西岡要太郎・証人東盛政八郎→小谷清七郎	
1-195-2	記(差紙請取)	午年7月	横切紙	1通	小野幸造→小谷文三郎	
1-195-3	定約之証	明治15年8月5日	縦紙	1通	小野幸造・吉田善吉→小谷文三郎・小幡弥十郎	罫紙(証券界紙を使用)

1-195-4	委任状	明治16年12月28日	縦切紙	1通	津久井一雄を小野幸蔵の代人と定めること 小谷清七郎・江口嘉平治→(宛名なし)	罫紙(証券界紙を使用)
1-195-5	[講規定書案文他]			1纏め(4通)		1-195-5-4が二ツ折にされその間に1-195-5-1~3が挟まれている
1-195-5-1	記(銀子引渡添状)	亥年2月10日	横継紙	1通	落札銀残高五百廿五匁の引渡 蛭子三土→地頭屋清一郎	
1-195-5-2	記(金三円請取)	丑年4月11日	縦切紙	1通	井本屋清次郎→小谷清七郎	
1-195-5-3	[蛭子講規定書案文]	年月日未詳	横折紙	1通		
1-195-5-4	[住所氏名書付]	年月日未詳	縦切紙	1通	岡山県備前国御野郡第四区四番小区藤野町廿六番屋敷平民商山本久八郎 岡山県備前国児島郡第 区 番小区味野村平民商西原五郎三郎	
1-196	記(金銭請取)	26年1月23日	横折紙	1通	玉島ヨリ岡田迄人力車・途中迄茶代・車賃等 小幡耕介→出納課	
1-197	金子預証	明治14年12月21日	縦切紙	1通	金七拾円の預り証 小谷清七郎→小野嘉右衛門	
1-198	[歌二首]	年月日未詳	縦切紙	1通	あらためてとハにめでたきうれしさを大君乃世にうつすためしと 天地をいかすいさをの神とむすひてよろこひ玉ふみ栄えたまふ	
1-199	[歌二首]	年月日未詳	横切紙	1通	雷の神のとろく夏やきて我名もともに鳴り渡るらむ 一元徳 米ふみにあみてひさんををはかれる八国をおこさむ手たけなりけり	
1-200	[宅地売買及び借用関係書類]			1袋(仮1冊3通1纏め)		1-200-1~5一袋(袋上書)「浅口郡阿賀崎村九百七番地 建家武ヶ所 印紙 一建家明渡シ勸解願調査スミ 明治十八年八月廿六日願 浅口郡阿賀崎村六百六拾番屋敷平民 願人小谷文三郎 浅口郡阿賀崎村六百五拾七番屋敷平民 被願人堀竹次」(朱筆)「第千八百八十式号 村上殿御係り」
1-200-1	宅地売渡証券	明治13年5月5日	半・縦	仮1冊	「備中国浅口郡柏嶋村甲五千四百七十七番字戸山 宅地壹畝拾六歩」の売渡証 地所売渡主阿賀崎村小林小平・証人吉田新吉→阿賀崎村小	(奥書)戸長林宏一郎
1-200-2	証(売買約定書)	明治13年4月15日	縦紙	1通	「柏嶋村戎町屋敷地壹畝拾六歩并二建物不残」の売買約定書 証人小林小平・吉田親吉→小谷清七郎	
1-200-3	借入金証書	明治18年1月10日	縦紙	1通	「金百拾円也」の借用書 借主小谷文三郎・引諸証人小谷清七郎→共益社頭取支配人	
1-200-4	副証書	明治18年1月21日	縦継紙	1通	蔵入三ツ石昆布・塩鯛・煎干を「貴社封印之儘」預かる旨を証書 蔵預り主小谷文三郎→共益社支配人	
1-200-5	[譲渡証]			1纏め(仮1冊5通)		1-200-5-1~6まで重ねられて一纏め 纏められている為SILティッシュで包む
1-200-5-1	建家売渡証券	明治13年5月5日	半・縦	仮1冊	「備中国浅口郡阿賀崎村九百六番地建物六百五拾八番屋敷 草葺本家瓦葺台所」の売渡証 売渡主阿賀崎村虫明豊一郎・証人東盛恒蔵→小谷清七郎	(奥書)戸長林宏一郎
1-200-5-2	金借用証券	明治15年9月8日	縦切紙	1通	「金貳拾円也」の借用証 借主佐々木恒七→小谷清七郎	裏書あり
1-200-5-3	証(抵当株式券状預り証)	明治14年10月5日	縦切紙	1通	金四百円の抵当株式券状貳拾枚預かりのこと 妹尾一三郎・東盛源蔵・井上常三郎→小谷清七郎	
1-200-5-4	蔵預り証	明治15年6月1日	縦紙	1通	「素麺百五拾箱」預かりのこと 浅口郡阿賀崎村江口嘉平次→長尾村田辺節哉	全体に抹消の×印あり
1-200-5-5	建家売渡証券	明治16年6月20日	縦紙	1通	「備中国浅口郡阿賀崎村九百六番地建物六百五拾八番屋敷 草葺本家瓦葺台所」の売渡証 売渡主阿賀崎村虫明豊一郎・証人東盛恒蔵→小谷清七郎	(奥書)戸長菊池太平
1-200-5-6	譲渡証券	明治15年5月22日	縦紙	1通	「甕江銀行株式券状拾枚」の譲渡証 譲主小野幸蔵・証人柚木石蔵→小谷清七郎	
1-201	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(包紙上書)「一元・文三郎・せい 許し状」 金子清算の書付用紙を転用
1-202	[干海老代銀算用書]	亥年7月14日	横継紙	1通		
1-203	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(包紙上書)「上御鏡餅」(包内書)「一金五円也」
1-204	証(明治25年1月分月給請取)	25年1月23日	縦紙	1通	小幡耕介→東盛愚一	
1-205	証(月給24年12月分月給・赴任旅費請取)	明治24年12月25日	縦紙	1通	小幡耕介→出納課東盛愚一	
1-206	証(月徳教会所屋賃受取)	明治24年2月8日	横切紙	1通	羽黒神社々務所神官福田郁彦→月徳教会長東盛愚一	
1-207	[小谷お清宛江原梅書状]	年未詳5月27日	横切紙	1通	「月徳様」はじめ皆無事なこと、今少しの御わかれながら「いろいろと申したき事山々御座候」となつかしくおもっていることを伝える 柚木春野様へは別文を差し上げないのでよろしく伝えてくれる様に	
1-208	[岡山始審裁判所使丁宛小谷清七郎親類小谷文三郎通知]	明治19年12月27日	縦切紙	1通	岡山始審裁判所使丁藪野利吉に係る使丁賃催促については清七郎旅行中に付き、本人帰国の上本人へ申入れてほしい	
1-209	[小谷清七郎宛始審裁判所通知]	(明治)18年10月27日	縦切紙	1通	来月三十日出頭の呼出状を送達したところ本人他行に付き該地戸長に渡す	
1-210	[小谷清七郎宛始審裁判所通知]	明治18年10月12日	縦切紙	1通	本月十五日出頭呼出状を送達したところ本人四月廿八日より他行に付き該地戸長に渡す	
1-211	[御教授け許状]	44年12月28日	横切紙	1通	神道月徳教会教主東盛豊→小谷セイ	
1-212	金子預り証券	明治8年9月18日	縦紙	1通	金貳拾五円の預り証 小谷清七郎→又串村小谷梅吉	全体に抹消の×印あり
1-213	金子借用証	明治14年1月9日	縦紙	1通	金壹百参拾貳円四拾銭七厘の借用証 借主小谷清七郎・引受証人渡辺金三郎→相生講年番井上清次郎	相当の質物を受取り本人差支の節は引受代弁する旨の渡辺金三郎の奥書あり
1-214	[書付]	年月日未詳	縦紙	1通	「二十九歳戌年 広島県備后(ママ)国御調郡三浦村字外之浦 市川鶴太郎妻」	
1-215	[白紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		
1-216	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「高田秀七殿」	
1-217	[取替利金算用書]	年月日未詳	横折紙	1通		
1-218	[建物書入届]			1纏め(5通)		1-218-1~5まで重ねて二ツ折

1-218-1	〔氏名・年令書上〕	年月日未詳	縦紙	1通	広島県備后国御調郡大浜村藤井直作・大村惣作の家族の氏名及び年令	
1-218-2	〔建物書入届〕	明治15年12月30日	縦紙	1通	明治十五年十二月三十日書入 備中国浅口郡阿賀崎八百九拾番地建物について 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百六拾番屋敷居住建物持主小谷清七郎→共益社担当人武縄元七	
1-218-3	〔建物書入届〕	明治15年12月30日	縦紙	1通	明治十五年十二月三十日書入 備中国浅口郡阿賀崎村八百七拾六番地建物について 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百六拾番屋敷居住建物持主小谷清七郎→共益社担当人武縄元七	
1-218-4	〔建物書入届〕	明治15年12月30日	縦紙	1通	明治十五年十二月三十日書入 備中国浅口郡阿賀崎村九百七番地建物について 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百六拾番屋敷居住建物持主小谷清七郎→共益社担当人武縄元七	
1-218-5	〔建物書入届〕	明治15年12月20日	縦紙	1通	明治十五年十二月三十日書入 備中国浅口郡阿賀崎村八百八拾番地建物について 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百六拾番屋敷居住建物持主小谷清七郎→共益社担当人武縄元七	
1-219	〔取替・利金算用記〕	年末詳8月16日～11月23日	横折紙	1纏め(4丁)		綴じ穴あり もとは横半折帳カ
1-220	金子預り証書	年月日未詳	28.6×13.0	1通	金四百円の預り証	後欠 全体に抹消の×印あり
1-221	〔借用証書〕			1纏め(7通)		1-221-1～7まで重ねて二ツ折にされている
1-221-1	金子借用証	年月日未詳	堅切紙	1通	金参百円七銭の借用書	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-221-2	金子借用証	年月日未詳	堅切紙	1通	金四円の借用書	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-221-3	添書	年月日未詳	堅切紙	1通	本年一月廿七日より本年四月廿七日限り金貳百円を八歩五朱の利子で預かる旨を記す添書	後欠の為、預け主・預かり主等不詳
1-221-4	〔書付〕	年月日未詳	堅切紙	1通	「小谷清七郎 催合増殖附録講 証書壹通」	
1-221-5	〔証書〕	年月日未詳	堅切紙	1通	同郡同村井上清次郎→窪屋郡倉敷村安田舛造 引当物直段下落の節についての奥書があるが後欠につき氏名等不詳	
1-221-6	金子借用証券	年月日未詳	堅切紙	1通	金四百五拾円の借用書	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-221-7	金子借用証	年月日未詳	堅切紙	1通	金貳百八拾円の借用証	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-222	〔差出人・宛名書付〕	年月日未詳	堅切紙	1通	小谷清七郎・小谷幸蔵・小谷源七郎→本荘村小田近一郎	前欠
1-223	〔利足算用書〕	午年3月29日～4月5日	横折紙	1丁		綴じ穴あり もとは横半折帳カ
1-224	〔吉や藤六・小谷清七郎宛馬関西南部町白砂(カ)徳次郎書状〕	年末詳4月24日	縦紙	1通	残りを渡してくれる様に早々懸合ってほしい	罫紙 綴られていたか端に紙縫りが結ばれている
1-225	〔建物売渡証書〕	年月日未詳	堅切紙	1丁	代価五百円にて建物売り渡しの証	後欠の為、売主・買主等不詳 綴じ穴あり
1-226	〔借用証書〕			1纏め(17)		1-226-1～17まで重ねて二ツ折にされている
1-226-1	金子預り証	年月日未詳	横切紙	1通	金五円の預り証	後欠の為、預け主・預かり主等不詳
1-226-2	金子預り手形之事	年月日未詳	堅切紙	1通	白金百両の預り証	後欠の為、預け主・預かり主等不詳
1-226-3	証(敷金請取及び家賃契約)	年月日未詳	堅切紙	1通	宅地建家敷金として金貳拾円の請取りと家賃壹ヶ月金壹円で貸附けのこと	後欠の為、借主・家主等不詳
1-226-4	蔵預り証券	年月日未詳	堅切紙	1通	小麦百貳拾俵預りのこと	後欠の為、預け主・預かり主等不詳
1-226-5	金子借用証	年月日未詳	堅切紙	1通	金四百円の借用証	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-226-6	金子預り証	年月日未詳	堅切紙	1通	金貳百円の預り証	後欠の為、預け主・預かり主等不詳
1-226-7	金子借用証	年月日未詳	堅切紙	1通	金四百円の借用証	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-226-8	金借用証	年月日未詳	堅切紙	1通	金貳百五拾円の借用証	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-226-9	副定約証	年月日未詳	堅切紙	1通	借用金の手数料を延滞なく限月に納めることの証文	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-226-10	金子借用証	年月日未詳	堅切紙	1通	金四百円の借用証	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-226-11	副定約証	年月日未詳	堅切紙	1通	借用金の手数料を延滞なく納めることの証文	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-226-12	金子借用証	年月日未詳	堅切紙	1通	金四百貳拾参円の借用証	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-226-13	預り証	年月日未詳	堅切紙	1通	金壹百拾円の預り証	後欠の為、預け主・預かり主等不詳
1-226-14	金子借用証	年月日未詳	堅切紙	1通	金五百円の借用証	後欠の為、借主・貸主等不詳
1-226-15	金子預り証	年月日未詳	堅切紙	1通	金四拾五円の預り証	後欠の為、預け主・預かり主等不詳
1-226-16	金子預り証	年月日未詳	堅切紙	1通	金四拾円の預り証	後欠の為、預け主・預かり主等不詳 裏に五月廿四日、二十三年五月六日、明治二十三年十二月、廿一日付けで「表書金員之内」へ渡した金額が
1-226-17	金子預り証	年月日未詳	堅切紙	1通	金貳百円の預り証	後欠の為、預け主・預かり主等不詳
1-227	〔証書〕	年月日未詳	縦紙	1通	(差出人なし)→小野善右衛門・神田杏造 引請証人となり相手の質物請取った上は本人差支の節は自分が元利弁金する旨を証す	引受証人の氏名が墨で消されている
1-228	箴規	明治33年3月17日	縦紙	1通	朝午夕礼拝各一時間 定期米売買一日一度之事他	
1-229	〔干支・年令・氏名書付〕	年月日未詳	横折紙	1通	一未ノ年男 今見や 四拾才 他6筆	
1-230	見積り金扣	年月日未詳	横紙	1通	阿賀崎村九百四番字南町の宅地の見積金などの書付	
1-231	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		包紙のみ(包紙上書)「金員借用証書 貳通 在裡」
1-232	記(麦程代残金借用証書)	明治33年旧10月27日	横紙	1通	小谷文三郎→小豆島淵崎村根本房吉	
1-233	記(醤油道具代内金拾円の請取)	明治13年2月21日	堅切紙	1通	姫井惣十郎→地頭屋	
1-234	自戒	明治13年4月8日	縦紙	1通	小谷生治記・四柱の教を守りつゝ売買なせよ・朝午夕礼拝各一時間姿勢端正ナルベキコト一生・一元先生建碑の事他	
1-235	〔自戒〕	明治27年12月12日	横紙	1通	……起床ノ時ハ凡人輩ト前ナル力後ナル力全時ナル力思ヘバ懨然ノ感ナキカ……	前欠
1-236	〔干海老・煎子・素麺代等算用書〕	年月日未詳	横紙	1通		
1-237	請取証(売物代金請取)	明治27年7月26日	縦紙	1通	白神為助代理白神紋次郎→小谷文三郎	

1-238	宅地売渡証券	明治16年6月20日	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村九百六番字南町の宅地売渡証券 浅口郡阿賀崎村売渡主虫明豊一郎・同郡同村証人東盛源造→阿賀崎村小谷清七	罫紙 (奥書)菊池太平
1-239	証(備后尾道地方巡回実費請取)	明治25年旧正月18日	縦紙	1通	小幡耕介→出納課	
1-240	証(明治廿五年二月分月給請取)	明治25年2月25日	縦紙	1通	小幡耕介→出納課	
1-241	[書状案文]	年月日未詳	縦切紙	1通	訴訟入費の概算を知らせる	宛名・差出人不詳
1-242	[『必勝指南 米相場実録』広告の写し]	年月日未詳	縦紙	1通	日出山樵夫編輯『必勝指南 米相場実録 一名豊凶予知』全巻冊 正価六拾五銭 郵送料貳銭	端に「改正之分 四月廿四日 受込」の書付あり
1-243	[漢字 音・訓の読み方表]	年月日未詳	縦紙	1通	乾・姑・遯・否・觀・剥・晉など65枠に一字ないし二字が書かれ読み方が書かれている	
1-244	坐敷料請取証	年月日未詳	横折紙	1通	渡辺松茂→一元	
1-245	[絵はがき]	年月日未詳	16.4×12.1	1枚	滑稽新聞社発行の「獵師と庄屋」と書かれた絵はがき「小谷志行」と鉛筆書きの書付あり	
1-246	乍恐以書附再御歎願奉申上候	丑年6月	縦継紙	1通	居宅年季出入について 竹治郎→倉舗役所	
1-247	[人別・金銭算用帳]	年月日未詳	横折紙	6丁		
1-248	[文学アル者ハ]	年月日未詳	横切紙	1通	「文学アル者ハ文質彬彬ノ君子トハ云ヘケレ常寐ノ者ノ至ルベキコトニ非ス」云々	
1-249	[歌書付]	年月日未詳	横折紙	1通	さる沢の池の濁りハあやめ草ひく人繁きしるし成けり いつしかと花は若葉にうつろひて風なつかしき友ハぎにけり他	
1-250	[日附及び金銭書付]	年月日未詳	横折紙	1通	九月十四日 四十九銭 四十九銭 五十一銭 四十五銭など	三ツ折になっている
1-251	[日附及び金銭書付]	年月日未詳	横折紙	1通	九月十四日 廿八銭 廿五銭 廿銭 廿七銭など	三ツ折になっている
1-252	[代金書付他雑記]	年月日未詳	横切紙	1通	鍋 廿銭 庖丁 十銭他	
1-253	[定約証案文]	年月日未詳	縦紙	1通	紺色紅色黄色染液製造法を伝授されるについての定約 (差出人なし)→小谷文三郎代理小谷清七郎	
1-254	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	キング・ジ・ウエンデ・カハセキクレヘン 多度津 浅尾元吉 エゴ・ヒキヤ ウコウタキング・ジ・ウエンデ・ンカハセスクキクレ 小谷文三郎	
1-255	[支払い代金書上]	年未詳11月22日~1月6日	横折紙	1通	タツ行・豊前行の支度代、茶代等書上	
1-256	賞(代金書付)	(明治)36年2月	横切紙	1通	いわし三ツ石代他 小谷店→新地町寅吉	
1-257	記(金式拾円請取)	年未詳7月4日	横切紙	1通	仙崎屋吉兵衛→小谷清七郎	
1-258	宅地質入証券	明治20年7月2日	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村千八拾番字中買町の宅地四畝拾七歩の質入証券 浅口郡阿賀崎村六百六拾番邸質入主一元徳・証人黒川孝太郎→浅口郡阿賀崎村七百三番邸丸川新平	罫紙
1-259	明治卅年四月十八日照見(マ)	明治30年4月18日	横折紙	1通	一黒縹子松竹梅縫入振袖ウチカケ裏緋モンアヤ売点 一七子松ト家模様縫入薄色振袖三ツ紋売点他	
1-260	[氏名・年令・干支書付]	年月日未詳	縦紙	1通	御調郡田熊村五百五拾七番屋敷村上市次郎の家族及び御調郡田熊村村上吉五郎家族の氏名、年令、干支書付	
1-261	[袋]	年月日未詳	28.5×18.0	1枚		袋のみ(袋上書)「一元氏」
1-262	[押印]	年月日未詳	25.1×17.8	1枚	「京極」「玉地武」「玉嶋地清」「玉地清」「小谷清七郎」「柚木」「玉島請取印地清」「吉沢ヤスエ」「新谷」などの印が原稿用紙の裏に押されている	
1-263	金員借用証書	昭和37年10月27日	縦紙	1通	金参阡円の借用証書 債務者玉島市玉谷横田実・引受証人玉島市柏島5133ノ1小谷三郎→(宛名なし)	台紙は印刷されている
1-264	領収書	昭和17年8月12日	縦切紙	1通	「昭和17年度ノ麦地代三斗六升」の受取 金田好吉→(宛名なし)	
1-265	[押印]	年月日未詳	25.0×35.7	1枚	「玉地武」「玉島請取印地清」「新谷」「吉沢ヤスエ」などの印が原稿用紙の裏に押されている	
1-266	貯蓄債券	昭和16年10月	12.8×16.8	1通	株式会社日本勧業銀行の支那事変貯蓄債券 額面金七円五拾銭 割引売価格金五円	印刷物
1-267	大安売広告	年月日未詳	14.2×20.2	1枚	備中国玉島湊南町地頭屋事小谷商店の広告	印刷物
1-268	大安売広告	年月日未詳		1枚	備中国玉島湊南町地頭屋事小谷商店の広告	印刷物
1-269	取引案内	年月日未詳		1冊	講談・傑作小説発行卸売問屋 大阪市嶋之内八幡筋西横堀角 嶋之内同盟館の取引案内	止め金がさびている為SILティッシュで包む 印刷物
1-270	金子借用証書	昭和41年1月10日	縦紙	1通	金六阡式百五拾円の借用証書 借主玉島市玉谷横田実・保証人玉島市柏島神井小谷三郎→(宛名なし)	
1-271	万病感応丸	年月日未詳	14.2×7.1	1袋	未開封の万病感応丸	(袋上書)「万病感応丸 滋賀県甲賀郡龍池 近江製剤株式会社」(袋裏書)「略効 目まひ 立くらみ 腹痛 せんき 食傷 霍乳 吐瀉 ちぶす 心臓 其他諸毒をけし熱病に効ある事神の如し 定価金参拾銭」
1-272	[広告料領収証]	明治25年5月1日	14.8×12.9	1通	大阪堂島中二丁目十一番邸三星社→一元徳 裏に商売の秘訣は販路の拡張にあることを言い広告の有効を説く旨の印刷あり	
1-273	[大正9年4月23日付大阪毎日新聞]	大正9年4月23日	33.0×40.5	1枚		紙面の半分のみ SILティッシュで包む
1-274	[依願巡視免状]	大正14年7月2日	27.5×20.0	1通	岡山地方専売局→巡視小谷幾二	大蔵省の罫紙使用
1-275	[年頭の祝詞]	天保14年正月	横切紙	1通	竹島屋源吉→(宛名なし)	
1-276	[書状]	年月日未詳	横継紙	1通(2枚)		往来物カ
1-277	取為替議定一札之事	弘化3年正月	縦継紙	1通	地境に関する議定 笹屋重助→地頭屋清蔵	(奥書)春見屋善蔵
1-278	[袋]	年月日未詳	36.5×26.0	1枚		(袋上書)「稀〇」(朱書)「極改 大極上請合」
1-279	[袋]	年月日未詳	25.7×17.8	1枚		債権、担保の集計用紙で袋が作られている

1-280	地券	明治9年6月23日	25.4×37.8	1通	備中国都宇郡妹尾村貳千八百八拾番字毎羅 耕地壹段拾七歩 持主正保宗吉分 裏に表書の土地は備前国児島郡東疇村土谷其八郎所有である旨の明治二十年八月一日付都宇郡長橋本貞固の印あり	
1-281	乍恐奉歎願上候御事	明治5年4月1日	縦紙	1通	早春三條家へ差し出した建言書について沙汰があり次第版判したいので官許を蒙りたく帰村した所、召捕える様にと御庁からの命令があったが、自分は「兎工毫毛無之」取糺しを歎願する 一元徳→深津県庁	
1-282	明治十六年一月限ヨリ 明治十六年十二月限マデ 大坂堂島定期米高低表 備中国浅口郡玉島港小谷生治謹白	明治16年1月～12月	28.5×40.5	1冊		罫紙の縦紙を綴ってある 表紙端上に「一元徳許可」の書付と印あり
1-283	有栖川宮三條殿 建言扣	明治2年2月11日	美・縦	1冊	備中国浅口郡阿賀崎新田村一元徳の建言「今般東京へ太政官ヲ御移シニ相成候御義ト尚 御幸行ノ御議ハ実ニ天下一大事ノ臨時ニ御座候ヘハ何卒 御両賢君様ヨリ必被奉御留メ候様奉仰懇願上候」	
1-284	〔絹布〕	嘉永3年	34.5×43.0	1枚	「嘉永庚戌 鉄石山樵」の署名と水辺の風景が描かれている	羽織裏力
1-285	地籍下調帳及ヒ山野地価帳共訂正願	明治14年12月25日	半・縦	仮1冊	願人浅口郡阿賀崎村小谷清七郎	
1-286	従明治二十六年二月限 至明治二十七年一月限 大坂堂島定期米高低表 備中国浅口郡玉島港小谷生治謹書	明治26年2月～27年1月	28.5×40.5	1冊		罫紙の縦紙を綴ってある 表紙端上に「一元徳許可」の書付と印あり
1-287	従明治十七年一月限 至明治十七年十二月限 大坂堂島定期米高低表 備中国浅口郡玉島港小谷生治謹書	明治17年1月～12月	28.5×40.5	1冊		罫紙の縦紙を綴ってある 表紙端上に「一元徳許可」の書付と印あり
1-288	従明治廿三年二月限 至明治二十四年一月限 大坂堂島定期米高低表 備中国玉島港小谷生治謹書	明治23年2月～24年1月	28.5×40.5	1冊		罫紙の縦紙を綴ってある 表紙端上に「一元徳許可」の書付と印あり
1-289	〔断簡〕	年月日未詳		1枚	「明治二十二年十一月ヨリ月並会[]稿」の書付あり 表紙力	
1-290	〔白紙短冊〕	年月日未詳	36.2×5.5	1枚		
1-291	〔和歌書付短冊〕	年月日未詳	36.2×5.5	1通	やこゝろのおもひさためし神のミちひらくものひのいまは立ける 照主 よしの山冬たつねくる人ハなし桜のさかる時にあらねば	
1-292	〔白紙短冊〕	年月日未詳	36.2×5.5	1枚		
1-293	紀元式千五百三拾四年 明治七年 雜董誌	明治7年	半・横半折	1冊		貼り付いて開くことができない頁が多い 保護の為SILティッシュで包む
1-294	従明治十七年二月限 至明治十八年一月限	明治17年2月～18年1月	28.5×40.5	1冊		罫紙の縦紙を綴ってある 表紙端上に「一元徳許可」の書付と印あり
1-295	〔葬儀担当別氏名書付〕	年月日未詳	横切紙	1巻	「位牌 清蔵 棺 源兵衛 鹿吉 源吉 力松」など	前欠
1-296	〔葬儀担当別氏名書付〕	年月日未詳	横切紙	1巻	「位牌 行治郎 燈灯 柚木佐之吉 中西千介」など	
1-297	〔扇〕	年月日未詳	扇	1本	「君しるや竹も酔目のあるといふを」の書付と竹の絵が描かれた扇	
1-298	〔往来物〕	元治元年7月	折本	1冊		表紙は木製「元治元年子七月 南町地頭屋文[]」の書付あり
1-299	〔手習い〕	年月日未詳	縦紙	1枚	「天之」のみ書かれている	
1-300	〔水墨画〕	年月日未詳	29.7×26.8	1枚	「清朝担風 石泉是人」と書かれた竹の絵	
1-301	〔水墨画〕	乙酉年	35.0×23.0	1枚	「乙酉初夏 竹望」と書かれた山水画	
1-302	〔水墨画〕	年月日未詳	31.0×34.7	1枚	「雲程」と書かれた梅の絵	
1-303	〔水墨画〕	年月日未詳	35.1×27.5	1枚	「一雀不染 若口」と書かれた蓮の絵	
1-304	〔水墨画〕	甲申年	34.2×28.0	1枚	「甲申孟夏 晚晴」と書かれた風景画	
1-305	〔水墨画〕	甲申年	42.8×34.4	1枚	「桃花三月 鯉魚也 甲申春日 直齋」の書付あり	
1-306	〔萼径作 龍胆と雀の画〕	年月日未詳	37.0×42.0	1枚		絹布に描かれている
1-307	〔柳東作 花の画〕	年月日未詳	34.5×27.5	1枚		
1-308	〔柳東老生作 芽を出した芋の画〕	年月日未詳	34.8×27.0	1枚		
1-309	〔写山人作 松に水辺の画〕	年月日未詳	27.0×24.0	1枚		
1-310	〔白紙〕	年月日未詳	22.5×22.5	1枚		
1-311	〔年別金銭算用書付〕	寅年～未年	半・横長	1冊		1-311以降は箱1の②分となる
1-312	〔米の相場の書付力〕	明治37年～38年	横折紙	7丁		美・横半折の帳面の綴り紐がなくなっている 右端で5丁だけ綴られている
1-313	〔代金書付帳〕	明治5年	美・横半折	1冊	素麺、塩、鱈、大豆、七し、蠟燭代等	
1-314	大正二年旧七月 商品売価控 買入参考	大正2年7月	半・横長	1冊	コハゼ、スキ櫛、丁子香、クラブ洗粉代他	
1-315	〔米の相場の書付力〕	年未詳6月11日～11月14日	横折紙	3丁		美・横半折の帳面の綴り紐がなくなっている
1-316	〔代金書付及び差引算用書〕	年月日未詳	横折紙	3丁	タバコ、わりき、サカナ、エビ他	美・横半折の帳面の綴り紐がなくなっている
1-317	第九拾六号 明治十五年四月三十日 貯蔵金預り通 小谷生治殿 玉島養江銀行	明治15年4月30日	美・横半折	1冊		
1-318	〔通帳〕			1袋(仮1冊1纏め)		1-318-1～2一袋(袋上書)「卯のとし 通袋」「玉島南町地清」の印あり(袋裏書)「慶応参年」
1-318-1	丁卯のとし 金銀指引帳 今見屋平輔殿 地頭屋清蔵	慶応3年	美・横長	仮1冊		
1-318-2	〔染法関係書付〕			1纏め(5通)		1-318-2-1～4までが1-318-2-5に挟み込まれている
1-318-2-	〔薬品量書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	「明ハン 三刃 硫酸鉄 壹刃」など	
1-318-2-	〔薬品量・代金書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	「硫酸鉄 十エン 結晶エルロウ 半斤」など	
1-318-2-	〔薬品量書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	「カセイソウダ 壹ポンド 硫酸鉄 壹ポンド」など	
1-318-2-	正靛生藍染法	年月日未詳	横切紙	1通		罫紙
1-318-2-	色々染法	年月日未詳	縦紙	1通		
1-319	通知簿 第三学年 小谷志行	年月日未詳	19.0×13.0	1冊	玉島尋常小学校の通知簿 児童心得、程度及教科書配当一覧表、出席簿、身体検査表など	
1-320	〔月掛講金請取通・通袋〕			1袋(仮1冊4枚)		1-320-1～5一袋

1-320-1	月掛講金請取通	明治14年9月	美・横長	仮1冊		
1-320-2	[月掛講通袋]	年月日未詳	15.2×10.5	1枚		(上書)「小谷清七郎殿 月掛講通袋 講主柚木石造」
1-320-3	[月掛講通袋]	年月日未詳	15.2×10.5	1枚		(上書)「小谷清七郎殿 月掛講通袋 講主柚木石造」
1-320-4	[月掛講通袋]	年月日未詳	15.2×10.5	1枚		(上書)「小谷清七郎殿 月掛講通袋 講主柚木石造」
1-320-5	[月掛講通袋]	年月日未詳	15.2×10.5	1枚		(上書)「小谷清七郎殿 月掛講通袋 講主柚木石造」
1-321	[講金請取通一括]			1纏め(12)		1-321-1～12まで重ねて四ツ折にして纏められている
1-321-1	明治十一年一月 子供出世講 (朱書)「第五十四号」 小谷文三郎殿 年番	明治11年1月	横折紙	1通		
1-321-2	明治九子年 催合増殖講附録講 (朱書)「第廿一号」 小谷清七郎殿 年番	明治9年	横折紙	1通		
1-321-3	明治十一年一月 金袋講 (朱書)「第廿六号」 小谷清七郎殿 年番	明治11年1月	横折紙	1通		
1-321-4	明治十五年一月十五日 福寿講 (朱書)「第拾七号」 小谷清七郎殿 年番	明治15年1月15日	横折紙	1通		
1-321-5	明治十五年 七福講 (朱書)「第廿八号」 小谷清七郎殿 年番	明治15年	横折紙	1通		
1-321-6	明治九子年十二月 永融講通 (朱書)「第六拾号」 小谷清七郎殿 年番	明治9年12月	横折紙	1通		
1-321-7	明治十二年卯一月 新加入出世講 (朱書)「六拾四号」 小谷生治殿 年番	明治12年1月	横折紙	1通		
1-321-8	明治十五年一月八日 宝来講 (朱書)「第六拾号」 小谷清七郎殿 年番	明治15年1月8日	横折紙	1通		全体に抹消の×印あり
1-321-9	明治十年丑一月七日 相生講 (朱書)「第壹号」 小谷清七郎殿 年番	明治10年1月7日	横折紙	1通		
1-321-10	明治八亥年 幸講通 (朱書)「第廿九号」 小谷清七郎殿 年番	明治8年	横切紙	1通		後欠
1-321-11	明治七戌年十二月 栄講 (朱書)「第三号」 小野幸蔵殿 年番	明治7年12月	横切紙	1通		後欠
1-321-12	明治十四年巳十二月八日 有益講 (朱書)「第拾八号」 小谷清七郎殿 年番	明治14年12月8日	横切紙	1通		後欠
1-322	[年令及び屋号氏名書付]	年月日未詳	横折紙	5丁		半・横長の綴り紐がなくなっている
1-323	負債取調帳 小谷清七郎	年月日未詳	半・横長	1冊		「抵当入分・証書入・買物代価記・有品高」などの項目に分けられている
1-324	壘江銀行十五年十月ヨリ十六年三月迄第五回勘定報告概略 但目安抜算用	16年4月2日	美・横長	仮1冊		
1-325	[大福帳・買入帳綴]	大正2年		1綴	・大正二年八月廿六日からの代金書付帳 ・大正三年十一月二十七日第貳号買入帳 大正三年大福帳の三冊が1綴になっている	(大福帳の表書)「大正元年 大福帳 天には好鳥美音を弄し地には花紅に柳緑りなる季節」
1-326	[人別売上帳]	大正3年7月2日～4年4月16日	半・横長	仮1冊		味野専売支局の罫紙の裏紙使用
1-327	売上帳	年未詳旧8月20日～9月2日	美・横長	1冊		
1-328	明治参拾参年在町 永代書抜帳	明治33年	美・横長	1通		人別に物品代金の勘定書
1-329	[利子受取控帳]	昭和10年～	16.5×11.7	1冊		
1-330	[柚木仙次郎所有宅地建物相続関係書類]			1纏め(仮13冊6丁1纏め4通)		1-330-1～24まで重ねて丸められ紙紐で括られている
1-330-1	委任状之事	明治20年9月	半・縦	仮1冊	柚木仙次郎死亡に付き相続人柚木春野が登記所への登記請求を小谷文三郎へ委任のこと	罫紙
1-330-2	証明願	明治20年9月20日	半・縦	仮1冊	柚木仙次郎死亡に付き建物を相続することに故障のないことを証明してくれる様に願う 備中国浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木仙次郎・相続人柚木春野・同国同郡同村六百六拾番邸親族小谷文三郎・同国同郡同村六百五拾九番邸東盛源三→阿賀崎村長三宅最平	(奥書)戸長三宅最平 罫紙
1-330-3	宅地建家借用券	明治21年5月	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村九百四番字南町の宅地建物の借用券 浅口郡阿賀崎村六百九拾九番邸借家人小谷多祢・同郡同村証人小谷清七郎・代官人津久井一雄→壘江銀行頭取妹尾一三郎	
1-330-4	宅所建家返還年季之証	明治21年5月	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村九百四番字南町の宅地建物について 壘江銀行頭取妹尾一三郎・代書人津久井一雄→全国全郡全村小谷多祢	
1-330-5	地券書換願	明治20年9月	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木仙次郎・相続人柚木春野→浅口郡長窪津義忠	罫紙
1-330-6	地券書換願	年月日未詳	縦紙	1通	備中国浅口郡柏島村八百八拾五番字紅岩の畑地について 元持主柚木春野の書換願	後半は「名代人御届ケ」の下書
1-330-7	地券書換願	年月日未詳	縦紙	1丁	持主柚木春野の畑地4筆について	
1-330-8	委任状之事	明治20年9月	半・縦	仮1冊	柚木仙次郎死亡に付き相続人柚木春野が玉島登記所への登記請求を小谷文三郎へ委任のこと	罫紙
1-330-9	証明書	年月日未詳	縦紙	1丁	備中国浅口郡阿賀崎村九百四番字南町の建物について坪数、桁行、梁行などについての証書	罫紙
1-330-10	[宛名・差出人書付]	年月日未詳	縦紙	1丁	全東盛源三→阿賀崎村戸長三宅最平	罫紙

1-330-11	[坪数・桁行・梁行書付]	年月日未詳	縦紙	1丁		罫紙 1-330-9の続き力
1-330-12	[証明願]	明治20年9月22日	堅切紙	1丁	柚木仙次郎所有の建物を相続人柚木春野の所有にして故障のないことの証明を願う 備中国浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木仙次郎・相続人柚木春野・全国全村六百六拾番邸親族小谷文三郎	前欠 罫紙
1-330-13	証明願	明治20年10月3日	半・縦	仮1冊	先代柚木仙次郎よりの遺産相続に付き窪屋郡酒津村梶谷伊平治及び浅口郡阿賀崎村豊江銀行へ書入の分・登記願分について証明を願う 浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木春野・全郡全村六百六拾番邸親族小谷文三郎・全郡全村六百五拾九番邸同東盛源三→阿賀崎村戸長三	(奥書)戸長三宅最平
1-330-14	証明願	明治20年9月20日	半・縦	仮1冊	柚木仙次郎所有の建物を相続人柚木春野の所有にして故障のないことの証明を願う 備中国浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木仙次郎・相続人柚木春野・同国同郡同村六百六拾番邸親族小谷文三郎・同国同郡同村六百五拾九番邸同東盛源三→阿賀崎村戸長三宅最平	(奥書)戸長三宅最平
1-330-15	宅地書入金借用証	明治17年9月11日	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村千八百八十番の書入金六拾八円六拾三銭 浅口郡柏嶋村借用主小幡弥十郎・証人一元徳→柚木ひさ	(奥書)戸長三宅最平
1-330-16	建物売渡状	明治17年11月	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村八百七拾七番地建物 岡山県備中浅口郡阿賀崎村六百八拾五番屋敷居住建物持主柚木仙次郎→梶谷伊平治	
1-330-17	登記願	明治20年9月20日	半・縦	仮1冊	柚木仙次郎死亡に付き相続人である同人妻の登記請求を願う 備中国浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木仙次郎・相続人柚木春野・同国同郡同村六百六拾番邸親族小谷文三郎・同国同郡同村六百五拾九番邸全東盛源三→玉島登記所	
1-330-18	[登記願案文]	明治20年	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木仙次郎・相続人柚木春野・全国全郡全村六百六拾番邸親族小谷文三郎・全国全郡全村六百五拾九番邸東盛源三からの遺産相続二付登記願	
1-330-19	証明願	明治20年	半・縦	仮1冊	先代柚木仙次郎よりの遺産相続に付き窪屋郡酒津村梶谷伊平治及び浅口郡阿賀崎村豊江銀行へ書入の分・登記願分について証明を願う 浅口郡阿賀崎村柚木春野・全郡全村親族小谷文三郎・全郡全村全東盛源三→阿賀崎村戸長三宅最平	罫紙
1-330-20	証明願	明治20年9月21日	半・縦	仮1冊	柚木仙次郎所有の建物を相続人柚木春野の所有にして故障のないことの証明を願う 備中国浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木仙次郎・相続人柚木春野・全国全郡全村六百六拾番邸親族小谷文三郎・全東盛源三→阿賀崎村戸長三宅最平	罫紙
1-330-21	証明書	明治20年9月20日	半・縦	仮1冊	柚木仙次郎所有の建物を相続人柚木春野の所有にして故障のないことの証明を願う 備中浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木仙次郎・相続人柚木春野・同国同郡同村六百六拾番邸親族小谷文三郎・同国同郡同村六百五拾九番邸全東盛源三→阿賀崎村戸長三宅最平	罫紙 表紙右上に「戸長役場之分」の書付あり
1-330-22	[地券書換願案文]	年月日未詳	縦紙	1丁	新開墾嶽下年季明の土地について持主死亡に付き相続人として登記済となったので地券の書換を願う	罫紙
1-330-23	[建物図面]	明治20年	縦紙	1纏め(2枚)	備中国浅口郡阿賀崎村九百四番字南町の建物図面	2枚重ねられて二ツ折
1-330-24	証明書	明治20年9月20日	半・縦	仮1冊	柚木仙次郎所有の建物を相続人柚木春野の所有にして故障のないことの証明を願う 備中国浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木仙次郎・相続人柚木春野・同国同郡同村六百六拾番邸親族小谷文三郎・同国同郡同村六百五拾九番邸全東盛源三→阿賀崎村戸長三宅最平	罫紙
1-331	[借用証]			1括り(14通1袋1括り2纏め)		1-331-1~18まで紙に巻かれて紙紐で括られている 包紙は「代言人頼ミ之証」と書かれた罫紙を転用 表に「貸金証書」「総テ重要書類」(端裏書)「元濱」
1-331-1	借用手形之事	明治11年8月11日	堅切紙	1通	金三円四拾五銭の借用 かり主小林音吉・証人藤沢三十郎→小谷清七 半ヶ年分の休(マ)金四円の内式円借用のこと 口付ちとよ・本人善三郎→小谷清吉	
1-331-2	記(借用証)	辰年8月17日	横切紙	1通		
1-331-3	覚(金請取)	亥年12月14日	横継紙	1通	「はとぎん」式両を預り請取のこと まなべ岩坪浅右衛門→玉しま地頭屋	
1-331-4	金子預り証	明治16年1月1日	堅切紙	1通	金七拾四円四拾銭の預り証 小谷清七郎→仁科弥曾七	(奥書)小谷清七郎 全体に抹消の×あり
1-331-5	請取証(立替金の請取)	明治27年7月26日	縦紙	1通	金貳拾五円の請取 白神為助代理白神紋治郎→柚木ハルノ	
1-331-6	[借用証書]			1纏め(2通)		1-331-6-1~2まで重ねて折りたたまれている
1-331-6-1	借用証文之事	明治11年6月3日	堅切紙	1通	金五拾銭の借用証文 備前国児島郡福田村阿部弥五八→浅口郡阿賀崎村小谷清七郎	
1-331-6-	金子借用証	明治14年6月3日	堅切紙	1通	金貳円拾銭 矢掛村字西三成赤沢代吉→小谷清七郎	
1-331-7	船売渡証券	明治19年	堅切紙	1通	三間部船舎艘 代金拾八円で売渡 浅口郡黒崎村五百八十三番売渡主 原田権六・同郡阿賀崎村証人小谷文三郎→森谷幸吉	全体に抹消の×印あり
1-331-8	金子預り証券	明治24年旧11月9日	縦紙	1通	金壹百円預りのこと 金主借用主小谷文三郎→柚木春の・高田秀七・白神為助・渡辺平助	
1-331-9	草地売渡証券	明治18年1月6日	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村乙三百六十九番字南町の草地売渡証文 売主 同村小谷清七郎・証人同村一元徳→小谷文三郎	(奥書)戸長三宅最平
1-331-10	覚(金百五拾疋下賜のこと)	年月日未詳	縦紙	1通	「浅口郡阿賀崎村清蔵塚勢以」産業出精 家内睦敷心持方宜敷に付き金百五拾疋下賜のこと	
1-331-11	差入証券事	明治25年1月21日	堅切紙	1通	物品質物につき「不算相成候砌者野生引受」のこと 柚木春の→山本嘉	
1-331-12	年賦金割払借用証券	明治23年10月7日	縦紙	1通	金四拾四円四拾八銭の借用 浅口郡柏嶋村大字柏島六拾四番邸金借用主原保太郎・証人原富太郎→全郡阿賀崎村小谷文三郎	

1-331-13	差入申書附事	万延元年8月1日	縦紙	1通	經代銀支払いについての約定 松永西井屋小吉・扱人坪屋豊太郎・塩屋利右衛門→地頭屋清蔵	
1-331-14	約定証差入申一札之事	明治9年2月2日	縦紙	1通	買物代残金六拾円の払込について日限の延引と違約金の支払い方についての約定 橋本栄太郎→小谷清七郎	
1-331-15	年賦金借用証	明治34年6月18日	縦紙	1通	金式拾参円の借用証 岡山県浅口郡柏崎村大字柏島百五拾壹番低借用主野村弁造→浅口郡玉島町大字阿賀崎小谷文三郎	包紙あり(包紙上書)「野村弁造」(裏書)「此内金式円参拾錢也 明治参拾五年拾貳月納分 正二受取申候也 明治参拾六年三月一日 小谷文三郎」1-331-16-1~6一袋(袋上書)「塩田彦左衛門 戸籍写入 此箱在中皆年賦書也 亦ハ期限付」
1-331-16	〔年賦証文関係書類〕			1袋(6通)		
1-331-16-1	年賦証文之事	明治10年3月	縦切紙	1通	金六円五拾六錢六厘の借用について 借用主上房郡高梁塩田柳太郎・証人大月万介→浅口郡阿賀崎村小谷清七郎	「証券界紙」の罫紙(右端に朱筆)「明治十一年玉島区裁判所勸解第貳千九百三拾八号」
1-331-16-2	借用証券	明治11年11月11日	縦切紙	1通	金式円五十七錢八厘借用に付き返済金額と期日についての約定書 上房郡高梁下町塩田柳太郎→浅口郡阿賀崎村小谷清七郎	「証券界紙」の罫紙
1-331-16-3	年賦証文之事	明治10年3月	縦紙	1通	金拾円八拾三錢貳厘借用に付き返済金額と期日についての約定書 借用主上房郡高梁下町塩田柳太郎・証人大月万助→浅口郡阿賀崎村小	
1-331-16-4	差入申書	明治11年11月11日	縦紙	1通	養父塩田定治郎の買物代金借用については当時自分は同戸籍から離れ家事向は塩田彦右衛門が進退しており「私返済可致情理更ニ無御座」に付き塩田彦右衛門より取立てほしい 上房郡高梁町塩田柳太郎→浅口郡阿賀崎村小谷清七郎	
1-331-16-5	〔備中国上房郡高梁下町塩田柳太郎の印鑑相違のこと〕	明治11年11月8日	縦紙	1通	副戸長辻正雄→菊池太平	罫紙
1-331-16-6	〔舟稼渡世塩田定治郎の家族調査〕	年月日未詳	縦紙	1通	副戸長辻正雄→(宛名なし)	罫紙
1-331-17	〔片沼文造関係借用証〕			1括り(3通)		1-331-17-1~3紙紐で一括り
1-331-17-1	金子借用証券	明治12年5月25日	縦紙	1通	金百五拾円の借用証 借主片沼文造→小谷清七郎	
1-331-17-2	物品借用証	明治15年3月10日	縦紙	1通	米付ウス巻組、ヨシ戸巻間など二十点の借用証 借主片沼文造→小谷清七郎	
1-331-17-3	金員借用証券	明治13年12月15日	縦切紙	1通	金壹百円の借用証 片沼文造→小谷清七郎	
1-331-18	〔借用証券〕			1纏め(3通)		1-331-18-1~3まで重ねて折りたたまれている
1-331-18-1	借用証券之事	明治10年12月13日	縦切紙	1通	金三円四拾七錢七厘八毛の借用 浅口郡船穂村小野孫太郎→小谷清七郎	「証券界紙」の罫紙 左端上に朱筆「明治十一月玉島裁判所勸解第千六百八拾四号」の書付あり 裏に「小野孫太郎」と書かれた貼紙あり
1-331-18-2	借用証	明治10年11月30日	縦切紙	1通	金壹円六拾九錢五厘の借用証 下道郡二万村木村松吉→小谷清七郎 代理小幡弥十郎	
1-331-18-3	金借用証券	明治10年11月30日	縦切紙	1通	金三円二十二錢九厘二毛の借用書 借主木村還太郎→小谷清七郎 代理小幡弥十郎	
1-332	〔勤定取替記〕			1括り(3冊)		1-332-1~3まで丸めて紙紐で括られている
1-332-1	小谷源七郎氏工差引勤定取替記 取替主小谷清七郎	明治5年~15年	美・横長	1冊		
1-332-2	〔物品代金書上帳〕	明治5年~15年	美・横長	1冊		
1-332-3	〔勤定取替記〕	申年~午年	美・横長	1冊		
1-333	大正四年自九月 商品買入帳	大正4年9月~5年2月17日	半・横長	1通		「巡視日誌」を綴って帳面にしている
1-334	明治[] 永代書■帳	明治元年~	美・横長	1冊		
1-335	明治参拾参年 永代書抜帳 在町	明治33年	美・横長	1冊		
1-336	大正参年 商品買入帳	大正3年~	半・横長	1冊		「巡視日誌」を綴って帳面にしている
1-337	明治十八年十月 建物明渡請求之訴状 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百六十番屋敷平民小谷文三郎	明治18年10月	半・縦	1冊	被告人堀竹治・原告人小谷文三郎の玉島治安裁判所長判事補尾木方倫への訴状	罫紙
1-338	裁判言渡書	明治19年11月26日	半・縦	仮1冊	原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五十番地寄留平民農業小幡弥十郎の被告人同村同国同郡同村三百八十四番地平民港仲買営業井上栄三郎に対する損害賠償の訴訟に対する玉島治安裁判所の言渡書	「裁判所言渡書謄本」の罫紙
1-339	金子預り証券	年月日未詳	縦切紙	1通	金三千三百円の預り証 預り主備中国玉島湊小谷清七郎・引請証人江口嘉平次・証人喜多保次郎→越後国刈羽郡荒浜村牧口政三郎代六兵	(奥書)預り主小谷清七郎引請証人
1-340	御禁厭請書	明治27年旧10月2日	縦紙	1通	「御禁厭御伝授二預り候上」は神教を堅く守り「仮令一子タリトモ伝授致間敷」こと 広島県御調郡土生村式百四拾八番邸巻幡チク→神道月徳教会	
1-341	誓約書	明治27年11月	縦紙	1通	終身教義に従事し職中は本局或は月徳教会に対する義務を「欠如仕間敷」ことを約する 広島県安芸国豊田郡東生口村百八番地森岡イク→神道管長従三位稲葉正邦	
1-342	質問書(写)	明治18年10月23日	半・縦	仮1冊	被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百八十四番屋敷平民湊中買商井上栄三郎代人亀山清太郎の原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村寄留平民小幡弥十郎よりの地利米滞催促の訴状に対する質問書 亀山清	罫紙
1-343	地子米滞催促之訴状	明治18年10月12日	半・縦	仮1冊	被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百八十四番屋敷平民湊中買営業井上栄三郎 原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五十番屋敷寄留平民小幡弥十郎→玉島治安裁判所長判事補尾木方倫	罫紙

1-344	日延御願	明治18年10月16日	縦紙	1通	被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百八拾四番屋敷平民湊中買業井上栄三郎 原告全県全郡全村三百五十番屋敷寄留平民小幡弥十郎の地子米催促の訴えに対し、病気の為本日出頭の上、答書は出来難くに付き、別紙医師診断書を添えて期日の日延を願う 井上栄三郎→玉島治安裁判所判事補中田貞吉	罫紙
1-345	上申書	明治19年2月24日	縦紙	1通	被告井上栄三郎代理人仁科辰三郎→掛官 原告小幡弥十郎より提出の上申書は「文詞錯雑ニシテ其主要ノアル処ヲ探知スルヲ得ス」そのため上申或は弁論すべき要点もないので速に裁判を始めてほしい 仁科辰三	罫紙
1-346	説明書	明治18年10月23日	縦紙	1通	被告人阿賀崎村平民井上栄三郎代人亀山清太郎より差出しの原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五十番屋敷寄留平民小幡弥十郎への質問書への説明書 小幡弥十郎→係り官	罫紙
1-347	地子米滞ノ訴再答弁書	明治18年11月10日	半・縦	仮1冊	被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎三百八十四番屋敷平民港仲買井上栄三郎代人亀山清太郎→玉島治安裁判所判事補中田貞吉	
1-348	弁論書	明治18年12月1日	半・縦	1通	地子米催促の訴訟に付いて原告人より11月28日付で提出された「証拠物写シ」に対する弁論書 被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村平民港仲買商井上栄三郎代人亀山清三郎→玉島治安裁判所判事補中田貞吉	
1-349	宅地并ニ建物書入金借用証券	明治18年1月17日	横折紙	1通	借用主・証人とも抹消→共益社頭取支配人	
1-350	〔職人諸道具など項目別書上〕	年月日未詳	美・縦	仮1冊	一総テ木ヲ取扱職人ノ部 官大工 衆大工 附木 木挽 木山 桶物他	
1-351	覚(年別利金算用書付)	年月日未詳	横折紙	1丁	一竹取扱職人ノ部 簾 扇キ 団扇 諸入籠他	
1-352	〔給与通知書〕			1纏め(9通)		1-353-1~9まで重ねて四ツ折にされて一纏め
1-352-1	〔職務勉勵ニ付慰勞の為給与通知書〕	大正5年12月23日	堅切紙	1通	岡山専売支局→[■]小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-352-2	〔職務勉勵ニ付慰勞の為給与通知書〕	大正6年6月30日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-352-3	〔職務勉勵ニ付慰勞の為給与通知書〕	大正6年12月20日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-352-4	〔年末臨時手当給与通知書〕	大正6年12月21日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-352-5	〔職務勉勵ニ付慰勞の為給与通知書〕	大正7年6月29日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-352-6	〔職務勉勵ニ付慰勞の為給与通知書〕	大正7年12月20日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-352-7	〔職務勉勵ニ付慰勞の為給与通知書〕	大正8年6月30日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-352-8	〔職務勉勵ニ付慰勞の為給与通知書〕	大正8年12月18日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-352-9	〔職務勉勵ニ付慰勞の為給与通知書〕	大正9年6月25日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-353	〔金銭書付〕	年未詳7月1日~9月5日	横継紙	1通	7月1日~9月5日まで月用休や大坂天神祭休などの休日を除いて毎日、東・神・下・桑・備の項目ごとに金銭が書き付けられている 相場の書付カ	
1-354	〔月給通知書〕			1纏め(5通)		1-354-1~5まで重ねて四ツ折にされて一纏め
1-354-1	〔月給通知書〕	大正7年3月31日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-354-2	〔月給通知書〕	大正7年3月31日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-354-3	〔月給通知書〕	明治42年3月31日	堅切紙	1通	専売局味野収納所→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-354-4	〔月給通知書〕	明治42年12月16日	堅切紙	1通	味野専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-354-5	〔月給通知書〕	明治43年4月22日	堅切紙	1通	味野専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-355	〔月給通知書〕			1纏め(2通)		1-355-1~2まで重ねて四ツ折にされて一纏め
1-355-1	〔月給通知書〕	大正元年12月28日	堅切紙	1通	味野専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-355-2	〔月給通知書〕	大正6年9月1日	堅切紙	1通	岡山専売支局→巡視小谷幾二	「大蔵省」の罫紙
1-356	〔月給通知書〕	明治41年8月21日	堅切紙	1通		「専売局味野収納所」の罫紙
1-357	金子借用証	明治30年2月20日	縦紙	1通	金貳百円の借用証 小谷生治→佐藤松蔵	
1-358	地所建物売渡証	明治25年10月19日	美・縦	仮1冊	浅口郡阿賀崎村九百六拾九番字南町の宅地及び建物 浅口郡阿賀崎村七百七拾一番邸壘江銀行支配人妹尾富太郎→浅口郡阿賀崎村六百九十九番邸小谷多祢	
1-359	済口証	明治31年12月22日	縦紙	1通	貸付金并に麦稗代金一切請取り是迄の契約ヲ解除して済口のこと 高知県香美郡大楠植村村内貳百五十三番邸幾井幾七・同県同郡美良布村同店子三十三番邸吉永寅太郎他代理一名→小谷文三郎	
1-360	金子借用証券	明治10年8月1日	縦紙	1通	金參百円の借用証 借用主小谷清七郎・証人黒川幸太郎→丸川新平	全体に抹消の×印あり
1-361	借入金証券	明治9年5月1日	縦紙	1通	金百円の借用証 借用主小谷清七郎・証人田中元鋪→梶谷伊平治	全体に抹消の×印あり
1-362	裁判言渡書	明治19年7月19日	半・縦	仮1冊	小幡弥十郎より井上栄三郎に係る地子米滞催促一件について 岡山始審裁判所判事野間実・則元可貞・書記関原政経→控訴人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村寄留平民農業同郡柏島村在籍小幡弥十郎・被控訴人同県同国同郡同村平民湊中買業井上栄三郎代人同県同国同郡柏島村	「岡山始審裁判所」の罫紙
1-363	大魚代残金借用証文之事	明治8年5月15日	縦紙	1通	金七拾円の借用証 借用主甲谷利平・中野光蔵・中村重太郎→小谷清金五拾五円の借用証 借用主甲谷利平・中野光蔵・中村重太郎→小谷清七郎	
1-364	塩鱈代金残借用証文之事	明治8年5月15日	縦紙	1通		
1-365	〔福寿講講金書付〕	明治15年1月15日	横折紙	1通	年番中原利右衛門→小谷清七郎	
1-366	日本緋色桃色柿色黄色染液製造法伝授書	明治18年12月20日	27.2×37.8	1通	大阪広盛館主日本各色発明者下山信利	
1-367	〔地境図〕	明治6年7月12日	縦紙	1枚	持主小谷清七郎・虫明豊一郎宅と東盛源蔵宅と堀竹治郎宅の地境図	
1-368	〔裁判関係書類目録〕	年月日未詳	半・縦	仮1冊	十八年第五百二十二号の裁判関係書類	罫紙
1-369	〔裁判関係書類目録〕	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
1-370	〔明治十八年 第五百五貳号 中田殿御係り 出頭日書〕	明治19年4月16日	縦紙	1通	明治18年10月12日~明治19年3月1日まで計22日 小幡弥十郎出頭	罫紙
1-371	第五百五十二号 中田殿御係り 弁駁書	明治18年12月5日	半・縦	仮1冊	原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百九十番屋敷寄留平民農業小幡弥十郎→掛官	罫紙

1-372	明治十八年 第五十式号 中田殿御係り 控訴御届	明治19年3月10日	縦紙	1通	井上栄三郎へ係る地子米滞請求一件について 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五十番屋敷寄留平民小幡弥十郎→玉島治安裁判所判事	
1-373	[地子米請求一件についての弁駁書]	(明治)19年2月12	縦紙	1通	小幡弥十郎より提出	罫紙
1-374	宅地建家借用証券	明治21年5月23日	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村九百四番字南町の宅地及び建家の借用証券 借家人浅口郡阿賀崎村六百九拾九番邸小谷多祢・証人全郡全村小谷清七郎代書人津久井一雄→全郡全村齋江銀行頭取妹尾一三郎	罫紙
1-375	[宅地及び建家売渡証券]	明治16年4月14日	縦紙	1纏め(3丁)	備中国浅口郡阿賀崎村九百四番地字南町の宅地及び建家の売渡証券 地所売渡主阿賀崎村小谷清七郎・証人津久井一雄→阿賀崎村柚木仙次郎	宅地売渡証券2丁建家売渡証券の1丁が重ねて二ツ折りにされて纏められている もとは縦帳で綴られていたものカ (奥書)戸長菊池太平 明治十六年四月十六日
1-376	上申書	明治19年2月24日	半・縦	仮1冊	「第五十二号 御係り中田殿」の裁判について 被告人井上栄三郎代 言人仁科辰三郎よりの陳述書に対する上申書 小幡弥十郎→玉島治安 裁判所判事補中田貞吉	
1-377	民事 第五十式号 弁駁書 小幡弥十郎	明治18年11月2日	半・縦	仮1冊	地子米滞催促訴の答二対する弁駁書 小幡弥十郎→玉島治安裁判所判 事補中田貞吉	
1-378	明治十八年十月 建家明渡請求之訴状 岡山県備中国 浅口郡阿賀崎村六百六十番屋敷平民小谷文三郎	明治18年10月	半・縦	1冊	玉島治安裁判所長判事補尾木方倫宛	
1-379	醤油製造場建物並諸器械調書 備中国浅口郡阿賀崎村 六百六拾番屋敷製造場	明治18年6月30日	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村六百六十番地居住醤油製造営業人小谷文三郎 →岡山県令千阪高雅	
1-380	金預証券	明治16年3月9日	縦切紙	1通	金貳拾円の預り証 預主哲多郡下神代村中村嘉六→浅口郡下竹村藤沢 齋江銀行株式券状を金貳百五拾円で譲渡証書 譲主小野幸蔵・証人柚 木石蔵→小谷清七郎	
1-381	譲渡証券	明治15年5月22日	縦紙	1通	米売箱蓋付杓勺、同蓋付三勺、楠木箱、長持など十品 売主片沼文造・ 証人佐々木恒七→小谷清七郎	
1-382	物品売渡証	明治15年9月20日	縦紙	1通	六百七拾貳番地字南町の建家釣家土蔵の売渡証券 売主・証人未詳→ 小谷清七郎	
1-383	建物売渡証券	明治11年10月	縦継紙	1通	岡山県→小谷清七郎	罫紙
1-384	[火災二付窮民救助シテ金壹円差出候段奇特の事]	明治13年12月1日	縦紙	1通	岡山県→小谷清七郎	
1-385	詠草六百十首 徳	年月日未詳	半・縦	1冊	朱筆で添削されている	右上に朱筆で「五」の書付あり
1-386	果園一月千首	明治22年2月写之	美・縦	1冊	八十六翁果園あるじ たね(佐久間果園)詠草・一元徳筆写 「明治二十 一年一月一日より本月中に千首歌よミ試むと欲す」によつての詠草を写	
1-387	[能楽組]	年未詳11月8日	19.5×28.8	1通	「十一月八日於博物館慈善会寄附」の能楽組	裏に「世の為につくす我身の乗る船をミまもり玉へわたつみの神」など歌が書 き付けてある
1-388	宝来山登阪日記	明治25年9月24日	14.5×7.5	1冊	相場の書付カ	
1-389	第二号 六月廿日ヨリ十月廿日迄 詠草芸古集	年未詳6月20日～ 10月20日	半・縦	1冊		
1-390	[詠草]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	朱筆の添削あり	
1-391	詠草 徳	年月日未詳	半・縦	1冊	朱筆の添削あり	裏表紙に「よろし 八首 無点 三首 以後ハ今すこし墨濃に御認可被下候 老眼よめかね迷惑いたし候也」の朱筆あり
1-392	[詠草]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	朱筆の添削あり	
1-393	明治廿四年六月十五日光風霽月時完結 十八史略解 従太古至南宋	明治24年6月15日	半・縦	1冊		
1-394	[封筒]	年月日未詳		1枚		(封筒表書)「大阪市北区中之島二丁目六十五番屋敷 渡辺松茂方寄留 一元徳殿」
1-395	大日本帝国紀元貳千五百四拾九年ヨリ五拾年迄 メイチ 廿二トシークワツヨリオナシ廿三トシマテ 日誌 一元徳	明治22年1月～23 年12月31日	半・縦	1冊		
1-396	[詠草]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	朱筆の添削あり	
1-397	[殖産講通袋]	年月日未詳	20.5×14.3	1枚		(袋上書)「殖産講通 本小谷」(袋上書朱筆)「第五拾貳号 第五拾三号」
1-398	[殖産講掛金・利足書付]	明治12年12月15日	横折紙	1通	年番仁科安吉→小谷清七郎	
1-399	[殖産講掛金・利足書付]	明治12年12月15日	横折紙	1通	年番仁科安吉→小谷清七郎	
1-400	[二代目天勝撰定披露興行特別優待券]	年未詳1月29日	11.0×17.4	1通	齋港座の特別優待券	
1-401	[書付]	年未詳12月26日	横切紙	1通	他行の内は第一に大用心 第二は「ヲコル事」 御無用に日々戒面でお られる様に	
1-402	[数量書付]	年月日未詳	縦切紙	1通	「〇〇筭金錦二十 六拾六本」	
1-403	[白紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		
1-404	[解熱鎮痛 アンチヘフリン丸袋]	年月日未詳	12.5×8.2	1枚		(袋上書)「改良ねつさし 解熱 鎮痛 アンチヘフリン丸製剤所 備中浅口 郡船穂村 坪井濱太郎」(袋裏書)効能のあらましを記載
1-405	出鱈目日記	年月日未詳	12.0×6.5	1冊	雑記帳	(表紙)「出鱈目日記」(裏表紙)「備中国玉島町南町 高田盛天堂書店」
1-406	[金封]	年月日未詳	縦紙	1枚		(包表書)「上 一羽二重襲」(包内側)「一金拾円也」
1-407	[出世講通袋]	年月日未詳	20.2×14.3	1枚		(袋上書)「出世講通 本小谷」(袋上書朱筆)「九拾七号 九拾八号」
1-408	[米相場の実跡編輯について]			1纏め(2通2 丁)		1-408-1～4まで重ねて二ツ折りにされている
1-408-1	[米相場の実跡編輯の意義について]	年月日未詳	縦紙	1丁		罫紙
1-408-2	必勝 指南 米相場実録序	年月日未詳	縦紙	1通		
1-408-3	必勝 指南 米相場実録凡例	年月日未詳	縦紙	1丁		罫紙
1-408-4	[米取引に関する書状下書]	年月日未詳	縦紙	1通		裏に委任状の下書あり 罫紙
1-409	為取替規定証書	明治6年7月12日	美・縦	仮1冊	南町小谷清七郎所持貸家明渡掛合について 虫明豊一郎、小谷清七 郎、東盛源蔵、片沼重米、萱谷半十郎、山本栄太郎の為取替規定書	「無印紙証書用紙 小田尿管下」の罫紙

1-410	修業証書	明治45年3月26日	23.2×31.0	1通	岡山県浅口郡玉島尋常高等小学校長船越茂伝治→小谷志行	
1-411	備陽評論	大正6年1月1日	38.1×53.6	1通		印刷物
1-412	〔目録包紙〕	年月日未詳	49.0×34.5	1枚		包紙の上を紙紐で括っている(包紙上書)「目録」
1-413	〔目録〕	年月日未詳	縦紙	1通	「鮑伸 御扇子 粗反 家内喜多留」他の目録	包紙あり(包紙上書)「進上 粗品 岡山 荘原」
1-414	〔包紙〕	年月日未詳	堅切紙	1枚	「真鍮請合」の押印あり	
1-415	〔証文写綴〕	天保13年9月～明治13年12月	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村小谷清七郎が所持する宅地・屋敷の証書類写	
1-416	明治二十一年六月より 見聞抜書	明治21年6月～	美・横半折	1冊	書名、人口、西洋哲学氏名など雑記帳	
1-417	記(金銭請取)	明治14年10月2日	堅切紙	1通	積立金及び設立費用請取 甕江銀行担当者妹尾一三郎→小谷清七郎	
1-418	〔借用証書〕	明治25年10月15日	美・縦	仮1冊	浅口郡阿賀崎村九百六拾九番字南町郡村宅地四畝七歩二立設アル六百九拾九番邸を抵当に金員借用のこと 負債主小谷多祿・代書人津久井一雄・証人高田秀七→香西八百十郎	
1-419	〔弁論書〕	明治18年12月1日	半・縦	仮1冊	「原告人小幡弥十郎ヨリ相掛ル地子米催促ノ訴訟ニ付原告人ヨリ十一月廿八日付ヲ以テ提供シタル証拠写」に対する弁論書 被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村居住平民湊中買商井上栄三郎代人同県同郡同村柏嶋村居住平民荒物商亀山清太郎→掛官	罫紙
1-420	判決書	明治16年3月28日	美・縦	仮1冊	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村平民小野幸蔵代言人原告川上鶴太郎同県道同郡同村平民村上清一郎、中原利左衛門代言人被告橋本潤の「講通留難洪ノ訴訟審判」に対する岡山始審裁判所の判決書	「裁許用」の罫紙
1-421	〔証文写綴〕	天保13年9月～明治13年12月	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村小谷清七郎が所持する宅地・屋敷の証書類写	罫紙
1-422	〔証書〕			1纏め(2通)		1-422-1に1-422-2が挟み込まれている
1-422-1	金子借用証	明治25年9月30日	縦紙	1通	金四百円の借用証 借用主小谷多祿・引受証人柚木石松→甕江銀行頭取辻英一	
1-422-2	記(甕江銀行株券を抵当に四百円取替のこと)	明治13年10月15日	堅切紙	1通	甕江銀行担当者妹尾一三郎→小谷清七郎	
1-423	証明願	明治20年9月20日	縦紙	1通	柚木仙次郎死亡に付き備中国浅口郡阿賀崎村字西山の建物を相続人柚木春野の所有にすることについて故障のないことの証明を願う 備中国浅口郡阿賀崎村六百八拾五番邸柚木仙次郎・相続人柚木春野・同国同郡同村六百六拾番邸親族小谷文三郎・同国同郡同村六百五拾九番邸東盛源三→阿賀崎村戸長三宅最平	罫紙
1-424	見積り代価扣	年月日未詳	横切紙	1通	阿賀崎村柏島村の宅地、建家、畑地等の見積額扣	
1-425	物品売渡証券	明治15年3月10日	縦紙	1通	上々置、米付ウス、ヨシ戸など二十筆 売主片山文造・証人佐々木恒七→小谷清七郎	
1-426	金子借用証	明治15年7月21日	堅切紙	1通	金四百円の借用証 借用主小谷清七郎・証人黒川考蔵→丸川新平	
1-427	明治十三年五月五日売渡図面	明治13年5月5日	縦紙	1枚	売渡主岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百七拾六番屋敷居住小林小平→小谷清七郎	
1-428	〔明治十八年四月廿二日譲与建物図面〕	明治18年4月22日	縦紙	1枚	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村四百四拾番屋敷居住建物譲り主小谷清七郎→小谷文三郎	
1-429	〔明治十八年四月廿二日譲与建物図面〕	明治18年4月22日	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村四百四拾番屋敷居住建物譲り主小谷清七郎→小谷文三郎	
1-430	金子借用証	明治11年1月20日	縦紙	1通(2枚)	金六円貳拾二銭の借用証 川上郡下原村妹尾喜作→浅口郡阿賀崎村小谷清七郎	「証券界紙」の罫紙使用
1-431	原籍証	明治13年4月2日	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百六拾番屋敷平民小谷清七郎の原籍を戸証役場が保証する	罫紙
1-432	金借用証券	明治23年12月	縦紙	1通	金拾参円の借用証 浅口郡柏島村大字柏島八十番邸川上十七吉→全郡阿賀崎村小谷文三郎	
1-433	定約証差入之事	明治21年6月2日	堅切紙	1通	「金五円受取相済候」こと 堀シュン・堀竹治→柚木春の	
1-434	〔組合貸付銀通他〕			1袋(仮1冊3通)		1-434-1～4-袋(袋上書)「安政六己未年 地頭屋清蔵様 組合貸付銀通 亀屋忠兵衛」
1-434-1	安政六己未年 地頭屋清蔵様 組合貸付銀通 亀屋忠兵衛	安政6年～	美・横長	仮1冊		
1-434-2	献納金受取	丑年11月26日	堅切紙	1通	阿賀崎新田村清蔵→桜井久之助手附田中東蔵・同人手代逸見小十郎・直江喜平治 金貳拾両の献納	
1-434-3	証(義捐金領収証)	明治19年11月29日	16.5×15.5	1通	ノルマントン号溺死者遺族者への義捐金 山陽新報社→小谷文三郎	
1-434-4	覚(上納金請取)	寅年4月1日	堅切紙	1通	異国船防禦入用之内江上納 阿賀崎新田村清蔵→佐々井半十郎手附下又平青木新左衛門	
1-435	安政四年巳十一月 地頭屋様 酒造銀請引通 谷本屋	安政4年11月	美・横長	仮1冊		
1-436	〔証文写綴〕	天保13年9月～明治14年	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村平民小谷清七郎が所持する宅地・屋敷の証書類写	罫紙
1-437	〔明治十八年四月廿二日譲与建物図面〕	明治18年4月22日	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村四百四拾番屋敷居住建物譲り主小谷清七郎→小谷文三郎	
1-438	記(登り荷下り荷算用書)	年月日未詳	横折紙	1纏め(2丁)		半・横長の帳面の綴紐がとれている
1-439	記(登り荷下り荷算用書)	年月日未詳	横折紙	1纏め(2丁)		半・横長の帳面の綴紐がとれている
1-440	〔証案文〕	年月日未詳	縦紙	1通	会社規則條例遵奉を約す受証 某→発起人坂田八郎・創立人森谷庄一	罫紙
1-441	売買地券御書換願	明治18年1月	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎八百九十番字南町宅地壹畝廿三歩について 売渡人小谷清七郎・買受人一元徳→浅口郡長窪津義忠	

1-442	[地子米滞裁判執行御願案文]	年月日未詳	縦紙	1通	原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五十番屋敷寄留平民農業小幡弥十郎 被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百八十四番屋敷平民湊仲買営業井上栄三郎	罫紙
1-443	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「約定書 巻通 一元徳」
1-444	明治十八年十月 建家明渡請求之訴状	明治18年10月	半・縦	1冊	原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百六十番屋敷平民相物営業小谷文三郎 被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百五十七番屋敷平民八百屋物商堀竹次 玉島治安裁判所長判事補尾木方倫宛の訴状	罫紙
1-445	[地券書換願・書状他]			1袋(仮1冊9通2纏め1)		1-445-1~13一袋 (袋上書)「大正三年度 広告入」
1-445-1	[小谷宛書状及び売買地券書換願]			1纏め(仮1冊10通2枚)		1-445-1-1~13まで重ねて折りたたまれている
1-445-1-1	[小谷宛一元徳書状]	年未詳5月20日	縦紙	1通	柚木石造、秋山[■]本月限り故、一先上坂する様に話してほしい 宿料催促されているので送ってほしい他	
1-445-1-2	[小谷宛一元徳書状]	年未詳7月19日	縦紙	1通	照会して呉れる様に相談して遣された者は「米商仲買店之木福店ヨリ場立スルモノニテ島田重蔵ト申人」であったことなどを知らせる	
1-445-1-3	[小谷清次郎宛一元徳書状]	年未詳9月19日	縦切紙	1通	白紙委任状武枚送達に付、「可燃御認」下さること柚木へ書面を届ける	
1-445-1-4	[父宛書状]	年未詳9月19日	横切紙	1通	「帰国にハ御土産として少々ながらモ金員御目に懸ケ度存念」であることを知らせる	
1-445-1-5	[小谷宛一元徳書状]	年未詳6月27日	縦紙	1通	「神々敷候程」の相場上下の様子と中島清七郎氏の約定については安心する様に知らせる 丹仙を単物に仕立直しをしたことなど	
1-445-1-6	[宅地建物測量図]	明治21年5月24日	縦紙	1枚	備中国浅口郡阿賀崎村九百四番字南町宅地四畝武歩二立設有之旧六百六拾番邸新六百九拾九番邸の測量図 備中国浅口郡阿賀崎村七百三拾三番邸亡柚木仙次郎相続人柚木春野→(宛名なし)	
1-445-1-7	[明治十七年五月一日書入 備中国浅口郡阿賀崎村九百四番地建物図]	明治21年9月22日	縦紙	1枚	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百八十五番屋敷居住建物持主柚木仙次郎→豊江銀行頭取妹尾一三郎	
1-445-1-8	目録	明治23年6月15日	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村四百三拾九番邸寄留原田亀二所有建物の目録 浅口郡阿賀崎村一元徳→(宛名なし)	罫紙
1-445-1-9	売買地券御書換願	明治18年1月	縦紙	1通	売渡人小谷清七郎・買受人小谷文三郎→浅口郡長窪津義忠	
1-445-1-10	金預り証券	明治14年12月28日	縦紙	1通	金五拾円の預り証 小谷清七郎→柚木春の	
1-445-1-11	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「陶鑄千古」	右上に「西森氏蔵」の印あり
1-445-1-12	売買地券御書換願	明治18年1月	縦紙	1通	売渡人小谷清七郎・買受人原田礼三郎→浅口郡長窪津義忠	
1-445-1-13	売買地券御書換願	明治18年1月	縦紙	1通	売渡人小谷清七郎・買受人原田礼三郎→浅口郡長窪津義忠	
1-445-2	[漢籍写シ]	年月日未詳	縦紙	1丁	疑星右通廣内左達承嗣既集墳典亦聚群英……	前・後欠
1-445-3	[書状]	年月日未詳	横継紙	1通	江戸表出店については多年支配人菅屋徳蔵に一切「相催置」いていたが 近來異国へ行ってしまう種々不都合が出来していることについて	宛名・差出人不詳
1-445-4	[住所・氏名書付]	年月日未詳	横切紙	1纏め(2通)	「備中浅口郡阿賀崎村 一元徳」	同じ内容のものを2枚重ねて二ツ折
1-445-5	[一元徳宛公木登久満書状]	正年2月	横継紙	1通	年始の賀状	
1-445-6	[歌一首]	年月日未詳	横切紙	1通	「井本屋事井上栄太郎拜 元丸先生の尊を思ひ出て おもひつ君のこゝろの深きおそ 浅き世なればくむ人もなき」	
1-445-7	覚(屋敷・貯金・所持品書上)	明治4年8月7日	横継紙	1通	小野幸造→御庁	
1-445-8	[雑書]	年月日未詳	縦紙	1通	「御国に生れし事なれば忠魂の精心を以て憤(ママ)起こし……」「同人日諸侯に於てハ押領も至当なれども……」など	
1-445-9	[丹羽宛一元徳書状]	年未詳3月22日	横継紙	1通	「皇道勸業話第」草稿板刻について 新聞雑誌第三十四号二丁目の「小子悪説ヲ発シ者有之」について	
1-445-10	[松書状]	年未詳2月14日	横切紙	1通	この月の内にお帰りになるかどうかをたずねる このてがみがついたら返事がほしい	
1-445-11	[覚書]	年月日未詳	横折紙	1通	「秀川三郎右衛門 備中浅口郡柏島村赤崎住同倅又右衛門 同所」「秀川又右衛門 高拾六石九斗七升八合」他	
1-445-12	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	タマシミナミマチ コタニフンサフロウ ミヤキチニテ イサヲ	
1-445-13	証明願	年月日未詳	半・横長	仮1冊	先代柚木仙二郎より当家へ書入の際の書面について遺産相続に付き証明を願う	
1-446	[御神歌・箴銘他]			1纏め(4通1枚)		1-446-1~5まで重ねて二ツ折
1-446-1	御神歌二十八首	明治32年旧正月元日	縦紙	1通		
1-446-2	明治廿四年五月十三日貴書ヲ披見シテ我感スル処ヨリ既往三十年来ヲ記ス	明治33年7月29日	縦紙	1通		
1-446-3	唱詞	明治32年12月8日	縦紙	1通		
1-446-4	明治三十三年三月二十八日 箴銘	明治33年3月28日	16.1×23.5	1通		罫紙
1-446-5	明治卅參年三月十一日旧二月十一日 午前二時神変図 我家ノ俗ニ(オウウラ)ノ有様	明治33年3月11日	縦紙	1枚	小谷生治が目撃した神変の状況を図示したもの	

1-447	上申書	明治19年11月22日	半・竪	仮1冊	被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村平民井上栄三郎へ係係損害要償ノ訴求について 原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五拾番屋敷寄留平民農業小幡弥十郎→玉島治安裁判所判事補室席太郎への上申	
1-448	損害之仕出し 明治十八年七月ヨリ十一月迄五ヶ月分	年月日未詳	竪紙	1通	元買受代金の利子金及び壹ヶ年地租諸掛り物合の五ヶ月分の合金拾八円五拾九銭〇九三七五を請求する	罫紙
1-449	弁駁書	明治19年10月	半・竪	仮1冊	「被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村平民井上栄三郎代理人竹内祥次郎ヨリ損害要償之件ニ対シ去ル十八日答書差出シタルニ付」いて原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五拾番屋敷寄留平民農業小幡弥	
1-450	〔控訴願〕	年月日未詳	半・竪	仮1冊	原告人小幡弥十郎の被告人井上栄三郎に対する地子米滞催促の訴訟について玉島治安裁判所の裁判に対し不服に付き控訴願	
1-451	明治十八年二月廿五日 要領並弁駁書 原告代理人尾形兵太郎	明治18年2月25日	半・竪	1冊	宅地経(マ)界争論事件について 原告代理人尾形兵太郎→大阪控訴裁判所検事本間季明	
1-452	片仮名源流 平仮名源流 いろは	年月日未詳	半・竪	1冊		
1-453	添券	明治13年10月15日	横切紙	1通	「借入金之手数料」納付のこと 借用主小谷清七郎→豊江銀行	
1-454	〔備中国浅口郡宇南町建物見取図〕	年月日未詳	竪紙	1枚		
1-455	上申書	明治19年2月20日	半・竪	仮1冊	地子米滞一件について原告小幡弥十郎より提出の上申書に対し被告人井上栄三郎代理人仁科辰三郎の上申書 仁科辰三郎→玉島治安裁判所判事補中田貞吉	
1-456	物品借用証	明治15年9月15日	竪紙	1通	長持、櫛木箱など五筆 借用人片沼文造→小谷清七郎	
1-457	明治十八年十月 建家明渡請求之訴状 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百六拾番屋敷平民小谷文三郎	明治18年10月	半・竪	1冊		
1-458	〔職人書上〕	年月日未詳	美・竪	仮1冊	一総テ木ヲ取扱職人ノ部 宮大工 是迄通 家大工 同上 船大工 四歩 附焼工 是迄通 指物工 四歩 舛工 六歩……	
1-459	金子預り証券	明治14年10月29日	竪紙	1通	金参千参百円の預り証 備中国玉島湊預り主小谷清七郎・引請証人江口嘉平治・証人喜多保次郎→越後国刈羽郡荒濱 牧口政三郎代六兵	(奥書)預り主小谷清七郎・引請証人江口嘉平治・証人喜多保次郎
1-460	預り記	明治15年10月21日	竪切紙	1通	醤油壹斗入貳拾三挺の預り証 堺屋安兵衛→金集丸久吉	
1-461	〔建家計測見取図〕	年月日未詳	竪紙	1通		
1-462	明治十七年十二月十七日 宅地経界訳立方請求之控訴状 原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百七十六番屋敷平民小林小平	明治17年12月17日	美・竪	1冊	原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百七十六番地居住平民小林小平→大阪控訴裁判所長代理判事平川光伸 被告人岡山県備中国浅口郡柏島村居住平民辻太郎	罫紙
1-463	明治廿年一月 損害要償之控訴状 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五十番屋敷平民農業小幡弥十郎	明治20年1月	美・竪	1冊	原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五拾番地寄留平民農業小幡弥十郎 被告人同県同国同郡同村三百八十四番地平民湊仲買営業井上栄三郎 代理人同県同国同郡玉島村寄留平民内祥次郎	罫紙
1-464	〔地子米滞請求ノ訴訟に関する書類綴〕	明治17年3月15日 ~19年4月21日	半・竪	仮1冊	原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五拾番屋敷寄留平民農業小幡弥十郎 被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百八拾四番屋敷平民仲買商井上栄三郎 代人岡山県備中国浅口郡柏島村六百七十番屋敷平民荒物商亀山清太郎	罫紙
1-465	目録	明治23年2月25日	半・竪	仮1冊	備中国浅口郡阿賀崎村四百三拾九番邸寄留原田亀二所有建物目録	罫紙
1-466	邸番記入御願	明治23年5月16日	竪紙	1通	浅口郡阿賀崎村平民一元徳→玉島治安才判所判事森岡為継	罫紙
1-467	地所変更願	明治25年10月15日	竪紙	1通	浅口郡阿賀崎村豊江銀行支配人妹尾富三郎→玉島区才判所登記掛	
1-468	〔講関係書類〕			1括り(1枚2袋)		1-468-1~3紙紐で一括り
1-468-1	〔催合増殖講附録〕			1袋(2通)		1-468-1~2一袋(袋上書)「催合増殖講附録 小谷」(袋上書朱書)「第廿一号」
1-468-1-	〔講別口高及び落札人書付〕	年月日未詳	竪紙	1通(3枚)	新幸講 殖産講 金涌講 栄講 幸講 七福講など	3枚を重ねて四ツ折にしてある 罫紙
1-468-1-	物品売渡証	明治16年1月20日	竪紙	1通	阿賀崎村売主小野幸蔵・証人林喜平→小谷清七郎・江口嘉平次	
1-468-2	〔袋〕	年月日未詳		19.1×13.8 1枚		(袋上書)「金山講 本小谷」(袋上書朱書)「第六拾号」
1-468-3	〔貸金滞請求裁判関係書類〕			1袋(5通)		1-468-3-1~5までが包紙に包まれて袋に入っている(包紙上書)「貸金滞請求之訴状 岡山県備中国浅口郡阿賀崎村江口嘉平治代兼同県同国浅口郡阿賀崎村」(袋上書)「七福講通 壹枚入 元小谷」(袋上書朱書)
1-468-3-1	裁判言渡	明治17年1月31日	竪紙	1通(3枚)	譲受講通名寄書換請求の裁判について岡山始審裁判所の言渡書 原告岡山県備中国浅口郡阿賀崎村平民小谷清七郎・江口嘉平治代理人同県岡山区東中山下寄留平民川上鶴太郎 被告同村平民小野幸蔵代人同国都宇郡下撫川村吉田善吉	罫紙3枚を重ねて四ツ折にしてある
1-468-3-2	貸金催促之訴答	年月日未詳	竪紙	1通	被告岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百七十二番屋敷平民小野幸蔵代理人岡山区西中山下寄留川上鶴太郎→岡山始審裁判所判事小林藹 原告岡山県備中国浅口郡阿賀崎村平民東盛源蔵・村上清一郎	罫紙
1-468-3-3	予審判決書	明治15年12月8日	竪紙	1通(2枚)	貸金催促の訴についての判決書 岡山始審裁判所→原告岡山県備中国浅口郡阿賀崎村平民中原理左衛門・同村平民橋本治平代理人橋本潤 被告同県同国同郡同村平民小野幸蔵代理人川上鶴太郎	罫紙2枚を重ねて四ツ折にしてある
1-468-3-4	譲受講通名前書換請求ノ訴	明治16年11月13日	竪紙	1通(2枚)	原告阿賀崎村小谷清七郎・江口嘉平次代理人川上鶴太郎→岡山判事被告小野幸蔵	罫紙2枚を重ねて四ツ折にしてある
1-468-3-5	貸金催促之訴答	年月日未詳	竪紙	1通	被告岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百七十二番屋敷小野幸蔵代理人岡山区西中山下寄留川上鶴太郎→岡山始審才判所判事小林藹 原告岡山県備中国浅口郡阿賀崎村橋本治平・中原理左衛門	罫紙

1-469	上申書	明治19年2月19日	半・竪	仮1冊	地子米滞滞催促の訴訟について 被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村平民井上栄三郎代理人仁科辰三郎より提出の弁論書に対する上申書 原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五十番屋敷寄留平民小幡弥十郎→玉島治安才判所判事補中田貞吉	
1-470	地子米滞滞催促ノ訴再弁駁書	明治18年11月18日	半・竪	仮1冊	原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村三百五十番屋敷寄留平民小幡弥十郎→玉島治安裁判所判事補中田貞吉 被告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村平民井上栄三郎代人同郡柏島村平民亀山清太郎より提出の再答書に対する弁駁書	
1-471	[地子米滞滞事件に関する浅口郡役所よりの達シ書写]	明治18年11月28日	半・竪	仮1冊		
1-472	[高等小学科卒業証書]	明治22年3月30日	24.7×33.6	1通	岡山県浅口郡高等玉島小学校→小谷生治	
1-473	[明治十六年六月二十日売渡 備中国浅口郡阿賀崎村九百六番地建物測量図]	明治16年6月20日	竪紙	1枚	売渡主岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百五拾八番屋敷居住由明豊一郎→小谷清七郎	
1-474	[辞令]	明治20年2月14日	24.1×30.3	1通	教導職試験の辞令 管長従四位子爵稲葉正邦→小谷文三郎	
1-475	[新地券証御下ヶ渡願に付き関係書類綴]	明治13年11月	半・竪	仮1冊	小谷清七郎→浅口郡長帖佐謙吉	罫紙
1-476	明治■拾五年 証券書留記 四拾■歳	明治14年12月8日 ～39年7月17日	美・横列	1冊		(裏表紙)「宝 小谷清七郎」
1-477	昭和九年一月 古物台帳 玉島柏島小谷幾二	昭和9年1月15日	19.0×13.5	1冊		挟み込み文書あり「浅口郡玉島町柏島六一三三小谷幾二宛浅口郡古物商営業組合瀧沢一美はがき」浅口郡古物商営業組合総会通知書 金参拾円の受領証 浅口郡古物商営業組合→小谷幾二
1-478	紅紫いろいろ	年月日未詳	24.5×17.0	1通	民間療法・商売の符牒・苺の栽培法など様々な覚書	
1-479	[明治拾七年一月 備中国浅口郡阿賀崎村九百六番地建物測量図]	明治17年1月	竪紙	1枚	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村六百八拾七番屋敷居住建物持主小谷清七郎→共益社	
1-480	三原鶴女ヨリ神理聞書写	明治7年3月	半・竪	1冊		
1-481	(朱筆)「九」月百題 詠草貳百三拾首 徳上	年月日未詳	半・竪	1冊	朱筆の添削あり	
1-482	明治参拾八年五月 文章原稿 小谷愛■	年月日未詳	半・竪	1冊	「日本文学院」の添削券が貼られ、添削と評や点数が書かれている	罫紙
1-483	随録	年月日未詳	半・竪	1冊	金魚の飼養・調理法・東西名人鑑など雑記	罫紙
1-484	明治四十五年三月二十二日 疑問録 雑録	明治45年3月22日	半・竪	1冊		
1-485	西暦一千八百八拾五年ヨリ八拾六年 大日本帝国紀元貳千五百四拾五年ヨリ四拾六年 めいち十八とし七くわつ一ひよりおなし十九とし	明治18年7月1日～19年	半・竪	1冊	日記	
1-486	随筆	年月日未詳	半・竪	1冊		
1-487	(朱書)「六」詠草四百八拾首 徳上	年月日未詳	半・竪	1冊	朱筆の添削あり	
1-488	[詠草]	年月日未詳	美・竪	1冊		表紙と裏表紙に巴が描かれている
1-489	[白紙]	年月日未詳	竪紙	1纏め(2枚)		
1-490	大安売広告	年月日未詳	14.1×20.5	1纏め(28)	備中国玉島湊南町地頭屋事小谷商店の広告	印刷された広告28通が纏まっていた為1-490のひとつの番号を付した
1-491	[辞令]	大正8年9月30日	竪切紙	1通	岡山専売支局一巡視小谷幾二	罫紙
1-492	軍用品控	年月日未詳	美・横半折	1冊	前半には薬品名、後半は書名や価格が記されている	
1-493	[年貢銀受取帳]	天保6年～文久元年9月20日	半・横列	1冊	人別に年貢銀額と受取の日附が書かれている	前欠
1-494	[賞状]	明治19年2月6日	24.2×30.3	1通	「皇国ノ大道ヲ遵奉シ神式ニ相改候段奇特ノ至ニ付依テ賞詞候事」 管長従四位子爵稲葉正邦→一元徳	
1-495	[建物計測図]	年月日未詳	竪紙	1枚		
1-496	[紙綴]	年月日未詳		1本		
2-1	[一元徳宛竹内宇之輔はがき]	(明治)26年3月3日	はがき	1通	大阪南区末吉橋通り壱丁目竹内宇之輔→岡山県備中国浅口郡阿賀崎村一元徳 先日質物の件について依頼書を送ったが返事がないので一大坂中之島二丁目松本ふさ→岡山県備中国浅口郡阿賀崎村玉島一元徳 和田方の返事を待っている状況を伝えたものカ	
2-2	[一元徳宛松本ふさはがき]	(明治)26年4月8日	はがき	1通	備中国玉島湊南町地頭屋事小谷商店の広告	
2-3	[一元徳宛小谷生次はがき]	(明治)25年11月20日	はがき	1通	備中玉島小谷生次→大阪市北区真砂町松田ナヲ方一元徳 調査のため先生のところにある24年1月～12月・22年12月～23年8月の物価表を送付してくれるよう願う	
2-4	[一元徳宛津久井一雄はがき]	(明治)23年12月22日	はがき	1通	玉島戎町津久井一雄→大阪市北区堂島中一丁目川上久兵衛方一元徳 小林氏ほか名古屋での裁判で一ヶ年半の重禁個に処され控訴する予定であること、自分も笠岡裁判所代書人として同地に移ったこと、川上鶴太郎が玉島に出張所を開設するにあたって地頭屋と自分が借家を周旋したことなどを伝える	
2-5	[一元徳宛小谷文三郎はがき]	(明治)25年8月4日	はがき	1通	備中玉島港小谷文三郎→大阪市北区中ノ島二丁目渡辺松茂宅一元徳	
2-6	[一元徳宛小谷商店はがき]	(明治)25年8月19日	はがき	1通	備中玉島港小谷商店→大阪市北区中の島二丁目渡辺松茂宅一元徳 残暑見舞	
2-7	[一元徳宛小谷生次・清七郎はがき]	(明治)25年9月2日	はがき	1通	玉島南町小谷生次・同清七郎一同→大阪市北区中ノ島二丁目渡辺松茂方一元徳 大病を患い看護する者もない一元徳を見舞い、よく効く薬として著名な牛黄丸が必要であれば取り寄せて送る旨を伝える	
2-8	[一元徳宛小谷生治はがき]	(明治)25年8月23日	はがき	1通	玉島小谷生治→大阪市北区中ノ島二丁目渡辺松茂方一元徳 病気にもかかわらず国家のために奔走している一元徳に感謝の意を伝え、命あつての物種なので怠りなく養生するよう願う	

2-9	〔一元徳宛小谷生治はがき〕	(明治)25年8月20日	はがき	1通	南町小谷生治→大阪市北区中ノ島二丁目渡辺松茂方一元徳 一元徳が教会東盛氏に送付した書状を同氏に送り届けたこと、自分の病気が今のところ全快に向っていることを伝える	
2-10	〔一元徳宛小谷生次はがき〕	(明治)25年8月8日	はがき	1通	小谷生次→大阪北区中ノ島二丁目渡辺松茂方一元徳 一元徳の清祥・開運の様子を西門助氏より承り安心したことを伝え、このはがきが届き次第様子を報せてくれるよう願う	
2-11	〔一元徳宛小谷生治はがき〕	(明治)25年8月24日	はがき	1通	玉島南町小谷生治一同→大阪市北区中島二丁目渡辺松茂様ニテ一元徳 一元徳の打ち続く勝利・吉報を喜び、さらに進んで敵陣を乗っ取り大勝して凱旋することを祈る	
2-12	〔一元徳宛小谷生治はがき〕	(明治)25年8月26日	はがき	1通	玉島南町小谷生治→大阪市北区中島二丁目渡辺松茂方一元徳 一元徳の勝利を祝賀すると共に、以後は私心を出さず徹頭徹尾神法を守り違背なきよう注意を促す	
2-13	〔易経・論語抜書〕	年月日未詳	堅切紙	1枚	「四書ノ素読」とある「乾道変化各正性命」「温故而知新」など、易経・論語の一文を抜き書きしたもの	
2-14	〔五行占盤〕	年月日未詳	堅切紙	1纏め(5枚)	水性・土性・火性・金性・木性ごとに大祝日・開運祭・出世日などの干支を示したもの	5枚一括折り込み
2-15	〔相場六十四卦占盤〕	年月日未詳	堅紙	1纏め(9枚)	易経六十四卦に基き明治14~25年の相場変動を占ったもの	9枚一括折り込み
2-16	〔包紙〕	年月日未詳		1枚	「大極上茶金石高口 三寸」とある	内容物なし 包紙のみ
2-17	〔一元徳関係文書一括〕			1包(10通)		2-17-1~10一包 封筒あり(封筒上書)「大阪市北区中島二丁目五十七番屋敷松本フサ様方ニテ一元徳先生 備中玉島港南町小谷生治」
2-17-1	〔一元徳宛小谷生治書状〕	年未詳8月14日	横継紙	1通	一元徳の病状を心配し日夜月光大神に平癒を祈っているのを養生に努めるよう伝え、為替で3円送ったので郵便局で受け取るよう通知する	2-17-1~3は一連の史料
2-17-2	〔一元徳宛書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	2-17-1で小谷生治が一元徳に送った郵便為替の文面が記され、財政方困難で心配している旨を伝える	2-17-1・2-17-3と一連
2-17-3	〔小谷文三郎書状〕	年未詳8月13日	横継紙	1通	宛名を欠くが内容から一元徳宛と推定できる 香西氏が財政困難につき気の毒だが助力するわけにもいかないこと、同氏から先生宛にと預った金3円を為替で送ることを伝え、今朝日新聞を見て米価の天下落を知ったが今後どうなるのかと尋ねる	2-17-1・2-17-2と一連
2-17-4	記(印刷受注書)	明治24年11月26日	堅切紙	1通	大阪市東区北浜式丁目龍雲舎赤川孫兵衛→一元徳 『米相場実録』の印刷・出版受注書(500部=31円16銭など)	活版様式罫紙
2-17-5	証(金受領証)	明治24年2月16日	横切紙	1通	松本ふさ→御上 3月分の賄料受取書	
2-17-6	証(金受領証)	(明治)24年4月30日	横切紙	1通	松本房→一元 炭油代・座敷代などの受取	
2-17-7	記(印刷受注書)	明治24年11月15日	堅切紙	1通	大阪市東区北浜式丁目龍雲舎赤川孫兵衛→一元徳 『米相場実録』の印刷受注書	活版様式罫紙
2-17-8	〔一元徳宛龍雲舎書状〕	年未詳3月21日	堅紙	1通	米相場の本の印刷整頓が諸事情で期日に間に合わないことを詫言、納本まで今五、六日猶予してくれるよう願う	罫紙(龍雲舎用箋)
2-17-9	証(手付金受領証)	明治24年12月11日	19.3×16.9	1通	大阪市東区北浜式丁目龍雲舎赤川孫兵衛→一元徳 『米相場実録』500部代の手付金受取書	活版様式洋紙
2-17-10	証(印刷代支払についての契約証)	年月日未詳	堅紙	1通	一元徳→龍雲舎主赤川孫兵衛 貴社に依頼して『米相場実録』500部を印刷してもらったものの、代金の都合がつかなくなったので、登録証書を貴社に渡し、100部だけ本を借り受け、これを売却して得た代金によって残部を買い取ることを約束する	罫紙(龍雲舎用箋)
2-18	謹上献言三通写	辰(明治1)年	美・堅	1冊	備中国浅口郡阿賀崎新田の一元徳(もと十二神作兵衛)が、5年の修行で「尊キ神教」「天地清浄常久不易真ノ泰平ニ化シ顕幽無敵万民保全ノ道」を感得したことを根拠に、明治新政府(大総督官・岩倉具視・神祇官)に自ら登用と奥羽平定の委任を願い出たもの 弁事伝達御役所宛3通分	
2-19	広告(『必勝指南米相場実録』のチラシ)	年月日未詳	17.4×21.8	1纏め(5枚)	明治15~24年の10年間の堂島定期米相場値段と毎日の天気・風害、米麦の収穫高を表した書籍の販売用チラシ 発売所大阪市北区中之島二丁目渡辺松茂方寄留一元徳、売捌所梅原亀七・丸善書店・龍雲堂	活版印刷洋紙 5枚一括折り込み
2-20	〔千字文〕	年月日未詳	堅折紙	1纏め(2枚)	「千字文」を書写したもの	2枚1重ね一括
2-21	〔草稿〕	年月日未詳	堅折紙	1枚	「生物」「心」についての神教的解釈を記したもの 訂正あり 一元徳著作の草稿とみられる	
2-22	〔草稿〕	年月日未詳	堅折紙	1纏め(3枚)	政体の起源、天皇祭祀、「胤」の字義解釈、「真ノ太平」についての見解などを記す 訂正あり 一元徳の著作の草稿とみられる	3枚1重ね一括
2-23	〔草稿〕	年月日未詳	堅折紙	1纏め(3枚)	「天下」についての問答、「天姓」に関する解説を記す 訂正あり 一元徳の著作に関わる草稿とみられる	3枚折り込み一括
2-24	〔草稿〕	年月日未詳	堅折紙	1纏め(5枚)	祭文、「真」「道」「仁恵」「天」などの語義解釈を記したもの 訂正あり 一元徳の信仰、著作に関する草稿とみられる	5枚巻き込み一括
2-25	〔草稿〕	年月日未詳	堅折紙	1纏め(2枚)	「上下同治」「君民同治」、民衆の政治参加に対する疑問を記した文章の草稿と、「十開達之図」の下書 一元徳の思想と宗教観を示す著作の草稿と思われる	2枚折り込み一括
2-26	〔千字文〕	年月日未詳	堅折紙	1枚	「千字文」を書写したもの	
2-27	〔評論草稿〕	年月日未詳	堅折紙	1枚	新聞の紙面に対する論評と、玉島港でみかけた婦人の出立ち(散髪して眉を蓄え歯が白い)に文明開化をみて驚嘆したことを記す	

2-28	〔神道月徳教会関係書類一括〕			1纏め(5通4枚18丁1纏め)		2-28-1~28折りたたみ一纏め
2-28-1	〔住所氏名書付〕	明治25年1月8日	堅切紙	1通	「香川県讃岐国那珂郡手島村中塚与三郎十九年」とある	断簡カ
2-28-2	誓約書	明治26年6月	堅切紙	1通	岡山県岡山市大字七番町当時岡山県備中国浅口郡玉島村大字玉島寄留河合美知恵・親族保証人中桐金・教導職試補鳥羽永四郎→神道管長正四位子爵稲葉正邦 月徳教会に対し終身教義を従うことを誓約する	
2-28-3	教導職辞表御願	明治26年8月29日	堅切紙	1通	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村妹尾芳太郎→神道管長従三位子爵稲葉正邦 病気につき、神道月徳教会の教導職試補の辞職を申し出る	
2-28-4	〔人名書付〕	年月日未詳	堅切紙	1纏め	青野長平・小松栄吉の家族の名と続柄を書いたもの	罫紙2枚一括 綴じ穴あり 丁はずれカ
2-28-5	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	備後国御調郡貢村字東野馬越信太郎が自身の家族の名前・年令・干支を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ
2-28-6	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	広島県備後国御調郡因島中ノ庄村の宮地栄太郎が家族の名前と年令を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ
2-28-7	〔人名書付〕	年月日未詳	堅切紙	1丁	広島県御調郡三浦村の寺川源右衛門が自身の家族の名前・干支・年令・続柄を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ
2-28-8	〔人名書付〕	年月日未詳	堅切紙	1丁	広島県御調郡三浦村字椋浦の西本半十郎が自身の家族の名前・年令・干支を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ
2-28-9	宣誓	明治25年9月23日	堅切紙	1丁	広島県備後国沼隈郡田尻村藤井尚太→神道月徳教会 神道月徳協会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-28-10	〔人名書付〕	年月日未詳	堅切紙	1丁	広島県御調郡三浦村の堀尾忠兵衛が妻・母の名前・干支・年令を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ
2-28-11	〔人名書付〕	明治25年2月8日	堅切紙	1丁	岡山県平民備中国浅口郡竹村大字上竹の西山役平が家族の名前・年令を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ
2-28-12	宣誓	明治25年5月16日	堅切紙	1丁	岡山県備中国浅口郡長尾村の田辺藤太郎とその家族が神道月徳教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-28-13	〔人名書付〕	明治24年4月14日	堅切紙	1丁	岡山県備中国浅口郡玉島村中島町の江原圭次郎の家族氏名・生年月日を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ
2-28-14	〔人名書付〕	年月日未詳	堅切紙	1丁	備後国御調郡貢村字東野の松岡菊三郎が自身と家族の名前・生年・年令・干支・続柄を書き上げたもの	
2-28-15	〔人名書付〕	明治25年旧1月16日	堅切紙	1丁	岡山県備中国浅口郡玉島村大字玉島東通町の田河光太郎が自身と家族の名前・干支・年令を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ
2-28-16	〔人名書付〕	年月日未詳	堅切紙	1丁	浅口郡玉島村の河田九介が自身と妻・長女の名前・干支・年令を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ
2-28-17	宣誓	明治25年4月3日	堅切紙	1丁	教会に加盟し規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの 広島県備後国御調郡田熊村村上清助ほか4名→神道月徳教会	
2-28-18	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	村上要蔵が家族の名前と年令を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ 折り目あり
2-28-19	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	備後国御調郡田熊村の大谷勤兵衛が自身と家族の名前・年令・干支を書き上げたもの 「明治廿五年五月六日入社」とある	綴じ穴あり 丁はずれカ 折り目あり
2-28-20	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1枚	酒井重蔵・須山林助が自身と家族の名前・年令・干支を書き上げたもの 「明治廿五年四月入社」とある	罫紙
2-28-21	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	岡山県備中国下道郡岡田村大字辻田の高杉新吉が自身と家族の名前・干支・年令を書き上げたもの	綴じ穴あり 丁はずれカ 折り目あり
2-28-22	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	椋之浦の川島徳太郎、外之浦の松島清助が自身と家族の名前・年令・干支を書き上げたもの 「明治廿七年四月三日メテ五人」「外之浦三十五名・中之庄村四名・田熊村五名・鷺浦村三名・生名村一名・佐島一名・椋之浦一名 メ五十名」とある	綴じ穴あり 丁はずれカ 折り目あり
2-28-23	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	塚井保治郎・梶谷文助とその家族の名前・年令・干支を記したもの	綴じ穴あり 丁はずれカ 折り目あり
2-28-24	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	寺岡市助・橋本増蔵とその家族の名前・年令・干支を記したもの	綴じ穴あり 丁はずれカ 折り目あり
2-28-25	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	光広久兵衛・山谷龜助とその家族の名前・年令・干支を記したもの	綴じ穴あり 丁はずれカ 折り目あり
2-28-26	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	福岡重兵衛・盛田要助とその家族の名前・年令・干支を記したもの	綴じ穴あり 丁はずれカ 折り目あり
2-28-27	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1枚	山本信太郎とその家族の名前・年令・干支を記したもの	
2-28-28	〔人名書付〕	年月日未詳	堅紙	1丁	岡山県備中国下道郡岡田村大字辻田の阿部仙吉・初太郎の干支・年令を記したもの	綴じ穴あり 丁はずれカ 折り目あり
2-29	政体論草稿	明治2年5月	美・堅	1冊	貨幣・紙幣の流通について	
2-30	〔草稿〕	年月日未詳	美・堅	仮1冊	「天下ハ億兆ノ天下ニシテ君主トイフ者ハ全ク億兆ノ為ニアルベキ」との外国思想に対し、尊皇・神道的立場から反論を加えたもの 一元徳の思想・信仰に関する著作物の草稿とみられる	2-23と関連あり
2-31	明治壬申二月 新聞雑誌 第三十一号	明治5年2月	半・堅	1冊	東京両国若松町日新堂発行 文部省博物館にて博覧会開催のこと・高松県知事松平頼聴ほか伝来の名器献上のこと・福沢諭吉の慶応義塾について・柳川城焼失のことなど記事あり	木版印刷
2-32	明治壬申二月 新聞雑誌 第卅二号	明治5年2月	半・堅	1冊	東京両国若松町日新堂発行 東京外桜田元芸州邸に大学校建設のこと・新貨のデザイン変更・ヨーロッパ各国の兵数を記した新書の刊行・見せ物にされた蒙古生まれの小人のこと・白装束の行者による皇居乱入事件ほかに関する記事あり	木版印刷

2-33	明治壬申二月 新聞雑誌 第三十三号	明治5年2月	半・竖	1冊	東京両国若松町日新堂発行 元会津藩士和田某の妻千賀(佐登)の女学校教場手伝就任・両国の外国人発砲事件・奈良春日山の鹿狩評判・不義密通事件など記事あり	木版印刷
2-34	明治壬申三月 新聞雑誌 第卅四号	明治5年3月	半・竖	1冊	東京両国若松町日新堂発行 一元徳の人物像に関する記事あり その他、浜田震災・生野県下騒擾・京都博覧会・金精明神などについて記事	木版印刷
2-35	明治壬申三月 新聞雑誌 第卅五号	明治5年3月	半・竖	1冊	東京両国若松町日新堂発行 天皇の博覧会幸行・一般家屋の煉瓦建築化・人身売買・女子の断髪・松根油精製機の発明などに関する記事あり	木版印刷
2-36	天地大道民の安心乃法	年月日未詳	半・竖	仮1冊	金を遣わずに「人の形ち」を遣って身の安心を得る法について 一元徳の著作カ	
2-37	雪百題・花百題詠草五百六拾首	年月日未詳	半・竖	1冊	徳(一元徳)「まかふへも雪たになくハつれづれと花待つころをいかにしてまし」などの和歌五百六十首からなる歌集 朱筆加点点あり	
2-38	[草稿]	年月日未詳	半・竖	仮1冊	十千・日の丸・地球などについて解説したもの 一元徳の宗教観を述べたものカ	
2-39	乍恐奉歎願上候御事	明治2年12月	竖継紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎新田村御民一元徳生照改名一道治源徳照別書建言の旨趣を天皇に奏聞してくれるよう願ったもの	
2-40	忠心皇道醒話・皇道忠心醉中書	明治4年	美・竖	1冊	学事や外国の教えに依らず、天地神祇の力を頼み天性の真を勤めることで天下一般の平和を得る道を説いた書 一元徳の著作と思われる	
2-41	天地一家政体治国安民規則	年月日未詳	美大・竖	1冊	神名・祭典規則・天地祭政官職員・官位ノ者常ニ心得方規則十一條・治国安民階梯ノ規則・万民常ニ心得方教令ノ規則・祭祀局ノ規則などを定める 一元徳の考える国家観に基づく法律をまとめたもの	
2-42	世のなかの種	明治2年3月	美大・竖	1冊	景山多十郎(書写) 備中国浅口郡阿賀崎村商人日出谷作兵衛(一元徳)の経歴・修行の様子を記し、作兵衛が修行中に申告を得て詠出した和歌を書写したもの「われなからわれをも知らぬころもて神のころをいかて知るらん」など	内題「神夢告御歌写」
2-43	[和歌草稿]	年月日未詳	美・竖	仮1冊	「しつけくも花ハにをへと市人のうりかふ声のさわかしきかな」などの和歌を記す 加点点あり「東京本郷区森川町仲通一番地 佐久間舜一郎方佐久間種次郎行」の付箋挟み込み 歌人佐久間種(果園)の点削を仰いだ	
2-44	[一元徳について]	年月日未詳		1枚	「新聞雑誌」第卅四号(2-34)にみえる一元徳の略伝を抜すいたメモ	洋紙(罫紙:岡山大学)
2-45	[題詠歌集]	年月日未詳	半・竖	仮1冊	春百題から円通寺八景まで題に沿った和歌1370首を詠んだもの「高光る天津日嗣の大ミよのいやさかゑゆくはるハきにけり」など	
2-46	和歌芸古集 三	年月日未詳	半・竖	1冊	安原種友・阪田雅夫・小野為総・西信基・一元徳らの和歌を集めたもの 朱筆加点点あり	
2-47	[千五百御統]	明治19年7月10日 明治22年4月28日	半・竖	仮1冊	佐久間種(果園・種次郎)編 一元徳書写 萬葉集・二十一代集・千五百番歌合などから1500首を抜抄しまとめた私撰歌集	
2-48	随筆 2	明治27年ごろ~45年ごろ	半・竖	1冊	言葉の意味・歌・食物の調理法・傷病の治療法・遇話・各地の名物などの雑学メモと、新聞切抜を綴じたもの 小谷生治関連カ	
2-49	三原ツル女東京滞留中間答写	明治12年9月	半・竖	1冊	ツル女と物集高村・梶江高峯らの神に関する問答を記録したもの 無形神と肉体の神、人と神を分けたのは何のためかなど	
2-50	明治十八年七月 醤油造石検査簿 備中国浅口郡阿賀崎村小谷文三郎	明治18年7月	美・竖	1冊	上・中石数の検査表、落し粕数量・製成醤油石数を記入した「中醤油製成順次表」、「醤油搾り器械封緘請書」などを合綴	罫紙(岡山県収税課)
2-51	神宣天地一家政体治国安民規則	年月日未詳	美大・竖	1冊	朱筆訂正あり 史料2-41の草稿	
2-52	[十二神作兵衛奏上書]	慶応4年1月	竖継紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎新田村十二神作兵衛(一元徳)が朝廷に対し自身を召し抱えてくれるよう奏上したものの	
2-53	[神道月徳教会関連書類]			1纏め(64通 24枚)		2-53-1~88まで折りたたみ一纏め
2-53-1	[金銭書付]	年月日未詳	竖切紙	1枚	「十月十三 四拾七銭」など月日と金銭が列挙されている 性格不明	
2-53-2	宣誓	明治25年6月12日	竖切紙	1通	大阪府東成郡清堀村浅尾政昭 神道月徳教会に加盟し規約を守ること「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-3	証	明治24年1月29日	竖切紙	1通	岡山県備中国浅口郡柏島村大字柏島寺崎房吉→神道月徳教会 明治23年9月18日より「月の大神様」に参詣したところ病気が全快したことを報告し、感謝の意を伝えたもの	
2-53-4	[人名書付]	年月日未詳	竖切紙	1枚	玉島村小野東八とその家族の名前・干支・年令・続柄を記したもの	
2-53-5	[人名書付]	明治24年12月19日	竖切紙	1枚	岡山県備中国浅口郡玉島村牧野安吉とその家族の名前・年令・干支を記したもの	
2-53-6	[人名書付]	年月日未詳	竖切紙	1枚	広島県備後国御調郡貢村字浜松の杉本豊太郎とその家族の名前・干支・年令を記したもの	
2-53-7	[人名書付]	年月日未詳	竖切紙	1枚	備後国沼隅郡後地村の阿茂コトとその家族の続柄・名前・干支・年令を記したもの	
2-53-8	上申書	年月日未詳	竖紙	1通	広島県備後国沼隅郡鞆町井上武左衛門→神道月徳教会 浅草病院・大学公立病院でも治らなかつた三男豊三郎の肺病が「月乃大神様」に祈ることで全快した旨を報告し、感謝の意を伝えたもの	
2-53-9	神文	明治24年	竖紙	1通	岡山県備中国浅口郡上竹村西山俊平母西山おさつ→神道月徳教会 「月乃大神様」に参詣したところ顔の痛みが治ったことを報告し、感謝の意を伝えたもの	
2-53-10	神文	明治24年2月12日	竖紙	1通	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村の田辺吉太郎→神道月徳教会 腹痛が「月乃御神様」に参詣したところ一週間で治ったことを報告し、感謝の意を	

2-53-11	〔神文〕	明治23年12月12日	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡六条院村大字六条院中花田金蔵・長女しまの→神道月徳教会「月の大神様」への参詣によって病気が全快したことを報告し、感謝の心を伝えたもの	
2-53-12	神文	明治23年12月30日	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡本庄村塚本喜代七妻みの→神道月徳教会 教会に参拝したところ年来の眼病が治癒したことを報告し、感謝の意を伝えた	
2-53-13	〔神文〕	明治24年1月15日	縦紙	1通	岡山県浅口郡鴨方村明石つる→神道月徳教会 全身の痛みが教会への参詣後全快したことを報告し、感謝の意を伝えたもの	
2-53-14	神文	明治23年12月1日	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡柏崎村大字柏崎寄留岸熊男妻岸浦江→神道月徳教会「月の大神様」に参詣したところ乳病が全快したことを報告し、感謝の心を伝えたもの	
2-53-15	神文	明治24年1月5日	縦紙	1通	岡山県備中国浅口郡柏崎村大字柏島稲荷町定金常太郎→神道月徳教会 大昨日に教会へ参詣したところ、おこり病が治り平常に復したことを報告し、感謝の意を伝えたもの	
2-53-16	神文	明治24年1月	縦紙	1通	大坂市西区本田三番町寄留津久井竹志→神道月徳教会 実父一雄と母が「月の大神様」へ参詣したところコレラ病が全快した旨を報告し、感謝の意を伝えたもの	
2-53-17	誓約書	明治26年	縦紙	1通	広島県豊田郡南生口村大字宮原国政クマ・親族保証人国政与一→神道管長従三位子爵稲葉正邦 終身教義に従い、在職中は本局・月徳教会に対する義務を果たすことを誓ったもの	
2-53-18	〔月徳のいき〕	年月日未詳	縦紙	1枚	「月徳のいき」「玉しい」「龍」の文字が紙面一杯に羅列されている まじないに関連するカ 用途未詳	
2-53-19	〔月徳のいき〕	年月日未詳	縦紙	1枚	「月徳のいき」「玉しい」「龍」の文字が紙面一杯に羅列されている まじないに関連するカ 用途未詳	
2-53-20	〔誓約書断簡〕	明治26年6月17日		1通	片山里[]・親族保証人河合甚太郎・備中国賀陽郡大井村大字大井教導職試補島羽永四郎→神道管長正四位子爵稲葉正邦	
2-53-21	宣誓	明治24年4月16日	縦紙	1通	広島県備後国御調郡中庄村総引受井川堅磐→神道月徳教会 教会に加盟し規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-22	〔神道月徳教会加盟願〕	明治25年5月13日	縦紙	1通	広島県御調郡中庄村神道月徳教会中庄事務所井川堅磐→神道月徳教会長東盛愚一 村内一同で扶助している盲目赤貧の老夫婦の教会加盟希望を取り次いだもの	
2-53-23	宣誓	明治25年9月1日	縦切紙	1通	広島県備後国御調郡大浜村井川米丸→神道月徳教会 教会に加盟し規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-24	宣誓	明治25年3月23日	縦切紙	1通	広島県備後国御調郡田熊村岡野徳兵衛ほか6名→神道月徳教会 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-25	宣誓	明治25年4月20日	縦紙	1通	広島県備後国御調郡因島村・田熊町村上作次郎ほか8名 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-26	宣誓	明治25年11月11日	縦切紙	1通	広島県安芸国豊田郡南生口村引受砂田力丸→神道月徳教会 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-27	〔守札書付〕	明治25年11月20日	縦紙	1枚	「かいりくの御守」「小けんざき」「小守」「大けんざき」「安産」など各種守札の数量を記す	罫紙
2-53-28	宣誓	明治25年8月2日	縦紙	1通	広島県安芸国豊田郡瀬戸田町祠掌沢山和一郎 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-29	宣誓	明治24年7月6日	縦切紙	1通	広島県備後国沼隈郡鞆字西町桑田善二ほか8名→神道月徳教会 神道月徳教会に加盟し、その規約を守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-30	御請書	明治25年元10月26日	縦紙	1通	広島御調郡三庄村西本亀蔵→神道月徳教会本部 授与された教主真筆の御神号を奉戴し、子々孫々に至るまで永遠の信心を誓ったもの	紙背に「ジョージ ビョーブ」と大書されている
2-53-31	御請書	明治25年10月26日	縦紙	1通	広島県御調郡土生村原山現蔵→神道月徳教会 授与された教主の肖像・御神号を奉戴し、子々孫々に至るまで信仰する旨を誓ったもの	紙背に「ジョージ ビョーブ」と大書されている
2-53-32	〔宣誓〕	明治25年11月24日	縦切紙	1通	広島県備後国御調郡三庄村惣引受人西本為三郎→神道月徳教会 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	冒頭部分破損
2-53-33	宣誓	明治25年9月2日	縦切紙	1通	広島県備後国御調郡三庄村総引受西本為三郎→神道月徳教会 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-34	金子借用証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	金三百両を借用し来る申十一月までに元利とも返済する旨、約束したもの	後部欠損
2-53-35	添書	年月日未詳	縦切紙	1通	本年七月に預った金壹百円を来る十月三十日まで元利とも返済する旨、約束したもの	後半欠損
2-53-36	金子借用証	年月日未詳	縦切紙	1通	金四百円を借用し、本年十二月三十一日まで元利とも返済する旨を約束したもの	後半欠損
2-53-37	緋ノ粕借用証券	年月日未詳	縦紙	1通	来る子四月三十日まで緋のしぼり粕を借用した旨記したもの	後半欠損 罫紙
2-53-38	神伝肺病ノ蟲封シノ御法・野山ノ蟲封シノ御法・家ノ蟲封シノ御法御請書	明治25年7月10日	縦紙	1通	岡山市東中山山下町片山りせ→神道月徳教会教主月徳 各種虫封じの法を伝授された片山りせが、神教を堅く守り他人に伝授しないことを誓った	
2-53-39	宣誓	明治25年7月5日	縦切紙	1通	広島県備後国沼隈郡→神道月徳教会 神道月徳教会への加盟申込書の雛形カ 氏名などの記載なし	
2-53-40	宣誓	明治25年	縦紙	1通	広島県安芸国豊田郡南生口村引受砂田美代登→神道月徳教会 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-41	神伝禁厭御請書	明治25年7月10日	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村江口歩→神道月徳教会教主月徳 神伝禁厭の伝授を受けた江口歩が神教を堅く守り他人に伝授しないことを誓ったもの	禁厭=まじない

2-53-42	神伝肺病ノ虫封シノ御法・野山ノ虫封シノ御法・家ノ虫封シノ御法御請書	明治25年7月10日	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村江口歩→神道月徳教会教主月徳 神伝肺病の虫封じほかを伝授された江口が神教を堅く守り他人に伝授しない旨を	
2-53-43	宣誓	明治25年4月20日	縦紙	1通	広島県備後国深津郡福山笠岡町半田万兵衛ほか6名一備中玉島神道月徳教会長東盛愚一 神道月徳教会に加盟し規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-44	受書	明治25年9月	縦紙	1通	備後鞆町字関町延田孫兵衛一備中浅口郡阿賀崎村神道月徳教会「月夜見御神」の分霊の受領証	
2-53-45	神伝人ノ病氣ノ虫封シノ御請書	明治25年7月10日	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村江口歩→神道月徳教会教主月徳 神伝人の病氣の虫封じの法を伝授された江口が神教を堅く守り他人に伝授しない旨を誓ったもの	
2-53-46	宣誓	明治24年6月23日	縦切紙	1通	岡山県備中国下道郡岡田村佐野徳次郎ほか4名→神道月徳教会 神道月徳教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-47	宣誓	年月日未詳	縦紙	1通	無記名 神道月徳教会への加盟申込書の雛形	
2-53-48	宣誓	明治25年7月18日	縦切紙	1通	広島県備後国深津郡福山町村田祐四郎ほか2名→神道月徳教会 神道月徳教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-49	宣誓	明治24年7月28日	縦切紙	1通	岡山県備中国下道郡岡田村吉田幸作ほか3名→神道月徳教会 神道月徳教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-50	御請書	明治25年5月7日	縦紙	1通	備中国小田郡三谷村松田ナツ・教職証人武縄友七→神道月徳教会教主月徳「教主御神筆之御神号」の受領書	
2-53-51	宣誓	年月日未詳	縦切紙	1通	神道月徳教会の加盟申込書の雛形 無記名	
2-53-52	[人名書付]	年月日未詳	縦紙	1枚	広島県御調郡土生村の池本徳三郎とその家族の名前・年令・干支を記した	
2-53-53	宣誓	明治25年2月15日	縦紙	1通	神道月徳教会本部(印章) 同教会の加盟申込書「典式済」とある	
2-53-54	神伝人ノ病氣ノ虫封シノ御請書	明治25年7月10日	縦紙	1通	岡山市東中山山下町片山りせ→神道月徳教会教主月徳「神伝人ノ病氣ノ虫封シノ御法」を伝授された片山が、神教を堅く守り他人に伝授しないことを誓ったもの	
2-53-55	宣誓	明治25年7月27日	縦紙	1通	広島県備後国御調郡三浦村字鏡浦町岩本藤兵衛ほか4名 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-56	宣誓	明治25年閏6月7日	縦紙	1通	広島県備後国沼隈郡福山町総代市川与平・引受垣谷太郎左エ門→神道月徳教会 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-57	宣誓	明治25年5月	縦紙	1通	広島県安芸国豊田郡南生口村引受砂田美代登 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-58	宣誓	明治	縦紙	1通	備後国豊田郡南生口村・原村高橋惣助 神道月徳教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-59	宣誓	明治26年6月3日	縦切紙	1通	岡山県備中国浅口郡柏崎村山本信太郎→神道月徳教会 教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-60	御請書	明治25年7月15日	縦紙	1通	浅口郡阿賀崎村武縄ツチ→神道月徳教会教主月徳「御神影」の受領書	
2-53-61	宣誓	明治25年9月19日	縦紙	1通	広島県備後国御調郡三浦村受部井川堅磐 神道月徳教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-62	宣誓	明治25年8月8日	縦紙	1通	広島県備後国御調郡三庄村総引受西本為三郎→神道月徳教会 教会に加盟し、その規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-63	[家相占い]	年月日未詳	横折紙	1枚	家の向き・便所の位置と吉凶との関連を記した	
2-53-64	[傷病の治療法]	年月日未詳	縦紙	1枚	でき物・はれ物・目のいたみ・痔核などの治療法を記した	罫紙(月徳教会本部)
2-53-65	まめるい一切天下御用	年月日未詳	縦紙	1枚	標題の文字が紙幅いっぱい大書されている 手習いカ	
2-53-66	月	年月日未詳	縦紙	1枚	「月」の文字が紙面いっぱい羅列されている 手習いまたはまじないの類カ 用途未詳	
2-53-67	月	年月日未詳	縦紙	1枚	「月」の文字が紙面いっぱい羅列されている 手習いまたはまじないの類カ 用途未詳	
2-53-68	[白紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		綴じ穴・折り線あり 横長帳の未使用箇所を上げたものカ
2-53-69	宣誓	(明治カ)25年6月	縦紙	1通	備後国御調郡因島田熊村村上久左衛門ほか6名 神道月徳教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-70	[宣誓]	年月日未詳	縦紙	1通	広島県備後国御調郡三庄村西本為三郎 神道月徳教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	冒頭部分破損
2-53-71	神伝禁厭御請書	明治25年	縦切紙	1通	広島県御調郡土生村原山現口(蔵カ)「神伝禁厭」を伝授された原山が、神教を堅く守り他人に伝授しないことを誓ったもの	末尾破損
2-53-72	[宣誓]	明治26年3月7日	縦切紙	1通	広島県備後国御調郡三庄村総代引受人西本為三郎→神道月徳教会 教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-73	[人名書付]	年月日未詳	縦紙	1枚	岡野松太郎とその家族の名前・年令を記した	
2-53-74	[人名書付]	年月日未詳	縦紙	1枚	田熊村村上国平とその家族の名前・年令・干支を記した	
2-53-75	[人名書付]	年月日未詳	縦紙	1枚	岡野与右衛門とその家族の名前・年令・干支を記した	
2-53-76	[人名書付]	年月日未詳	縦紙	1枚	備後国御調郡土生村の香川トミ、箱崎荒之助とその家族の名前・年令を記した	
2-53-77	[人名書付]	年月日未詳	縦紙	1枚	備後国御調郡土生村の巻幡種吉とその家族の名前・年令・干支を記した	
2-53-78	[人名書付]	年月日未詳	縦紙	1枚	村上丈蔵とその家族の名前・年令を記した	

2-53-79	[人名書付]	年月日未詳	竪紙	1枚	土生村(備後国御調郡)の串畠兼吉、村上幸八とその家族の名前・年令・干支を記したものの	
2-53-80	御請書	明治25年7月20日	竪紙	1通	実吉カメラ→神道月徳教会 神道教導職十五等の合格証書受領書	
2-53-81	神伝禁厭御請書	明治25年7月10日	竪紙	1通	岡山市東中山山下町片山りせ→神道月徳教会教主月徳 神伝禁厭の伝授を受けた片山が、神教を堅く守り他人に伝授しないことを誓ったもの	
2-53-82	宣誓	明治25年5月6日	竪紙	1通	広島県備後国御調郡田熊村総引受村上方之介 神道月徳教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-83	[生死御伺]	年月日未詳	竪紙	1通	9月10日に因島を出て玉島港に入った船に乗っていたはずの金山久太郎ら2名が、海中難船のためか玉島港に来ていないため、生死の確認をし	
2-53-84	宣誓	明治	竪紙	1通	貢村(広島県御調郡) 神道月徳教会に加盟し、規約を堅く守ることを「月乃大神」に誓ったもの	
2-53-85	神伝肺病ノ虫封シノ御法野山ノ虫封シノ御法家ノ虫封シノ御法御請書	明治25年7月10日	竪紙	1通	備後国深津郡福山町西町江木退蔵→神道月徳教会教主月徳 各種虫封じの法を伝授された江木が神教を堅く守り他人に伝授しないことを誓ったもの	
2-53-86	神伝人ノ病氣ノ虫封シノ御請書	明治25年7月10日	竪紙	1通	備後国深津郡福山町西町江木退蔵→神道月徳教会教主月徳 人の病氣の虫封じの法を伝授された江木が神教を堅く守り他人に伝授しないことを誓ったもの	
2-53-87	神伝禁厭御請書	明治25年7月6日	竪紙	1通	備後国深津郡福山町西町江木退蔵→神道月徳教会教主月徳 神伝禁厭を伝授された江木が神教を堅く守り他人に伝授しないことを誓ったもの	
2-53-88	[人名書上]	年月日未詳	竪紙	1枚	備後国御調郡田熊村の岡野徳次郎とその家族の年令・名前を記したもの	
2-54	謹上(一元徳言上書)	慶応3年閏4月	美大・竪	1冊	備中国浅口郡赤崎新田御民一元徳が、朝廷に対して「天地を真の清浄と成し今の形勢を一洗し定久不易真の泰平となす」方法を建言したもの	
2-55	謹上 政体規則十二条論	明治2年11月	美大・竪	1冊	備中国浅口郡阿賀崎新田村御民一元徳 「天地真の和合、国家治安の階梯」について建言したもの	
2-56	人相の御つげ	明治25年10月	半・竪	1冊	内題「天地大道心のよしあしの人相の御つげ」「すきのふの神」「いさなみの神」「大神宮」からの神託によって人相を論じたもの 一元徳の著	罫紙(月徳教会本部)使用
2-57	[目録]	年月日未詳	横折紙	1枚	「一金 松林」「二 銀 梅林」「三 白 嵐山」など、12の景物が列記されている	
2-58	醒夢楽土述懐	年月日未詳	半・竪	1冊	徳(一元徳) 「人ハ善ナリ悪ハ通貨ニアリ」との見解に立ち、金銭・通貨と世事・人の営みを絡めて和歌集に仕立てたもの 「重みある人の命も年ふりていまハ金よりかるく成りけり」など	朱筆訂正あり
2-59	玉島治安才判所廷ニ於テ才判言渡書ニ対シ不服要領	年月日未詳	半・竪	仮1冊	明治17年に貸与した宅地4畝17歩の返還・引き渡しを求めた訴訟に関する書類 訴訟入費を原告負担とする玉島治安裁判所の判断に不服を申し立てたもの	
2-60	上申書	明治19年11月16日	半・竪	仮1冊	原告人岡山県備中国浅口郡阿賀崎村寄留小幡弥十郎→玉島治安裁判所判事補室虎太郎 宅地賃借をめぐる井上栄三郎との裁判に関する書	2-59に関連
2-61	[包紙]	年月日未詳		1枚	「許状 授 高山登」とある 何らかの免許状の包紙と思われるが、中身	
2-62	記(受領証)	明治25年旧2月30	竪紙	1通	小幡耕介→出納課長東盛愚一 月給・備後福山ほかへの旅費の受領証	
2-63	誓約書	明治27年11月	竪紙	1通	広島県安芸国豊田郡東生口村尼子禎左衛門・同県備後国御調郡三庄村西本為三郎・教導職鳥羽永四郎→神道管長従三位子爵稲葉正邦 本局・月徳教会に対し、終身教義を従い一般義務を欠如しないことを誓った	
2-64	約定之証	明治23年8月15日	竪紙	1通	大坂広盛管長下山信利→一元徳 明治19年時点で交わした約定の内容を変更し、改めて契約を結んだもの	罫紙
2-65	誓約書	年月日未詳	竪紙	1通	広島県安芸国豊田郡東生口村寺西富三・親族保証高橋惣助・教導職鳥羽永四郎→神道 本局・月徳教会に対し、終身教義に従い一般義務を欠如しないことを誓ったもの	
2-66	乍恐御尋問二相成候条々を以書口奉申上候御事	年月日未詳	半・竪	仮1冊	一元徳が信仰伝播のこと、師のこと、元来の商売のこと、母の養育のこと、身情のこと、水行のことなど各種の質疑に答えたもの	
2-67	[草稿]	年月日未詳	竪折紙	1纏め(6枚)	「酒ハ毒物ニより堅く禁すべきを云ふ事」「祓或祝詞の真意を述る事」など	朱筆訂正あり
2-68	借入金証書	年月日未詳	竪紙	1通	三ツ石昆布を抵当に金85円を借用した際の証書	活版印刷 奥が破り取られて差出・宛名みえず 墨引抹消あり
2-69	委任状之事	明治13年12月7日	竪切紙	1通	岡山県備中国浅口郡阿賀崎村小谷清七郎 小田県走出村相田性太郎を部理代人に指定し、浅口郡玉島港碇泊西栄丸に関する問題についての裁判所への対応を委任したもの	罫紙(証券界紙)
2-70	金借用証券	明治19年2月15日	竪紙	1通	浅口郡阿賀崎村寄留借用主小幡弥十郎→柚木仙治郎 金10円を借用し、本年4月30日までに元利とも返済することを約束する	
2-71	[俳句]	年月日未詳	竪紙	1枚	疎雨楼(姓未詳)が藤を題材に呼んだ俳句9首に、中塚響也が点削論評を朱筆で加えたもの 「蔓垂れて鶏啄むや藤の棚」など	中塚響也は玉島出身の新傾向俳人 一碧楼の義弟 罫紙
2-72	[信仰関連神文・雑記一括]			1纏め(1通4枚)		2-72-1~5まで折りたたみ一纏め
2-72-1	告謹神前	明治26年9月3日	竪紙	1通	大日本備中玉島港南町小谷生治 「尊靈ノ遺志」成就を祈願し、「決心ナス所ノ事」に力を借してくれるよう神に誓ったもの	
2-72-2	[曆草稿]	年月日未詳	竪紙	1枚	正月~9月まで 黒住宗忠の死没日を書き間違えたところで書くのを止めている	
2-72-3	[曆草稿]	年月日未詳	竪紙	1枚	正月~9月分 一元徳の誕生日が記されている(3月10日)	
2-72-4	[信仰に関する図]	年月日未詳	竪紙	1枚	一元徳の宗教的理念を表現した図カ 詳細不明	
2-72-5	[大谷の地中塚について]	年月日未詳	竪紙	1枚	「大谷金光来地上現」とあり、金光教関連の聖地について記したものカ	

2-73	米市の売り買ふこゑにあらハせて高直安直裁教系てぞゆく	年月日未詳	半・縦	1冊	一元徳の履歴(生没年含む)、明治26年9月朝鮮及支那産大豆輸入増加理由ノ調査、相場予測などを書写したもの 小谷生治の筆カ	『堂島商況日報』の紙背を使用して作成したノート
2-74	大日本帝国紀元貳千五百四拾七年ヨリ至八年 日誌	明治20年2月~21年	半・縦	1冊	一元徳の日記 毎日の干支・寒暖・天気・出来事を細字にて記入 小谷生治の誕生日祝賀、佐久間先生(たね)への送別歌贈呈など	罫紙
2-75	明治十六七月一日ヨリ同十七六月迄日記	明治16年7月1日~17年6月	半・縦	1冊	ひともと徳(一元徳)の日記 毎日の干支・天気・風・寒暖・銀などの相場と出来事を細字にて記入 七島稲荷山見分など	罫紙
2-76	診断書	明治23年4月9日	縦紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎村医師坂田雅夫→一元徳 骨果関節レウマチスのため歩行困難との診断を記す	2-75に挟み込み
2-77	〔日記〕	明治14年6月26日~15年6月25日	半・縦	仮1冊	一元徳の日記カ 北海粕・干鰯などの相場、天気の移り変わり、小谷生治の病気の具合などを記入	罫紙
2-78	〔井上先生宛小谷生治投書〕	明治21年1月	半・縦	仮1冊	備中国玉島港南町小谷生治→井上先生 井上が『朝日新聞』にて「夢ノ奇遇或ハ神告等ノ事実」について投書を求めていたことに対し、鶴女・一元徳の事例を報せたもの	
2-79	宅地譲渡証券	明治18年4月22日	美・縦	仮1冊	阿賀崎村譲渡人小谷清七郎・同村証人柚木仙次郎・一元徳→小谷文三郎 借金の抵当として共益社に差し入れた阿賀崎村南町の宅地を、借金負担の肩替わりとして譲渡したもの	戸長三宅最平の奥書あり
2-80	〔代金請求書〕	うし年5月2日	横折紙	1通	簗屋新介→地頭屋清蔵	
2-81	〔一元徳献白書〕	慶応3年8月	縦継紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎新田村御民十二神作兵衛(一元徳)「皇神の御教に仍而天地一枚に真之清浄と成り大善之泰平と治る法則」を会得した所由を奉聞し勅間に預りたい旨を言上したもの	全文朱書
2-82	〔まじない関係書付一括〕			1括り(4枚3纏め)		2-82-1~7まで一括り 包紙入り 包紙は「直会」「神事」「尾州アイチ郡アイチ町貳丁目 アオナマキノ藤井惣五郎」などと書かれた反古紙を使用
2-82-1	〔書付一括〕			1纏め(2枚)		2-82-1-1~2まで折りたたみ一括
2-82-1-1	喜	明治40年未7月7日	横切紙	1枚	紙面中央に「喜」の一字が記され、両側に年月日が割り書きされている用途未詳	
2-82-1-2	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1枚	「一の日ハ四をとりて行」「二の日ハ六をとりて行」などとあり、九の日まで列記されている 用途未詳	
2-82-2	〔まじない関係書付一括〕			1纏め(8枚)		2-82-2-1~8まで巻込一括
2-82-2-1	〔書付〕	年月日未詳	横折紙	1枚	「いさなき・いさなみの神様御たゝかひの時のかぞゑ」「世界のかづ」などを記す 神道月徳教会関連カ	
2-82-2-2	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1枚	「一の日朝下ケ」「三の日昼上ケ」などとある 詳細未詳	
2-82-2-3	〔人名書付〕	年月日未詳	横切紙	1枚	「尾州口祖村字榎ノ村 藤井惣五郎」とある	
2-82-2-4	〔書付〕	年月日未詳	横折紙	1枚	「子十二月子ノ時一の日ハ子をどち江」などとある 詳細未詳	
2-82-2-5	〔書付〕	年月日未詳	横継紙	1枚	「一の月上り 朔日ハ上りなれども小吉也」などとある 日ごとの運勢を占ったものカ	継ぎ目が外れ、2枚に分裂している
2-82-2-6	〔書付〕	明治28年7月3日	横切紙	1枚	「春は上ケなればをふぞら白し 下ケなればをふぞらあをし」など、春夏秋冬について記す 空模様と運勢との関連を記したものカ	
2-82-2-7	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1枚	「朝日月あれば其日ハ上ケ」「朝日さむければ其日ハ下ケ」などとある 朝の気象と運勢との関連を記したものカ	
2-82-2-8	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1枚	「一の日上ケ 朔日ハ上ケなれども小上ケ也」などとある	
2-82-3	御改名	年月日未詳	横折紙	1枚	「安久いさなき日子大神・安久いさなみ日女大神」「安日子・おせい改お安日女」などとある おせいの改名に伴って書かれたものカ	
2-82-4	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1枚	「五月ハ子中の十日ニかきる四十八といへるをよとす」などとある 各月の吉日や縁起のよい数字を示したものカ	
2-82-5	〔神名書付〕	年月日未詳	横折紙	1枚	日天子様・月天子様・丑寅きもん・金神大明神様などとある 詳細未詳	
2-82-6	〔まじない関係書付・書状一括〕			1纏め(1通2枚1包)		2-82-6-1~4まで一纏め 巻込一括
2-82-6-1	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1枚	「子十二月子ノ時一の日ハ子をもち江」などとある 干支と日時との対応によって吉凶を占ったものカ	
2-82-6-2	〔氏名未詳書状〕	年月日未詳	縦折紙	1通	「徳直筆」(一元徳の書)を相手に送り、まじないについて説明し、「ミくわし」を3つ入れておいたので小谷おせい・武縄氏に渡してくれるよう依頼し「天」「中」「地」の文字が4つつ書かれている 詳細未詳 2-82-6-3にみえる「徳直筆」と同一のものカ	
2-82-6-3	天中地	年月日未詳	横切紙	1枚	「三三九九八十一世界の八十一月徳の子ふん也 一二三三三九七七よろこび」と上書された小封筒に紙片が入っている 神道月徳教会の御守カ	2-82-6-2の中に巻込
2-82-6-4	〔御守〕	年月日未詳		1包		2-82-6-2の中に巻込
2-82-7	〔雨宝童子図〕	年月日未詳		63.0×29.2 1枚		刷り物
2-83	〔金借用証・預り証等一括〕			1纏め(15通2枚1包)		2-83-1~18まで一纏め 箱入一括 箱のフタに「貸金証」の貼紙あり
2-83-1	宅地売渡証券	明治17年12月25日	半・縦	1通	売主阿賀崎村小谷清七郎・証人同村小谷文三郎→同村一元徳 備中国浅口郡柏島字戸山の宅地について	戸長西山十郎の奥書あり
2-83-2	〔金借用証一括〕			1包(7通)		2-83-2-1~7まで一包 包紙入り一括 (包紙上書)「研究スベキ分証券入」
2-83-2-1	金借用証券	明治15年午10月4日	堅切紙	1通	佐々木恒七→小谷清七郎 金10円の借用証	
2-83-2-2	差入申年賦証券	明治10年丑10月18日	縦紙	1通	上房郡高梁町借用主富永慶蔵・受人柳井新吉→赤崎新田村小谷清七郎 金10円13銭の借入金を年賦で返済することを約束したもの	
2-83-2-3	金子借用証券	明治10年丑10月1日	縦紙	1通	高梁下町安田百太郎→阿賀崎村小谷清七郎 金70円を借用し来る2月28日までに元利とも返済する旨約束したもの	

2-83-2-4	借用証	(明治カ)16年7月	堅切紙	1通	阿賀郡新見中村東カ→小谷清七郎 買物代勘定残金を本年8月31日までに返済する旨約束したもの	
2-83-2-5	金子借用証文之事	明治9年子1月15日	堅紙	1通	上舟尾村小原莊吉→小谷清七郎 金30円を借用し12月20日までに2回に分けて返済することを約束したもの	
2-83-2-6	証(買物代借用証)	明治16年8月30日	堅紙	1通	浅口郡柏島村川上延治郎→小谷清七郎 買物代金15円42銭を借用し、明治17年1月30日までに支払う旨約束したもの	
2-83-2-7	金借用証券	明治11年9月17日	堅紙	1通	阿賀郡中津井村借主森信友吉・浅口郡柏崎村証人森信多喜→浅口郡阿賀崎村小谷清七郎 金15円を借用し、8期に分けて返済する旨約束し	
2-83-3	副証券之事	明治15年1月28日	堅紙	1通	借主小野幸蔵・証人林喜平→小谷清七郎・江口喜平治 期限内に借金返済が不可能になった場合に転売・換金対象とする物品を書き上げたもの「私之商業金物品有姿之低一切不残」「衣類家具一切不残」など	罫紙
2-83-4	証(金受領証)	明治17年2月17日	横切紙	1通	沼隈郡鞆港桑田為口→浅口郡玉島小谷清七郎 借金95円のうち九ヶ年賦金10円55銭6厘分の受領証	
2-83-5	[包紙]	年月日未詳		1枚		(上書)「返済証券入」
2-83-6	煎子代金借用証	明治24年2月1日	堅切紙	1通	小谷文三郎→磯田栄太郎 金46円を借用し、本年3月1日までに返済する旨約束したもの	墨線にて抹消
2-83-7	金子借用証	明治35年旧12月13日	堅紙	1通	浅口郡玉島町借用主小谷文三郎・証人柚木正男・同田中定右衛門→太田愛太郎 金30円を借用し、本年12月晦日までに元利とも返済する旨約	押印箇所が破り取られている 墨線による抹消あり
2-83-8	返済証	明治25年10月30日	堅紙	1通	浅口郡阿賀崎村共益銀行頭取丸川新平→浅口郡阿賀崎村本籍当時大坂市北区老松町三丁目寄留一元徳 阿賀崎村の地所一筆を抵当に金199円80銭を借りていた一元徳が、元利とも返済をすませたことに対して	
2-83-9	[金銭書付]	年月日未詳	16.7×20.9	1枚	中塚長十郎に関する何らかの金額を表にしたもの 詳細未詳 裏面に明治7～37年の収入印紙に関するメモあり	洋紙 罫線入りノートを破り取ったものカ
2-83-10	年賦借用証券	明治21年3月19日	堅紙	1通	年賦借用主小谷清七郎・証人小谷文三郎→仁科弥曾七 金200円を借用し、一時の返済は難しいので10ヶ年賦で支払う旨約束したもの	押印部分が破り取られている 墨線による抹消あり
2-83-11	土蔵借受証書	明治30年6月1日	堅紙	1通	阿賀崎村小谷文三郎・証人小谷清七郎→東盛彰治 東盛所有の「新蔵」と呼ばれる土蔵を借用し、蔵敷賃1ヶ年42円を納めることを約束したもの	押印部分が破り取られている 墨線による抹消あり
2-83-12	金員借用証	明治29年9月30日	堅紙	1通	連帯借用主小谷文三郎・同小谷生治・保証人柚木茂→松浦広治 費用につき金を借用し、来る11月30日までに延滞なく返済する旨約束する	押印部分が破り取られている 墨線による抹消あり
2-83-13	証(金借用証)	明治23年4月5日	横紙	1通	小谷清七郎→白神為助 金30円を借用し、本年12月31日までに約定証と引き替えに返済する旨約束する	墨線による抹消あり
2-83-14	記(代金借用証)	明治33年旧10月27日	横紙	1通	備中玉島町小谷文三郎→小豆島淵崎村松本房吉 麦稈代金59円83銭9厘を来る11月27日に支払う旨約束したもの	墨線による抹消あり 裏面に11月28日付の代金支払分について記入あり
2-83-15	副証書(物品預り証)	明治18年1月10日	堅切紙	1通	小谷文三郎→共益社支配人 いりこ・すぼし・小手塩昆布などの物品を共益社封印のまま預ることを証したもの	
2-83-16	金員借用証	明治29年9月30日	堅切紙	1通	連帯借用主小谷清三郎・文三郎・保証人柚木茂→松浦広治 金100を借用し、来る11月30日までに返済すること、延滞の場合は家財道具一切を売却して弁償することを約束したもの	押印部分が破り取られている 墨線による抹消あり
2-83-17	金借用証書	明治15年旧3月9日	堅紙	1通	阿賀郡新見村金借用主西坪万五郎・証人岩井専五郎→浅口郡玉島港小谷清七郎 金29円を借用し、7月20日・9月20日に半分づつ返済する旨	
2-83-18	借用手形之事	明治7年8月3日	堅紙	1通	成羽大杉カ右市郎・かつ見屋平助→地頭屋清造 金10円を借用し、当晦日までに返済する旨約束したもの	
2-84	[租税領収書・納付通知類一括]			1袋(4纏め3括り)		2-84-1～7まで袋入一括 (袋上書)「明治廿三年 酢御通 桑田為口 小谷清七郎様」
2-84-1	[租税等領収書一括]			1纏め(22通1纏め)		2-84-1-1～23までもと巻き込み一括
2-84-1-1	証(募金受領証)	明治8年8月8日	横切紙	1通	浅口郡阿賀崎戸長三宅最平・副戸長萱谷半十郎→小谷清七郎 一ノ口浚流募金2円50銭の受領証	
2-84-1-2	明治十年地租区費金請取通	明治10年	横折紙	1通	阿賀崎副戸長三宅最平→南町小谷清七郎 税金の領収書	
2-84-1-3	記(租税領収書)	年未詳12月20日	横切紙	1通	副戸長菊池太平→(宛名なし) 地番書替証印税の領収書	
2-84-1-4	証(租税領収書)	(明治)12年9月9日	横切紙	1通	副戸長菊池太平→小谷清七郎 11年度戸別割税の領収書	
2-84-1-5	証(租税領収書)	(明治)12年3月9日	横切紙	1通	副戸長菊池太平→小谷清七郎 11年度地方税の領収書	
2-84-1-6	記(租税領収書)	(明治)12年2月2日	横切紙	1通	副戸長菊池太平→小谷清七郎 11年度戸別割税の領収書	
2-84-1-7	証(租税領収書)	(明治)12年3月2日	横切紙	1通	副戸長菊池太平→小谷清七郎 12年度前半船税の領収書	
2-84-1-8	証(租税領収書)	(明治)12年3月2日	横切紙	1通	副戸長菊池太平→小谷清七郎 12年度前半地方雑税の領収書	
2-84-1-9	記(租税領収書)	(明治)12年2月2日	横切紙	1通	副戸長菊池太平→片口重米 村費・地方税の領収書	
2-84-1-	記(租税領収書)	(明治)12年2月2日	横切紙	1通	副戸長菊池太平→小谷清七郎 荷車税の領収書	
2-84-1-	[租税領収書]	明治11年2月5日	横切紙	1通	副戸長安藤鞆彦→小谷清七郎 砂糖商営業税の領収書	
2-84-1-12	明治十一歳地租区費金請取通	明治11年	横折紙	1通	第一役場詰戸長三宅最平・阿賀崎村副戸長安藤鞆彦→南町小谷清七郎 税金の領収書	
2-84-1-	証(租税領収書)	(明治)12年5月9日	横切紙	1通	副戸長菊池太平→小谷文三郎 11年度戸別割税の領収書	
2-84-1-	[租税領収書]	明治11年3月5日	横切紙	1通	副戸長安藤鞆彦→小谷清七郎 雑商営業税の領収書	
2-84-1-15	明治十一年地租区費金請取通	明治12年1月21日	横折紙	1通	第十一役場詰戸長吉田次郎・同西山武治・柏崎村副戸長小幡小七郎→小谷清蔵 税金の領収書	
2-84-1-	[租税領収書]	明治11年8月23日	横切紙	1通	副戸長安藤鞆彦→小谷清七郎 明治11年後半年県税の領収書	
2-84-1-	[租税領収書]	明治11年8月23日	横切紙	1通	副戸長安藤鞆彦→小谷清七郎 明治11年後半年国税(荷車税)の領収	

2-84-1-	証(租税領収書)	明治11年5月12日	縦切紙	1通	中買町三宅→白神治平 明治11年前半年の地子金53銭2厘の領収書	内側に2-84-1-19が巻き込まれていた
2-84-1-	証(租税領収書)	明治9年1月19日	横切紙	1通	浅口郡阿賀崎戸長三宅最平・同萱谷竹芝→小谷清七郎 租税の領収書	2-84-1-18の内側に巻き込まれていた
2-84-1-	明治十二年地券税受取通	明治12年	横折紙	1通	阿賀崎村戸長菊池太平→納人小谷清七郎 租税の領収書	
2-84-1-	記(租税領収書)	(明治)12年1月6日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 11年地方税の領収書	
2-84-1-22	明治十年地租区費金請取通	明治10年	横折紙	1通	第十一役場詰戸長吉田次郎・同西山武治・柏崎村副戸長西山与十郎→納人阿賀崎村小谷清蔵 租税の領収書	
2-84-1-23	[租税領収書一括]			1纏め(4通1綴)		2-84-1-23-1~5までもと折りたたみ一括
2-84-1-23-1	[租税領収書]	明治11年9月20日	横切紙	1通	副戸長安藤鞆彦→小谷清七郎 明治11年後半年国税(船税)の領収書	
2-84-1-23-2	[金受領証]	(明治)12年2月2日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎	
2-84-1-23-3	証(租税領収書)	明治18年1月7日	横切紙	1通	浅口郡阿賀崎戸長三宅最平→小谷文三郎 地券証印税の領収書	印刷様式紙
2-84-1-23-4	[租税請求書]	明治9年	横切紙	1通	第十一大区浅口郡小十九区勇崎村事[]所→小谷清蔵 地租金十分ノ一を9月25日までに納付するよう通知したもののカ	
2-84-1-23-5	[租税領収書綴]	明治14年3月28日~15年2月17日		1綴	柏崎村戸長林宏一郎→小谷清七郎 地方税・地価割・公儲金などの租税領収書7通を合綴したもの	
2-84-2	[各種領収書一括]			1纏め(48通1本1纏め)		2-84-2-1~50までもと折りたたみ一括
2-84-2-1	[租税請求書・領収書一括]			1纏め(8通)		2-84-2-1-1の内側に2-84-2-1-2~8まで一括挟み込み
2-84-2-1-1	明治十三年地券税金請取通	明治13年	横折紙	1通	阿賀崎村戸長菊池太平→小谷清七郎 租税の領収書	
2-84-2-1-2	[租税請求書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 地券税・地価割の額と納期限を示したもの	2-84-2-1-1の内側に挟み込み
2-84-2-1-3	[租税請求書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 地券税の額と納期限を示したもの	2-84-2-1-1の内側に挟み込み
2-84-2-1-4	[租税請求書]	年月日未詳	横切紙	1通	勇崎村→小谷清蔵 地価割一期の額と納期限を示したもの	2-84-2-1-1の内側に挟み込み
2-84-2-1-5	[租税請求書]	年月日未詳	横切紙	1通	勇崎村→小谷清造 13年地券税二期・地方税地価割の額と納期限を示したもの	2-84-2-1-1の内側に挟み込み
2-84-2-1-6	証(租税領収書)	明治13年10月24日	横切紙	1通	浅口郡勇崎村戸長中藤敬吉→小谷清造 地方税二期の領収書	印刷様式紙 2-84-2-1-1の内側に挟み込み
2-84-2-1-7	証(租税領収書)	明治13年10月24日	横切紙	1通	浅口郡勇崎村戸長中藤敬吉→小谷清蔵 地券税二期の領収書	印刷様式紙 2-84-2-1-1の内側に挟み込み
2-84-2-1-8	証(租税領収書)	明治13年8月17日	横切紙	1通	浅口郡勇崎村戸長中藤敬吉→小谷清蔵 地券税一期の領収書	印刷様式紙 2-84-2-1-1の内側に挟み込み
2-84-2-2	証(土木費領収書)	(明治)13年2月22日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 12年土木費の領収書	
2-84-2-3	証(租税領収書)	明治13年1月14日	横切紙	1通	浅口郡勇崎村戸長中藤敬吉→小谷清蔵 明治12年三期地価割の領収	印刷様式紙
2-84-2-4	証(租税領収書)	(明治)13年2月4日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 13年前半荷車税の領収書	
2-84-2-5	証	(明治)13年2月3日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 13年前半砂糖商売税の領収書	
2-84-2-6	証(租税領収書)	(明治)13年2月3日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 租税(12年戸数割)の領収書	
2-84-2-7	証(租税領収書)	(明治)13年2月3日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷文三郎 租税(12年戸数割)の領収書	
2-84-2-8	証(租税領収書)	(明治)13年2月3日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 租税(地価割)の領収書	
2-84-2-9	証(租税領収書)	(明治)13年2月3日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 租税(13年前半船税)の領収書	
2-84-2-	[租税領収書]	明治16年4月23日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→小谷清三郎 山野税ほかの領収書	印刷様式紙
2-84-2-	[租税領収書]	明治16年8月28日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→小谷清三郎 16年地租の領収書	
2-84-2-	[租税領収書]	明治16年5月30日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→小谷清三郎 16年地方税の領収書	
2-84-2-	[租税領収書]	明治11年2月24日	横切紙	1通	浅口郡柏崎村副戸長西山与十郎→小谷清蔵 明治10年区費の領収書	
2-84-2-	記	(明治)11年12月6日	横継紙	1通	戸長菊池太平→口口重米 地方税の領収書	
2-84-2-	証(租税領収書)	(明治)12年8月3日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 租税(戸数割)の領収書	
2-84-2-	証(租税領収書)	(明治)12年8月3日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷文三郎 租税(戸数割)の領収書	
2-84-2-	[租税請求書]	明治8年	横切紙	1通	(印章読めず)→小谷清三 地租金の額と納期限を示したもの	
2-84-2-	証(租税領収書)	(明治)12年7月12日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 地方税の領収書	
2-84-2-	証(租税領収書)	(明治)12年7月12日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 荷車税の領収書	
2-84-2-	証(租税領収書)	(明治)12年7月12日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 船税の領収書	
2-84-2-	証(租税領収書)	(明治)12年7月12日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 荷車税の領収書	
2-84-2-22	証(租税領収書)	(明治)12年10月20日	横切紙	1通	戸長菊池太平→石井兼吉 租税(適宜割)の領収書	
2-84-2-23	証(租税領収書)	(明治)12年10月20日	横切紙	1通	戸長菊池太平→石井兼松 租税(戸数割)の領収書	
2-84-2-24	証(租税領収書)	(明治)12年10月20日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷文三郎 租税(適宜割)の領収書	
2-84-2-25	証(租税領収書)	(明治)12年10月20日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 租税(適宜割)の領収書	

2-84-2-26	証(租税領収書)	(明治)12年10月20日	横切紙	1通	戸長菊池太平→石井喜平 租税(戸数割)の領収書	
2-84-2-	受取之証	明治10年8月22日	横切紙	1通	浅口郡柏崎村副戸長林宏一郎→小谷清七郎 地租の領収書	印刷様式紙
2-84-2-	[租税領収書]	明治11年4月	横切紙	1通	副戸長安藤頼彦→小谷清七郎 船税の領収書	
2-84-2-	証(租税領収書)	明治11年1月13日	横切紙	1通	阿賀崎村副戸長三宅最平→小谷清七郎	
2-84-2-	証(租税領収書)	明治10年6月25日	横切紙	1通	廿四小区事務所→小谷清七郎 県税の領収書	
2-84-2-	証(村費領収書)	明治12年9月20日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 予防費の領収書	
2-84-2-	証(租税領収書)	(明治)12年7月26日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 租税(地価割)の領収書	
2-84-2-	明治十二年分地券税地方税上納通記(租税領収書)	明治12年	横折紙	1通	柏崎村戸長西山武治→小谷清蔵 租税の納税通帳	
2-84-2-	記(租税領収書)	明治14年1月29日	横切紙	1通	戸長林宏一郎→小谷清七郎	
2-84-2-35	記(租税領収書)	(明治)14年11月29日	横切紙	1通	戸長林宏一郎→小谷清七郎 租税(地価割)の領収書	
2-84-2-	[租税領収書]	明治13年12月12日	横切紙	1通	柏島村戸長林宏一郎→小谷清七郎	印刷様式紙
2-84-2-	証(租税領収書)	(明治)13年7月26日	横切紙	1通	戸長菊池太平→小谷清七郎 船税の領収書	
2-84-2-	[租税領収書]	明治12年8月23日	横切紙	1通	浅口郡柏島村戸長林宏一郎→小谷清七郎 地方税の領収書	印刷様式紙
2-84-2-	記(租税領収書)	明治13年12月7日	横切紙	1通	戸長中藤敬吉→小谷清三 地券税の領収書	
2-84-2-	[租税領収書]	明治12年10月29日	横切紙	1通	浅口郡柏島村戸長林宏一郎→小谷清七郎 地券税・地方税の領収書	印刷様式紙
2-84-2-	辛未御租税皆済金請取書	年月未詳27日	横切紙	1通	庄屋三宅安八郎・同見習鷹吉→小谷清七郎 永150文8分の領収書	
2-84-2-	西御貢金請取	明治7年1月30日	横切紙	1通	小廿四区会所→小谷清七郎 金47銭の領収書	
2-84-2-	証(租税領収書)	明治7年11月5日	横切紙	1通	副戸長三宅馬雄→小谷清七郎	
2-84-2-	証(区費領収書)	明治7年11月5日	横切紙	1通	阿賀崎副戸長三宅最平・同三宅馬雄→小谷清七郎	
2-84-2-	証(租税領収書)	明治7年11月5日	横切紙	1通	副戸長三宅最平→小谷清七郎	
2-84-2-	証(租税領収書)	明治10年10月14日	横切紙	1通	浅口郡柏崎村事務所→小谷清蔵	
2-84-2-47	受取之証	明治10年10月22日	横切紙	1通	浅口郡柏崎村副戸長不在二付代理保長西山与十郎→小谷清蔵 地租の領収書	
2-84-2-	[こより]	年月日未詳		1本		文書を括っていた紐と思われる
2-84-2-49	証(寄附金受領証)	(明治)12年8月28日	横切紙	1通	備中国浅口郡郷社羽黒神社事務所→小谷清七郎 本殿屋根換・道路修繕用の寄付金受領証	
2-84-2-	行運社株金受取仮証	明治13年1月5日	横切紙	1通	行運社出納長代理小幡金平→小谷清七郎 後日発券する株券の引換	
2-84-3	[租税等領収書・納付通知書一括]			1括り(9通)		2-84-3-1~9まで紙帯締め一括
2-84-3-1	証(租税領収書)	(明治)16年4月16日	横切紙	1通	戸長菊池太平→柚木仙治郎 書換証印税の領収書	
2-84-3-2	証(租税領収書)	明治15年6月22日	横切紙	1通	戸長菊池太平→石井喜代松	
2-84-3-3	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 16年分適宜割の金額と納期限を示したもの	短冊状
2-84-3-4	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 営業税の金額などを示したもの	短冊状
2-84-3-5	[土木費納付通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 土木費の金額と納期限を示したもの	短冊状
2-84-3-6	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 租税(地価割)の金額と納期限を示したもの	短冊状
2-84-3-7	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷文三郎 16年分適宜割の金額と納期を示したもの	短冊状
2-84-3-8	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 戸数割の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-3-9	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷文三郎 戸数割の金額と納期限を示したもの	短冊状
2-84-4	[租税領収書一括]			1括り(5通)		2-84-4-1~5まで紙帯締め一括 紙帯に「柏しま戸長」と記入あり
2-84-4-1	[租税領収書]	明治16年10月30日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→小谷清七郎 地租・地方税などの領収書	印刷様式紙
2-84-4-2	[租税領収書]	明治17年1月26日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→小谷清七郎 地方税の領収書	印刷様式紙
2-84-4-3	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	柏島村→小谷清七郎 山野地券税・証印税の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-4-4	[租税領収書]	明治17年3月29日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→小谷清七郎	印刷様式紙
2-84-4-5	[租税領収書]	明治17年3月29日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→小谷清七郎 地券1枚・山野税の領収書	印刷様式紙
2-84-5	[租税等納付通知書一括]			1括り(48通)		2-84-5-1~48まで紙帯締め一括
2-84-5-1	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷文三郎 12年度戸数割第2期の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-2	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 砂糖類商税の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-3	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	勇崎村→小谷清蔵 協議割の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-4	[土木費納付通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 土木費の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-5	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 12年戸数割第2期の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-6	[納税通知書]	(明治13年カ)	横切紙	1通	勇崎村→小谷清蔵 明治12年3期地価割の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-7	[納税通知書]	(明治12年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 12年度後半船税の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-8	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 地価割第3期の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-9	[納税通知書]	(明治12年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 12年度後半荷積小車税の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-	[納税通知書]	(明治12年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 12年度戸数割第1期の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-	[納税通知書]	(明治12年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷文三郎 12年度戸数割第1期の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-	[納税通知書]	(明治11年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 11年度戸数割の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-	[納税通知書]	(明治12年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 12年度地方税第1期の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-	[納税通知書]	(明治11年)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷文三郎 11年度戸数割の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 第3期の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 地価割第2期の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-	[納税通知書]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 地券税第2期の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-	[納税通知書]	(明治13年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 12年地方税の金額・納期限を示したもの	短冊状
2-84-5-	[納税通知書]	(明治12年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 12年適宜割の金額・納期限を示したもの	短冊状

2-84-5-	〔納税通知書〕	(明治12年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 12年前半年分雑商税の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	(明治10年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷文三郎 10年戸割の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	(明治12年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 12年前半年分荷車税の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	(明治11年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 11年地方税の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	(明治11年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 10年戸割の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	(明治10年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷文三郎 10年適宜割の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔区費納付通知書〕	子年	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 子区費の金額を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 船税の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	記(地券用紙代納付通知書)	年月日未詳	横切紙	1通	柏崎村→小谷清蔵 地券用紙代の額・納期限を示した	
2-84-5-	〔地券用紙代納付通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎	短冊状
2-84-5-	〔丈量費等納付通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	第十七大区浅口郡小十九区勇崎村事務取扱所→小谷清蔵	
2-84-5-	〔金納付通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清蔵「皆済」の記入あり	
2-84-5-32	記(納税通知書)	年月日未詳	横切紙	1通	第十七大区浅口郡小十九区勇崎村事務取扱所→小谷清蔵 子地租金の金額・納期限を示した	
2-84-5-	〔浚流有志金納付通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎	短冊状
2-84-5-	記(租税領収書)	酉年6月	横切紙	1通	勇崎村戸長中藤→玉島清蔵 地券証印税の領収書	
2-84-5-	〔納税通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 砂糖類商税の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 適宜等級割の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	(明治13年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷文三郎 13年度戸数割第1期の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	(明治13年カ)	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 13年度戸数割前半の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 地価割第1期の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷文三郎 適宜等級割の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 船税の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 地券税3期の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清蔵 地券税第3期の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 証印税の金額等を示した	短冊状
2-84-5-	〔水災費納付通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 水災費地価割の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔水災費納付通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷文三郎 水災費戸数割の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔納税通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 営業税の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-5-	〔水災費納付通知書〕	年月日未詳	横切紙	1通	(差出なし)→小谷清七郎 水災費戸数割の金額・納期限を示した	短冊状
2-84-6	〔一元徳関係租税領収書・納付通知書一括〕			1纏め(33)		2-84-6-1~33まで折りたたみ一括
2-84-6-1	〔租税領収書〕	明治7年8月27日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→一元徳 公儲金前期ほかの領収書	印刷様式紙
2-84-6-2	〔土地調査費領収書〕	明治20年1月27日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎・用掛小幡小七郎→一元徳 19年土地調査費の領収書	印刷様式紙
2-84-6-3	〔村費領収書〕	明治20年7月26日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→一元徳 20年村費前半地価割の領収書	印刷様式紙
2-84-6-4	〔村費領収書〕	明治19年12月31日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→一元徳 19年度後半村費の領収書	印刷様式紙
2-84-6-5	〔村費領収書〕	明治19年8月11日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→一元徳 19年村費前半の領収書	印刷様式紙
2-84-6-6	〔租税領収書〕	明治19年8月27日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→一元徳 19年公儲金・地方税の領収書	印刷様式紙
2-84-6-7	〔租税領収書〕	明治20年2月23日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→一元徳 19年非常臨時地方税・20年地租割1期の領収書	印刷様式紙
2-84-6-8	〔租税領収書〕	明治19年10月29日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→一元徳 10ヶ年賦繰上返納・19年度地方税第3期の領収書	印刷様式紙
2-84-6-9	〔租税領収書〕	明治22年10月31日	横切紙	1通	阿賀崎村長三宅最平→一元徳 明治22年第2期分宅地租の領収書	印刷様式紙
2-84-6-10	〔租税領収書〕	明治22年2月25日	横切紙	1通	浅口郡柏島村戸長西山与十郎→浅口郡阿賀崎村納入一元徳 明治22年度地方税地租割第1期の領収書	印刷様式紙
2-84-6-11	〔村費領収書〕	明治22年4月3日	横切紙	1通	浅口郡柏島村戸長西山与十郎→浅口郡阿賀崎村納入一元徳 明治22年度前半期村費地価割の領収書	印刷様式紙
2-84-6-12	〔村費領収書〕	明治21年1月19日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎代理用掛世良多和太→一元徳 21年村費〇〇地価割の領収書	印刷様式紙
2-84-6-13	〔村費領収書〕	明治21年5月16日	横切紙	1通	浅口郡柏島村戸長西山与十郎→浅口郡阿賀崎村納入一元徳 明治21年度前半期村費地価割の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	〔租税領収書〕	明治20年6月31日	横切紙	1通	戸長三宅最平→一元徳 宅地租の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	〔租税領収書〕	明治20年10月31日	横切紙	1通	戸長三宅最平→一元徳 宅地租の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	証(租税領収書)	明治20年11月11日	横切紙	1通	浅口郡阿賀崎村戸長三宅最平→一元徳 二十年度公儲金の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	証(租税領収書)	明治20年11月11日	横切紙	1通	浅口郡阿賀崎村戸長三宅最平→一元徳 二十年度地方税地租割の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	証(地押費領収書)	明治21年2月15日	横切紙	1通	浅口郡阿賀崎村三宅最平→一元徳 地押費の領収書	印刷様式紙
2-84-6-19	証(村費領収書)	明治21年2月15日	横切紙	1通	浅口郡阿賀崎村戸長三宅最平→一元徳 明治二十年度村費地価割の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	〔租税領収書〕	明治21年2月26日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→一元徳 二十一年度地方税地租割の領収書	印刷様式紙
2-84-6-21	証(租税領収書)	明治21年5月2日	横切紙	1通	浅口郡阿賀崎村戸長三宅最平→小谷文三郎 明治二十一年度地方税営業税の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	〔租税領収書〕	明治21年8月20日	横切紙	1通	戸長西山与十郎→一元徳 宅地租の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	〔租税領収書〕	明治21年8月20日	横切紙	1通	戸長西山与十郎→一元徳 畑地租の領収書	印刷様式紙
2-84-6-24	〔租税納付通知書〕	明治21年8月15日	横切紙	1通	浅口郡柏島村戸長西山与十郎→一元徳 明治二十一年度地方税地租割を納めるよう通知したもの	印刷様式紙
2-84-6-	〔土地調査費領収書〕	明治21年8月20日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→一元徳	印刷様式紙

2-84-6-	[租税領収書]	明治20年10月26日	横切紙	1通	柏島・勇崎村戸長西山与十郎→一元徳 二十年度地方税地租割の領収書	印刷様式紙
2-84-6-27	[租税領収書]	明治20年10月26日	横切紙	1通	戸長西山与十郎代理用掛世良多和太→一元徳 明治20年第2期分宅地租の領収書	印刷様式紙
2-84-6-28	[租税領収書]	明治20年10月26日	横切紙	1通	戸長西山与十郎代理用掛世良多和太→一元徳 明治20年第2期分畑地租の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	[租税領収書]	明治21年10月26日	横切紙	1通	戸長西山与十郎→一元徳 明治21年第2期分畑地租の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	[租税領収書]	明治21年10月26日	横切紙	1通	戸長西山与十郎→一元徳 明治21年第2期分宅地租の領収書	印刷様式紙
2-84-6-31	[租税納付通知書]	明治21年10月9日	横切紙	1通	浅口郡柏島村戸長西山与十郎→浅口郡阿賀崎村納人一元徳 明治21年度地方税地租割を納めるよう通知したもの	印刷様式紙
2-84-6-	[租税領収書]	明治20年8月27日	横切紙	1通	戸長西山与十郎→一元徳 明治20年第1期分畑地租の領収書	印刷様式紙
2-84-6-	[租税領収書]	明治20年8月27日	横切紙	1通	戸長西山与十郎→一元徳 明治20年第1期分宅地租の領収書	印刷様式紙
2-84-7	[一元徳関係租税領収書一括]			1纏め(9通)		2-84-7-1~9まで折りたたみ一括
2-84-7-1	[租税領収書]	明治24年4月20日	横切紙	1通	収入役三宅正四郎→一元徳 明治24年度村税地価割1期の領収書	印刷様式紙
2-84-7-2	[租税領収書]	明治24年1月30日	横切紙	1通	収入役三宅正四郎→一元徳 明治23年度村税制限超過地価割の領収書	印刷様式紙
2-84-7-3	[租税領収書]	明治23年8月29日	横切紙	1通	村長三宅最平→一元徳 23年度地方税地租割2期の領収書	印刷様式紙
2-84-7-4	[租税領収書]	明治23年8月29日	横切紙	1通	収入役三宅正四郎→一元徳 明治23年第1期分山野地租の領収書	印刷様式紙
2-84-7-5	[租税領収書]	明治23年8月29日	横切紙	1通	収入役三宅正四郎→一元徳 明治23年度村税地価割2期の領収書	印刷様式紙
2-84-7-6	[租税領収書]	明治23年8月29日	横切紙	1通	収入役三宅正四郎→一元徳 明治22年度村税制限超過地価割の領収書	印刷様式紙
2-84-7-7	[租税領収書]	明治23年8月29日	横切紙	1通	収入役三宅正四郎→一元徳 明治23年度第1期分宅地租の領収書	印刷様式紙
2-84-7-8	[租税領収書]	明治24年3月31日	横切紙	1通	収入役三宅正四郎→一元徳 24年度地方税地租割第1期の領収書	印刷様式紙
2-84-7-9	[租税領収書]	明治24年3月31日	横切紙	1通	村長三宅最平→一元徳 23年度地方税地租割臨時追加の領収書	印刷様式紙
2-85	[善を悪に化す規則について]	年月日未詳	縦紙	1枚	一元徳生照の言葉を書きとどめたもの	現状二つ折り
2-86	[語彙書付]	年月日未詳	横折紙	1枚	洗滌・煙管通し・とろてん・将棋などの語について独特な解説をつけたもの	
2-87	こよみのおもて	明治31年12月吉日	半・縦	1冊	東盛豊の著作 子の宿り月・出生日などの善悪・吉凶について記したもの	罫紙を使用
2-88	[月乃大神信仰について]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	人の「氣」「心」「魂」を月乃神の分霊と考え、月乃神を「親神」として祭ることについて説いたもの 神道月徳教会関連の書物カ	罫紙を使用
2-89	乍恐奉返納懇願上候御事	年月日未詳	縦切紙	1枚	県内浅口郡阿賀崎村の小野幸吉・東盛源蔵が『仮名付古事記』を読んで改心し、「驕りヶ間敷」ものを全て廃棄したことなどを記す	後欠 前半部分のみ
2-90	[金賃借証書類・書状等一括]			1纏め(14通 2纏め)		2-90-1~16まで巻き込み一括
2-90-1	[小原左衛門書状]	年未詳6月17日	横継紙	1通	宛名欠(沢田カ)東江の手本を受け取ったことを伝え、縹紙・板張・生漉白半折・浅黄半折などの紙を送ってくれるよう依頼し、「お養殿」の体調不良を見舞ったもの	紙背に「¥500」と値段が鉛筆で記されている 元は当文書によって以下2-90-16までの文書が巻かれていた
2-90-2	[一元徳宛佐久間果園書状]	年月日未詳	横継紙	1通	たね→徳 歌を詠むのが難しいのではなく、良い歌を詠むのが難しいのだ、完全なる金玉を得るには只努めるしかない、と教示したもの	
2-90-3	差入伸定約書	明治14年12月29日	縦紙	1通	勇崎村原安太郎父定約主原松治郎・証人佐藤利八・小幡弥十郎・奉公人原安太郎→小谷清七郎 証券を担保に借りていた金を期日までに返済できないので、息子の安太郎を小谷商店の雇人として奉公させ、その賃金で借金を補てんする旨、取り決めたもの	
2-90-4	相渡申貸地証文之事	安政2年12月	縦継紙	1通	貸主新屋貞太郎・証人倉吉→丸屋治兵衛 当暮年貢の支払いに差し詰まったため、1ヶ年季で中田25歩を貸しつけ、銀180目を借用したもの	庄屋茂兵衛の奥書あり
2-90-5	差入申銀子預り手形	文久元年11月	横継紙	1通	中村屋元吉・証人富次郎→地頭屋清蔵 銀46匁を預り、その返済期限を定めたもの	
2-90-6	年賦借用証券	明治10年12月19日	26.9×19.0	1通	浅口郡水江村石井和三郎→井ノ上清次郎 金1円6銭を借用し、3回に分割して返済する旨約束したもの	「証券界紙」と題した罫紙を使用
2-90-7	金子借用証	明治10年11月17日	27.5×39.4	1通	浅口郡柏崎村借主富山辰蔵→小谷清七郎・小幡弥十郎 金1円41銭を借用し、3回に分割して返済する旨約束したもの	「証券界紙」と題した罫紙を使用
2-90-8	記(金受領証)	年未詳9月21日	横切紙	1通	柚木盛平→地頭屋清七郎 借用分の金15円の受取書	
2-90-9	記(新聞代支払明細書)	(明治)15年9月29日	23.4×15.9	1通	大阪新報社→小谷清七郎 新聞代と郵便税の支払明細書	「大阪新報社用紙」と題する罫紙を使用
2-90-10	相渡申譲り証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	柳屋源吉→(宛名なし) 貸家を某に譲渡したもの	
2-90-11	売渡申証文之事	明治3年6月	縦紙	1通	売主浅井・代判道越原田・証人光蔵→柏島村富太郎 家1軒を売却し、銀600目を受け取ったもの	下部汚損あり
2-90-12	記(金渡し証)	年未詳4月16日	横継紙	1通	妹尾一三郎→小谷清七郎 小谷氏が借金の抵当に差し入れた株券の値段から借金の額を引いた差額6円36銭を渡したもの	
2-90-13	[香西八百十郎貸付金関係証書一括]			1纏め(2通)		2-90-13-1~2まで折りたたみ一括
2-90-13-1	利子金受取証	明治26年11月14日	縦切紙	1通	香西八百十郎→小谷多祢 借金の利息金受領証	
2-90-13-2	証(貸付金返済残額通知書)	明治26年4月14日	縦紙	1通	浅口郡阿賀崎村香西八百十郎→小谷多祢 明治25年12月12日に貸し付けた金の残り返済分を示したもの	2-90-13-1の内側に折り込み
2-90-14	[受領証一括]			1纏め(2通)		2-90-14-1~2まで折り込み一括
2-90-14-1	記(金受領証)	午年10月31日	横切紙	1通	長尾本田辺→阿賀崎福田殿御取次小谷清七郎 元利324円を受け取り、証書の返却を済んだことを証したもの	
2-90-14-2	覚(証券受領証)	明治14年10月30日	横切紙	1通	喜多保次郎→小谷清七郎 金3,300円分の預り証券の受取書	2-90-14-1の間に挟み込み
2-90-15	金借用証書	明治10年11月18日	28.2×20.3	1通	浅口郡柏崎村寄留借主原田新兵衛→小谷清七郎・小幡弥十郎 金3円20銭を借用し、明治12年3月までに返済する旨約束する	「証券界紙」と題した罫紙を使用
2-90-16	金子年賦借用証	明治11年9月8日	26.9×19.1	1通	川上郡成羽村借用主仁後繁吉・同受人仁後清一郎→小谷清七郎 金3円を借用し、3回に分けて返済する旨約束したもの	「証券界紙」と題した罫紙を使用

2-91	千五百御統上中下合冊	明治19年7月10日	美・竪	1冊	福岡県土佐佐間種次郎(編) 一元徳(写) 萬葉集・八代集・十三代集・千五百番歌合・堀川院百首から秀歌を集めた私歌集		
2-92	乍恐奉歎願上候御事	明治2年3月4日	竪紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎新田一元徳 天皇の東京移転を引き留めてくれるよう、有栖川宮・三条右大臣・島津大守様に懇願したもの	案文	
2-93	乍恐奉願上候御事	明治元年12月8日	竪紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎新田村一元徳→京都府御役所 上京七番組一条通千本西へ入烏丸町川端智玄宅に同意の者三人と旅宿している旨を届け出したもの		
2-94	奉歎願上候御事	明治2年5月25日	竪紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎新田村民一元徳→行政官 何度か弁事御役所に建言を行ったが待たされてばかりで何の沙汰もないこと、急務の建言なので趣旨を察してほしいことを訴えたもの	案文	
2-95	従明治二十七年三月限至明治二十八年二月限 大阪堂島定期米高低表	明治27年3月～28年2月		28.1×40.5	1冊	備中玉島港南町小谷生治誌	「一元徳認可」とある グラフ形式の表
2-96	日月星運動方針稿	明治14年1月～15年2月	美・竪	1冊	一元徳(著)	罫紙を使用	
2-97	豊凶予知風雨晴寒暖比較表 全 草稿 附米相場高低線	明治15～24年	美・竪	1冊	日出山樵夫(一元徳)編輯	罫紙・様式紙を使用 人相占い1枚挟み込み	
2-98	従明治十四年至同式十年 降雨表	明治14～20年	半・竪	1冊		水損の痕跡あり「一元徳所蔵」とある 米相場高低線(グラフ)1枚挟み込み	
2-99	従明治二十三年二月限中期至明治二十八年一月限中期 大阪堂島定期米毎日高下線表	明治23年2月～28年1月		28.1×40.7	1冊	備中国玉島港南町小谷生治誌	「一元徳先生御認可」とある グラフ形式の表
2-100	従明治二十八年二月限至明治十九年一月限 大阪堂島定期米高低表	明治18年2月～19年1月			1冊	備中玉島港小谷生治謹書	「一元徳認可」とある グラフ形式の表
2-101	従明治十五年三月限至明治十六年二月限 大坂堂島定期米高低表	明治15年3月～16年2月		28.0×40.3	1冊	備中国浅口郡玉島湊小谷生治謹書	「一元徳認可」とある グラフ形式の表
2-102	従明治十八年三月限至明治十九年二月限 大坂堂島定期米高低表	明治18年3月～19年2月			1冊	備中浅口郡玉島港小谷生治謹書	「一元徳認可」とある グラフ形式の表
2-103	[定期米高低表]	明治27年1月～12月			仮1冊		2-95、2-99～102の大阪堂島定期米高低表に関連 グラフ形式の表
2-104	従明治廿三年一月限至明治廿六年十二月限 毎日大坂堂島定期米高低線表	明治23年1月～26年12月			1冊	備中玉島湊南町小谷生治謹書	「一元徳認可」とある グラフ形式の表
2-105	[相場高低表]	明治21年1月～12月	竪		仮1冊		罫紙を使用
2-106	従明治廿二年一月限至明治廿二年十二月限 大坂堂島定期米高低表	明治22年1月～12月			1冊	備中国浅口郡玉島港小谷生治謹書	「一元徳認可」とある グラフ形式の表
2-107	[曆]	明治12年	竪紙	1枚		明治12年1月1日から6月2日までの曆を記す	神戸裁判所岡山支庁管内玉島区裁判所の罫紙を使用
2-108	天保元年以来米価高低一覧表	年月日未詳	竪紙	1枚		備中国浅口郡阿賀崎村玉島港南町小谷生治識ス	『日本商業雑誌』の記事を謄写したもの
2-109	[相場高低表]	明治15年1月～12月	竪		仮1冊		罫紙を使用
2-110	[肥料関係書付]	年月日未詳			1枚	鶏屎について記したもの	罫紙の紙片を利用したもの
2-111	従明治二十七年二月限至明治二十八年一月限 大坂堂島定期米高低表	明治27年2月～28年1月			1冊	備中玉島港南町小谷生治誌	「一元徳認可」とある グラフ形式の表
2-112	大阪堂島定期米々相場明治廿五年度高低表	明治25年3月～26年2月			1冊	備中玉島湊小谷生治謹誌 表紙に「火乃中も刃乃上もいとわまし一元徳の教なりせば」ほかの和歌を記す	「一元徳認可」とある グラフ形式の表
2-113	明治廿三年度 大坂堂島定期米々相場高低線表	明治23年3月～24年2月			1冊	備中玉島港住小谷生治書 「米市の理きハむ己か身ハ遂ニ榮ゑて世にぞ立ちぬる」ほかの和歌が表紙に記されている	「一元徳認可」とある グラフ形式の表
2-114	従明治二十五年一月限至明治二十五年十二月限 大坂堂島定期米高低表	明治25年1月～12月			1冊	備中国浅口郡玉島湊住小谷生治謹書	「一元徳認可」とある グラフ形式の表
2-115	謹上献言 大草稿巻篇	慶応4年	美・竪	1冊	吉備之中ツ国浅口郡阿賀崎新田之御民十二神作兵衛こと一元徳の献白書草稿		
2-116	政体論建白	明治2年5月8日	美・竪	1冊	備中国倉敷県御支配所浅口郡阿賀崎新田村民一元徳→弁事御役所 「天地大革命ノ奥議」につき建言したもの	内題「乍恐奉懇願上候御事」	
2-117	上表 相添願書三通写	慶応3年	美・竪	1冊	備中国浅口郡阿賀崎新田村御民十二神作兵衛(一元徳)が慶応3年8月から12月にかけて倉敷御役所に提出した願書5通の写し		
2-118	[和歌三十首]	年月日未詳	半・竪		仮1冊	「寄国祝」の歌題で三十首の和歌を詠んだもの 「字足らず」「人の口まね也」などの朱点が入れている	
2-119	[題詠歌七十五首]	年月日未詳	半・竪		仮1冊	徳(一元徳)の詠作 円通寺八景・沙美浦十二景・寄国祝・山月入簾などの歌題で七十五首の和歌を詠んだもの 「と」のハズ」「いかにそや」「口上也」などの朱点と総評(佐久間果園の筆か)が加えられている	
2-120	[和歌雑纂]	年月日未詳	半・竪		仮1冊	一元徳やその周辺人物が折々に詠んだ和歌や歌合の結果表、一元徳宛の佐久間種次郎(果園)書状封紙など、和歌関連の資料を雑纂的に綴じ合わせたもの	
2-121	述懐	年月日未詳	半・竪		1冊	徳(一元徳)上 一元徳が和歌410首を詠んだもの 朱筆加点あり	
2-122	[佐久間果園歌集]	明治23年1月	半・竪		仮1冊	『花鳥月雪千首』『果園雑詠百首』などの果園の歌集を、一元徳が書写したもの	
2-123	詠草	年月日未詳	半・竪		1冊	津久井一雄・福田郁彦・西信基・一元徳・小谷生治らが「春月幽」などの歌題で101首の和歌を詠んだもの 朱筆加点あり	
2-124	詠草	年月日未詳	半・竪		1冊	徳(一元徳)上 「朝水鳥」などの歌題で一元徳が詠んだ和歌を集めたもの 朱筆加点あり	表紙右肩に朱筆にて「三」とある
2-125	詠草	年月日未詳	半・竪		1冊	徳(一元徳)上 「新樹」などの歌題で一元徳が詠んだ和歌を集めたもの 朱筆加点あり	表紙右肩に朱筆にて「二」とある

2-126	附録問答	年月日未詳	美・豎	1冊	邪・悪・乱が善・正・治に変化するとの主張に対する疑問に回答したもの 一元徳の著述カ	
2-127	誓約書	明治27年11月	豎紙	1通	広島県安芸国豊田郡東生口村武百八拾番地高橋惣助ほか2名→神道 管長従三位子爵稲葉正邦 終身教義に従い本局・月徳教会に対する義 務を果たすことを誓ったもの	
2-128	〔小谷生次規則〕	年月日未詳	豎紙	1枚	朝は3時に起床し、夜は適宜に寝て、日曜日と大祭日は休むことを定め 発行所大阪市北区中之島二丁目六拾五番屋敷渡辺松茂方寄留一元徳 売捌所梅原亀七・丸善書店・堂島中一丁目静雲堂	「一元徳認可」とある
2-129	広告〔『必勝指南米相場実録』チラシ〕	年月日未詳	17.5×21.9	1纏め(7枚)	助成物産会社発起代理神戸本店創立人森谷記→助成物産会社支店 幹事兼物産長一元徳 一元徳が第四等に確定したことを証したもの	活版印刷洋紙 7枚一括 2-19と同じもの
2-130	記	明治11年11月	19.4×26.8	1通	助成物産会社発起代理神戸本店創立人森谷記→一元徳 会社の純 益金高十分の一を授与する旨、約束したもの	切紙(豎+横) 包紙あり(包紙上書)「確定書巻通 一元徳」
2-131	記	明治11年11月5日	豎紙	1通	助成物産会社発起代理神戸本店創立人森谷記→一元徳 会社の純 益金高十分の一を授与する旨、約束したもの	
2-132	乍恐奉懇願上候御事	年月日未詳	豎切紙	1通	県内で建設される小学校に対し書籍の寄附を申し出たもの	宛名・差出人なし 一元徳の手跡と推定される
2-133	〔日記〕	明治15年6月26日 ～16年6月30日	半・豎	仮1冊	読書、小谷文三郎への按摩施術、新栄丸駒吉ほか回船の玉島着船・出 航・竹島屋の葬式など、日々の出来事を天候・相場とともに綴ったもの 一元徳の日記カ	罫紙を使用
2-134	大日本帝國紀元貳千五百四拾四年・西曆一千八百八拾 四年 従明治十七年七月至同十八年六月三十日日記	明治17年7月1日～ 18年6月30日	半・豎	1冊	玉島港への出入の回船、小谷生治の学校試験、古今集読書など、日々 の出来事を天候・相場・和歌とともに書き綴ったもの 一元徳の日記カ	罫紙を使用
2-135	大日本帝國紀元貳千五百五拾壹年ヨリ五拾貳年迄 明治 廿四年一月一日ヨリ同貳拾五年十二月三十一日迄 日誌	明治24年1月1日～ 25年12月31日	美・豎	1冊	一元徳の日記 初夢、風邪の病状や薬の服用状況、住吉山・円通寺山 への散歩(運動)、小谷生治を連れての琴平社参詣など、日々の出来事 を天候・相場とともに記す	罫紙を使用
2-136	建家譲渡証券	明治18年4月22日	美・豎	1綴	阿賀崎村譲渡人小谷清七郎・同村証人柚木仙次郎・同一元徳→小谷文 三郎 借金の抵当として共益社に差し入れた阿賀崎村八百九拾壹番地 ほかの建物を、負債引受を承知した小谷文三郎に譲渡したもの	戸長三宅最平の奥書あり 2-79に関連
2-137	〔一元徳献白書〕	慶応4年1月	豎継紙	1通	備中国浅口郡阿賀崎新田村御民十二神作兵衛(一元徳) 以前に提出し た献白書が開封もされずに差し戻されたことを受け、再度「天照日太御神 之御教にて惣而狂乱も誠ニ安く安らかに鎮り愈天地一枚に大善之恭平 に可致治定大一義」の奏聞を願ったもの	
2-138	〔和歌短冊〕	年月日未詳	35.1×6.0	1枚	表裏に和歌(推敲あり)を記す「大空のかすむけしきの春のかはよろつ 世までもかはらざりけり」ほか	
2-139	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.1×6.0	1枚	徳(一元徳)の詠作「咲にほふ黄金の花を手折つゝ友におくらむときハ 来にけり」	
2-140	〔和歌短冊〕	明治20年1月1日	35.1×6.1	1枚	「鳥がなくあつまの空に新しきけふの日のてにうまれ来た年」ほか 推敲 徳(一元徳)の詠作「咲にほふ黄金の花を手折なむ難波の宿へゆくそう れしき」詞書「我志望を得而大阪へゆくときによめる」	
2-141	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.1×6.0	1枚	徳(一元徳)の詠作「日の御子の国よし世よし世々よしと此にてよかに ゑまひ栄えむ」	
2-142	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.4×6.0	1枚	徳(一元徳)の詠作「山のはにいつる日をまれハ岩屋戸のあきし神世の こゝちこそすれ」ほか	
2-143	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.4×6.0	1枚	照主の詠作「君が代のすゝむ姿は池のみずよろず代までも浪は静まり」 徳(一元徳)の詠作「富士の根に朝日のいつるはつ夢をみしうれしきそお ぎとこころなき」	
2-144	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.3×6.0	1枚	短冊に筆記する際に使う下敷きカ 照主の詠作「池の水浪も静かに皇らきのすゝむみいつは天地とむ口」ほ 徳(一元徳)の詠作「あらたしき歳にあひけるうれしきハあまりあまりてお ぎとこころなし」ほか	
2-145	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.4×6.1	1枚	照主・徳(一元徳)の詠作「よしあしの口て有にし天地をひらきていつる 時も来にけり」ほか	
2-146	〔板〕	年月日未詳	37.2×6.4	1枚	照主・徳(一元徳)の詠作「咲にほふ黄金の花を手折なむ難波の宿へゆ くそうれしき」ほか	
2-147	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.3×6.0	1枚	照主ほかの詠作「神世よりかたき岩ほとすなほなる水に契りて千世も栄 ゑむ」ほか	
2-148	〔和歌短冊〕	明治25年1月1日	36.3×6.1	1枚	照主の詠作「根なからにぬきてやふかむ菖蒲草のきはにあまるさ月の けふは」	
2-149	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.2×6.0	1枚	照主の詠作「池の水浪も静に皇る君のすゝむみいつに天地とむ口」ほ 作者未詳「日のみこの国よし世よし世々よしとたみにこよかにゑまひ栄 えむ」ほか	
2-150	〔和歌短冊〕	年月日未詳	35.1×6.1	1枚	照主の詠作「さ月きていまかと待し菖蒲草ひかれて香をは四方に移さ 照世の詠作「わかれしハ夕への夢のこゝちし[破損]はたちあまりの年を へにけり」	
2-151	〔和歌短冊〕	明治カ20年	36.2×6.0	1枚	照主の詠作「君か世をおゝひにてらす初日ときそらもおもハぬ春にうて 裏に外国語が書かれている	
2-152	〔和歌短冊〕	明治20年1月1日・ 明治22年	35.1×6.1	1枚	照主の詠作「わかれしてはたちあまりの年ふれとけふにあひぬるこゝち こそすれ」	
2-153	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.3×6.1	1枚	照主の詠作「池の水浪は静によろづ代をかけてすゝまん大君のみよ」ほ	
2-154	〔和歌短冊〕	明治20年	35.1×6.1	1枚	照主の詠作「池の水浪は静によろづ代をかけてすゝまん大君のみよ」ほ	
2-155	〔和歌短冊〕	年月日未詳	35.1×6.1	1枚	照主の詠作「池の水浪は静によろづ代をかけてすゝまん大君のみよ」ほ	
2-156	〔和歌短冊〕	年月日未詳	35.1×6.1	1枚	照主の詠作「池の水浪は静によろづ代をかけてすゝまん大君のみよ」ほ	
2-157	〔和歌短冊〕	(明治)20年	36.3×6.0	1枚	照主の詠作「池の水浪は静によろづ代をかけてすゝまん大君のみよ」ほ	
2-158	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.2×6.0	1枚	照主の詠作「池の水浪は静によろづ代をかけてすゝまん大君のみよ」ほ	
2-159	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.5×6.0	1枚	照主の詠作「池の水浪は静によろづ代をかけてすゝまん大君のみよ」ほ	
2-160	〔和歌短冊〕	明治20年	36.2×5.9	1枚	照主の詠作「池の水浪は静によろづ代をかけてすゝまん大君のみよ」ほ	

2-161	〔和歌短冊〕	明治22年	36.3×6.0	1枚	照主の詠作「神世よりかたき岩ほとすなほなる水に契りて千世もさかえ	
2-162	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.3×6.0	1枚	照主の詠作「我ころを知らぬ人によめるよしの山冬たつ来る人そなし 桜のさかるときにあうとは」ほか	
2-163	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.3×6.1	1枚	照主の詠作「池の水浪はしづかに君か世のすゝむみいつは千代も八千 代も」ほか	
2-164	〔和歌短冊〕	年月日未詳	35.1×6.1	1枚	作者未詳「常盤木の松のみとりの色増て干とせをもふるかわらさりけり」	裏面に何度も推敲した跡が残る
2-165	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.2×6.0	1枚	徳(一元徳)の詠作「日影見ぬ谷間にゆきて水おとをきけはたちまちあ せハかわきぬ」ほか	
2-166	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.2×6.0	1枚	徳(一元徳)が阪田大人(坂田待園カ)の追善会で詠んだもの「歌ふミを 沙みの浦にてひもとくと契りし君ハゆめとなりにき」	
2-167	〔和歌短冊〕	年月日未詳	36.2×5.9	1枚	徳(一元徳)が志望を得て大阪へ行く時詠んだもの「咲にほふ黄金の花 を手をりるむ難波の宿へゆくそうれしき」	